令和 7 年度　営　第 1 号

紀北支援学校中校舎棟建築工事

内藤・フジ設計共同体

建　築　図		建　築　図		建　築　図		建　築　図		建　築　図	
種別番号	図面名称	種別番号	図面名称	種別番号	図面名称	種別番号	図面名称	種別番号	図面名称
L-000	表　　紙	A-049	２階平面詳細図（２）	A-099	家具詳細図（１４）	S-001	構造特記仕様書（１）	S-050	ニューフェローデッキ設計標準仕様書
L-001	図面リスト	A-050	２階平面詳細図（３）	A-100	ＥＶ詳細図（１）	S-002	構造特記仕様書（２）	S-051	JF75・JF75W設計・施工標準
A-001	特記仕様書（１）	A-051	２階平面詳細図（４）	A-101	ＥＶ詳細図（２）	S-003	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）		
A-002	特記仕様書（２）	A-052	２階平面詳細図（５）	A-102	ＥＶ詳細図（３）	S-004	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）		
A-003	特記仕様書（３）	A-053	２階展開図（１）	A-103	ＥＸＰ，Ｊ詳細図（参考）（１）	S-005	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（３）		
A-004	特記仕様書（４）	A-054	２階展開図（２）	A-104	ＥＸＰ，Ｊ詳細図（参考）（２）	S-006	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（４）		
A-005	工事区分表	A-055	３階平面詳細図（１）	A-105	避難用すべり台詳細図（参考）（１）	S-007	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（５）		
A-006	ステップ図	A-056	３階平面詳細図（２）	A-106	避難用すべり台詳細図（参考）（２）	S-008	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（６）		
A-007	計画概要書	A-057	３階平面詳細図（３）	A-107	１階白板・掲示板配置図	S-009	クラウンパイルアンカー工法標準図(1)		
A-008	現況配置図	A-058	３階平面詳細図（４）	A-108	２階白板・掲示板配置図	S-009Ａ	クラウンパイルアンカー工法標準図(2)		
A-009	計画配置図	A-059	３階平面詳細図（５）	A-109	３階白板・掲示板配置図	S-010	高強度せん断補強筋施工仕様書		
A-010	敷地求積図・求積表	A-060	３階展開図	A-110	４階白板・掲示板配置図	S-011	土質柱状図(1)		
A-011	建物求積図・求積表（１）	A-061	４階平面詳細図（１）	A-111	白板・掲示板詳細図（１）	S-012	土質柱状図(2)		
A-012	建物求積図・求積表（２）	A-062	４階平面詳細図（２）	A-112	白板・掲示板詳細図（２）	S-013	土質柱状図(3)		
A-013	仕上凡例表	A-063	４階平面詳細図（３）	A-113	サイン配置図・サイン詳細図（１）	S-014	土質柱状図(4)		
A-014	外部・内部仕上表	A-064	４階展開図（１）	A-114	サイン詳細図（２）	S-015	杭・基礎伏図		
A-015	１階平面図	A-065	４階展開図（２）	A-115	部分詳細図（１）	S-016	ピット・基礎伏図		
A-016	２階平面図	A-066	１階天井伏図	A-116	部分詳細図（２）	S-017	１階床梁伏図		
A-017	３階平面図	A-067	２階天井伏図	A-117	部分詳細図（３）	S-018	１階柱・壁　２階床梁伏図		
A-018	４階平面図	A-068	３階天井伏図	A-118	部分詳細図（４）	S-019	２階柱・壁　３階床梁伏図		
A-019	Ｒ階平面図	A-069	４階天井伏図	A-119	部分詳細図（５）	S-020	３階柱・壁　４階床梁伏図		
A-020	ピット平面図	A-070	建具案内図（１）	A-120	部分詳細図（６）	S-021	４階柱・壁 R階床梁伏図･R階壁 PH階床伏図		
A-021	立面図（１）	A-071	建具案内図（２）	A-121	部分詳細図（７）	S-022	軸組図 (1)		
A-022	立面図（２）	A-072	建具案内図（３）	A-122	部分詳細図（８）	S-023	軸組図 (2)		
A-023	立面図（３）	A-073	建具案内図（４）	A-123	部分詳細図（９）	S-024	軸組図 (3)		
A-024	断面図	A-074	建具案内図（５）	A-124	部分詳細図（１０）	S-025	軸組図 (4)		
A-025	断面詳細図（１）　（中①）	A-075	建具共通事項	A-125	部分詳細図（１１）	S-026	軸組図 (5)		
A-026	断面詳細図（２）　（中②）	A-076	建具表（１）	A-126	部分詳細図（１２）	S-027	軸組図 (6)		
A-027	断面詳細図（３）　（中③）	A-077	建具表（２）	A-127	部分詳細図（１３）	S-028	軸組図 (7)		
A-028	断面詳細図（４）　（中④）	A-078	建具表（３）	A-128	部分詳細図（１４）	S-029	基礎リスト		
A-029	断面詳細図（５）　（中-南取合部）	A-079	建具表（４）	A-129	既存校舎改修詳細図	S-030	基礎梁リスト(1)		
A-030	断面詳細図（６）　（北-中取合部）	A-080	建具表（５）	A-130	外構撤去図	S-031	基礎梁リスト(2)		
A-031	階段詳細図（１）　（屋内階段２）	A-081	建具詳細図（１）　（ＳＬＷ）	A-131	外構撤去詳細図	S-032	柱芯線図		
A-032	階段詳細図（２）　（屋内階段２）	A-082	建具詳細図（２）　（ＳＬＷ）	A-132	樹木撤去図	S-033	柱リスト		
A-033	階段詳細図（３）　（屋外階段１）	A-083	建具詳細図（３）　（ランチルームＬＤ）	A-133	外構平面図（１）舗装平面図	S-034	大梁リスト(1)		
A-034	階段詳細図（４）　（屋外階段１）	A-084	建具詳細図（４）　（ランチルームＬＤ）	A-134	外構平面図（２）施設平面図	S-035	大梁リスト(2)		
A-035	階段詳細図（５）　（屋外階段２）	A-085	家具配置図	A-135	外構平面図（３）雨水排水平面図	S-036	その他部材リスト		
A-036	スロープ詳細図（１）	A-086	家具詳細図（１）	A-136	外構平面図（４）植栽平面図	S-037	架構詳細図		
A-037	スロープ詳細図（２）	A-087	家具詳細図（２）	A-137	外構詳細図（１）	S-038	雑詳細図(1)		
A-038	スロープ詳細図（３）	A-088	家具詳細図（３）	A-138	外構詳細図（２）	S-039	雑詳細図(2)		
A-039	１階平面詳細図（１）	A-089	家具詳細図（４）	A-139	外構詳細図（３）	S-040	プレストレストコンクリート特記仕様書		
A-040	１階平面詳細図（２）	A-090	家具詳細図（５）	A-140	外構詳細図（４）	S-041	ＰＣ　ＫＥＹＰＬＡＮ（１）		
A-041	１階平面詳細図（３）	A-091	家具詳細図（６）	A-141	外構詳細図（５）	S-042	ＰＣ　ＫＥＹＰＬＡＮ（２）		
A-042	１階平面詳細図（４）	A-092	家具詳細図（７）	A-142	総合仮設図	S-043	ＰＣ鋼材断面配線・配筋図（１）		
A-043	１階平面詳細図（５）	A-093	家具詳細図（８）	A-143	共用部カラースキーム図	S-044	ＰＣ鋼材断面配線・配筋図（２）		
A-044	１階平面詳細図（６）　（厨房機器配置図）	A-094	家具詳細図（９）			S-045	定着端詳細図（１）		
A-045	１階平面詳細図（７）　（厨房機器表）	A-095	家具詳細図（１０）			S-046	定着端詳細図（２）		
A-046	１階展開図（１）	A-096	家具詳細図（１１）			S-047	中空スラブ標準仕様書		
A-047	１階展開図（２）	A-097	家具詳細図（１２）			S-048	2、3　階中空スラブ伏図		
A-048	２階平面詳細図（１）	A-098	家具詳細図（１３）			S-049	中空スラブリスト　配筋要領図、断面配筋図		

検印

内藤・フジ設計共同体

京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録　(06A)第02291号

（主任技術者）
一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）

（一級建築士　登録第160462号）
（構造設計一級建築士　第4071号）
藤田　貴司
【構造関係規定に関わる部分が適合する】
（一級建築士　登録第361974号）
（設備設計一級建築士　第5999号）
山本　篤史
【設備関係規定に関わる部分が適合する】

工事名　紀北支援学校中校舎棟建築工事

図　名　図面リスト

縮尺　A1:-　A3:-

設計日

図番　Ｌ－００１

建築工事特記仕様書

最終改定：令和６年８月１日

Ⅰ

工　事　概　要
1. 工事年度及番号　令和７年度　営　第１号
2. 工　事　名　紀北支援学校中校舎棟建築工事
3. 工 事 場 所　和歌山県和歌山市冬野　地内
4. 工 事 種 目　構造　鉄筋コンクリート　階数　４　延面積　７，４３０．７５　㎡　建築面積　２，１７９．２５　㎡
5　工 事 内 容　上記 建築物の建築工事

Ⅱ

建 築 工 事 仕 様
1．図面及び特記仕様に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築工事編）令和４年版【令和４年３月改定】及び同監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版【令和４年３月改定】（以下「標準仕様書」という。）による。
2．項目は〇印のついたものを適用する。
3．特記事項は〇印のついたものを適用し、〇印のない場合は※印のあるものを適用する。
　・印と※印の両方に〇がついている場合は共に適用する。
4．取消線で打ち消した部分については適用しない。
5．項目欄（　）内の表示番号は標準仕様書の当該項目を示す。

章	項　目	特　記　事　項

1　各章共通事項

１節　共通事項

① 一般事項（1.1.1）
※設計図書の優先順位は、質問回答書、現場説明書、特記仕様書、別冊の図面、標準仕様書の順とする。

② 官公署その他への届出手続等（1.1.3）
※工事の着手、施工及び完成に当たり、関係法令等に基づく官公署その他の関係機関への必要な届出手続等は延滞なく行い、その費用は全て受注者の負担とする。

③ 工事実績情報システム（CORINS）への登録（1.1.4）
※登録する（ただし、工事請負額が500万円未満の工事については不要）

④ 書面の書式及び取扱い（1.1.5）
施工体制台帳及び施工体系図
　※作成する

⑤ 設計図書等の取扱い（1.1.6）
※設計図書、工事関係図書（「設計図書等」という。本項目において以下同じ）の電子データ及び印刷物を適正に管理し、設計図書等の内容について、工事の施工に携わらない第三者への流出防止措置を図ること。
　また、工事の施工に携わるすべての関係者に対し、流出防止措置について周知徹底を図ること。
　なお、盗難や紛失などを含め、設計図書等の内容が工事の施工に携わらない第三者へ流出した場合又は流出した可能性がある場合は、速やかに発注者に届け出ると共に、原因を明確にし、再発防止措置を講じること。
※標的型攻撃メール等によるサイバー攻撃により本工事に係る情報が漏洩することのないよう、情報保全措置を適切に講ずること。
　なお、情報漏洩のおそれが生じた場合は当該情報の機密性の程度に関わらず、その事実を速やかに監督職員へ報告するとともに原因の解明及び適切な対応に努めること。
※工事中及び工事完成後における設計図書等の電子データ及び印刷物の管理は、特に以下について厳守すること。
　工事中の電子データ管理
　　インターネットでの不正アクセス等にさらされない状況で使用すること。
　　下請業者等へのデータ提供は必要最低限で行い、上記の状況で使用させること。
　工事中の印刷物管理
　　現場事務所等の適切な場所で管理し、原則外部への持ち出しは行わない。
　　不必要となったものは、破砕等を行い、判別できない状態で処分すること。
　　下請け業者等にも同様の指導をすること。
　工事完成後の電子データ管理
　　請負業者で保管するものは、ＣＤ等で保管し、インターネットでの不正アクセス等にさらされない状況で保管すること。
　　上記以外のものは、適正に消去処分すること。
　　下請業者等にも同様の指導をすること。
　工事完成後の印刷物管理
　　請負業者で保管するものは、適切に管理できる場所に保管すること。
　　上記以外のものは、破砕等を行い、判別できない状態で処分すること。
　　下請業者等にも同様の指導をすること。

⑥ 関連工事等の調整（1.1.7）
※契約書に基づく関連工事及び設計図書に明示された他の発注者の発注に係る工事について、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに、工事全体の円滑な施工に努める。
設備工事との施工区分
・ＲＣ造等の図示した貫通孔の補強及び開口部の補強（設備用のスリーブ及び箱入れは除く）
　※本工事　・電気設備工事　・機械設備工事　・その他（　　　）
・鉄骨部分の貫通スリーブの設置及び補強
　※本工事　・電気設備工事　・機械設備工事　・その他（　　　）
・照明器具等の、天井の仕上げ材、下地材の切り込み及び下地材の補強
　・本工事　※電気設備工事　※機械設備工事　・その他（　　　）
・防火戸の自動閉鎖装置取付け箇所の切り込み及び補強
　※本工事　・電気設備工事　・機械設備工事　・その他（　　　）
・駆動装置が電動による建具類の２次配線及び操作スイッチ
　※本工事　・電気設備工事　・機械設備工事　・その他（　　　）
・屋上に設置する場合の設備機器の基礎（架台、アンカーボルト除外）
　※本工事　・電気設備工事　・機械設備工事　・その他（　　　）
・その他（　　　）
　※本工事　・電気設備工事　・機械設備工事　・その他（　　　）

２節　工事関係図書

⑦ 実施工程表（1.2.1）
・概成工期：令和　９年　９月３０日

⑧ 施工計画書（1.2.2）
※別紙「工事特記事項（共通編）」による

⑨ 工事の記録等（1.2.4）
※監督員の指示により、工事着手前、施工中、完成時の工事写真を提出する。
（参考：営繕工事写真撮影要領（令和５年版）・工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編（平成３０年版））
※デジタル工事写真の小黒板情報電子化の取り扱いは、別紙「工事特記事項（共通編）」による。

３節　工事現場管理

⑩ 電気保安技術者（1.3.3）
電気保安技術者の配置　⊙配置する　・配置しない

⑪ 施工条件（1.3.5）
施工条件　※別紙「現場説明書」による

⑫ 交通安全管理（1.3.8）
交通誘導員の配置　⊙配置する　・配置しない

⑬ 発生材の処理等（1.3.11）
発生材の処理は次による
　※別紙「工事特記事項（共通編）」による
　発注者に引渡しを要するもの　※図示による
　特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法
　　・廃石綿等（処理方法：　　　）
　　・ＰＣＢを含む機器類（処理方法：　　　）
　　・ＰＣＢ含有シーリング材（処理方法：　　　）
　　・廃油（処理方法：　　　）
　　・廃酸、廃アルカリ（処理方法：　　　）
　　・ダイオキシン類（処理方法：　　　）
　　・その他（　　　、処理方法：　　　）
　発生材のうち、工事現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの　※図示による
　※受注者は、再生資源利用【促進】計画書（実施書）を作成するものとする。なお、再生資源利用【促進】計画書は、施工計画書に含めて提出するものとする。
　※作成した再生資源利用【促進】計画書（実施書）は、自社においても保管するものとする。
　　再生資源利用【促進】計画書（実施書）の様式は国土交通省のホームページよりダウンロードできます。

⑭ 現場代理人
※現場代理人は、工事現場に常駐すること。
　ただし、工事現場において作業等が行われていない期間で発注者との連絡体制が確保されると監督員が認めた場合は常駐を要しない。

４節　材料

⑮ 県産品等の優先使用
※別紙「工事特記事項（共通編）」による
　「単価表等」への記載にかかわらず、コンクリート、砕石類（西牟婁建設部管内を除く）、アスファルト、山砂の類は『県産品建設資材』とし、再生砕石類（再生砕石、再生砂）は『県産品の「和歌山県認定リサイクル製品」』とする。
　その他の資材の『県産品建設資材』又は『県産品の「和歌山県認定リサイクル製品」』の選定・使用は、「内訳書等」による。
※山砂の類とは山砂、川砂、洗い砂をいう。
※一般資材において、規格・品質が条件を満足するものについては、グリーン購入推進方針における品目の優先使用に努めるものとする。

⑯ 県内調達に関する事項
※別紙「工事特記事項（共通編）」による

５節　施工

⑰ 技能士（1.5.2）
一級技能士又は単一等級の資格を有する者（職業能力開発促進法）又はそれらと同等以上の技能士の適用は次の工事とする。
　鉄筋工事　⊙鉄筋施工（鉄筋加工組立て作業）
　コンクリート工事　⊙型枠施工　⊙コンクリート圧送施工
　鉄骨工事　・とび
　ブロック・ＡＬＣパネル工事　・ブロック建築　・ＡＬＣパネル施工
　防水工事　⊙アスファルト防水　・合成ゴム系シート防水　⊙塩化ビニル系シート防水
　　・アクリルゴム系塗膜防水　・シーリング防水　⊙ウレタンゴム系塗膜防水
　石工事　・石材施工（石張り）
　タイル工事　⊙タイル張り
　木工事　・建築大工
　屋根及びとい工事　⊙建築板金（内外装板金）　・スレート施工
　金属工事　⊙内装仕上げ施工（鋼製下地工事）
　左官工事　⊙左官
　建具工事　⊙建具製作　⊙サッシ施工
　カーテンウォール工事　⊙カーテンウォール施工（ＰＣ）　⊙サッシ施工　⊙ガラス施工
　塗装工事　⊙塗装（⊙建築塗装　・木工塗装　・金属塗装）
　内装工事　⊙プラスチック系床仕上げ　⊙カーペット系床仕上げ
　　⊙ボード仕上げ　・畳製作　⊙表装（⊙壁装作業　・表具作業）
　植栽工事　⊙造園

⑱ 施工の検査等（1.5.5）
見本施工の実施　・実施する　⊙実施しない

⑲ 化学物質の濃度測定（1.5.9）
建築物の室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定
　※実施する（・事前事後共　⊙事後のみ）　・実施しない
実施する場合の測定対象の化学物質
　※ホルムアルデヒド　※トルエン　※キシレン
　※パラジクロロベンゼン　※エチルベンゼン　※スチレン
測定方法に関する基準
　⊙「官庁営繕部における平成15年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」（国営建第１号平成15年４月１日）による
　・「学校における室内空気汚染対策について」（H15ス学健第11号平成15年７月４日）による
　・その他（　　　）
測定対象室及び測定箇所数　※図示による　⊙9箇所
※測定対象化学物質が濃度指針値を超えた濃度で検出された場合は、引渡しは受けない。

６節　工事検査及び技術検査

⑳ 技術検査（1.6.2）
⊙中間技術検査（実施回数：　１　回、実施段階：躯体打設完了時　）

７節　完成図等

㉑ 完成時の提出図書等（1.7.1）（1.7.2）（1.7.3）
完成図　※提出する（電子データはCD等で提出）　・提出しない
製本（原図サイズ　２部　縮小版３部）
CADデータ（JWW形式又はDXF形式）
PDF形式のデータ（図面１枚につき、１ファイルとなるよう作成）
施工図　※提出する（内容は監督員の指示による）　・提出しない
保全に関する資料　※提出する（電子データの提出は監督員の指示による）　・提出しない

㉒ 工事完成写真
※提出する（電子データ）　・提出しない
　「９　工事の記録」による完成時の工事写真とは別に、４枚以上撮影し提出する。
　撮影箇所は、監督員の指示による。
　撮影は、人物やゴミ等の雑物が入らないようにする。
　デジタルカメラ等の総画素数は500万画素以上とし、ＣＤ等で提出する。
その他

㉓ 火災保険
火災保険への加入　※要　・不要
保険期間
　※工事着手日から工事目的物引き渡しの日まで（工期末日に概ね１４日を加えた期間）
　・その他（　　　）
保険金額　※建設工事請負契約額以上　・その他（　　　）

㉔ 建設業退職金共済制度
※建設労働者の勤労条件改善のため「建設業退職金共済組合」等に加入すること。
※共済証紙は金融機関で退職金共済契約者証を提出し、相当額の証紙を購入して、その掛金収納書の一部を契約時に提出すること。なお、余剰証紙がある場合は使用を認めるが、余剰分を使用する場合でも１日分以上購入すること。余剰証紙を使用する場合は掛金収納書の一部と合わせて証紙購入・払出記録簿又はこれに代わるものの写しを提出すること。
※建設業退職金共済制度に関する掲示については、別紙「工事特記事項（共通編）」による

㉕ 部分引渡し
部分引渡し　・有り　⊙無し

㉖ 部分使用
部分使用　・有り　⊙無し

㉗ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量
ＪＩＳ又はＪＡＳ及び標準仕様書等により放散量の区分規定がある材料についてはＦ☆☆☆☆を使用すること。

㉘ 工事場所の風速等
建築基準法により定められた　風速（Ｖｏ＝３４）、地表面粗度区分（・Ⅱ　⊙Ⅲ）
上記条件により、建築基準法に基づく風圧力に対応した工法を施工計画書の品質計画で定めること。

㉙ 低入札工事に係る公共工事の品質確保について
※別紙「工事特記事項（共通編）」による
　なお、試験頻度を２倍にするのは、標準仕様書における品質管理基準に規定された施工に関する試験とする。

㉚ 住宅瑕疵担保責任
特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け
　・有り　⊙無し

㉛ その他
※別紙「工事特記事項（共通編）」による
⊙メーカー品番は全て同等以上を使用する

2　仮設工事

２節　縄張り、遣方、足場等

① 足場等（2.2.4）
※足場を設ける場合は、標準仕様書２．２．４（２）によるほか、足場の組立て、解体又は変更の作業においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。

３節　仮設物

② 監督職員事務所等（2.3.1）
監督員事務所の設置　⊙設置する　・設置しない
　監督員事務所の規模　※（　２０　㎡程度）
　監督員事務所の仕上げの程度
　　床　※合板張り又はビニル床シート張り又はタイルカーペット　・その他（　　　）
　　内壁、天井　※合板又はせっこうボード張りの上、合成樹脂エマルジョンペイント塗り
　　　・その他（　　　）
　　屋根　※長尺金属板葺　・折板葺　・その他（　　　）
　　監督員事務所に設ける設備　※監督員と協議　・その他（　　　）
　　設置する備品等の種類及び数量
　　　※机（　４　台）、いす（　４　脚）、ロッカー（　４　台）
受注者事務所　⊙設置する（　　　㎡程度）　・設置しない
※受注者事務所　３５人程度の総合定例会議ができるスペースを設けること。
便所　⊙設置する（　　　）　・設置しない
その他

③ 工事用水
構内既存の施設　・利用できる（・有償　・無償）　⊙利用できない

④ 工事用電力
構内既存の施設　・利用できる（・有償　・無償）　⊙利用できない

⑤ 木製工事看板の使用
※受注者は、工事現場における自立式の標示板（工事看板等）については、木材を利用した製品の使用に努めること。
　使用する木材は、県内の森林から産出され、県内で加工されたものを原則とする。

3　土工事

２節　根切り等

① 埋戻し及び盛土（3.2.3）
埋戻し及び盛土の種別　⊙A種　⊙B種　・C種　・D種
※再生コンクリート砂（D種）を使用する場合は1購入先あたり1検体の六価クロム溶出試験を行うものとする。

② 建設発生土の処理（3.2.5）
※構外搬出（「建設発生土の処分場指定に関する要綱（和歌山県県土整備部）」に基づく指定処分場）
　ただし、契約後工事間利用調整の結果、他の工事箇所へ変更し運搬する場合には契約変更の対象とする。
・構外搬出（他工事に流用）
・構内に敷き均し
・構内にたい積

③ 埋立て等の不適正処理防止に係る土壌検査
「和歌山県建設発生土管理基準（和歌山県県土整備部）」に基づく土壌検査
　・必要（　　カ所）　⊙不要

4　地業工事

２節　試験及び報告書

① 試験杭（4.2.2）
試験杭の位置、本数及び寸法　※図示による

② 杭の載荷試験（4.2.3）
杭の載荷試験　・行う　⊙行わない
　・鉛直載荷試験　・水平載荷試験
試験杭の位置、本数及び載荷荷重　※図示による
報告書の記載事項　※国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「敷地調査共通仕様書」による

③ 地盤の載荷試験（4.2.4）
平板載荷試験　・行う　⊙行わない
　載荷試験の方法　※図示による
試験位置及び載荷荷重　※図示による
報告書の記載事項　※国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「敷地調査共通仕様書」による

３節　既製コンクリート杭地業

④ 一般事項（4.3.1）
工法の適用　・セメントミルク工法　⊙特定埋込杭工法

⑤ 材料（4.3.3）
既製コンクリート杭の種類、性能、曲げ強度等による区分等　※図示による
杭の寸法、継手の箇所数、杭先端部の形状等　※図示による

6　セメントミルク工法（4.3.4）
支持層の位置及び土質　※図示による
本杭の掘削深さ、杭の支持層への根入れ長さ及び杭の水平方向の位置ずれの精度　※図示による

⑦ 特定埋込杭工法（4.3.5）
支持層の位置及び土質　※図示による

⑧ 継手（4.3.6）
継手の工法　・アーク溶接　・機械式継手　⊙無溶接継手

⑨ 杭頭の処理等（4.3.8）
杭頭の処理　※図示による

４節　鋼杭地業

10　材料（4.4.3）
鋼杭の材料　※図示による

11　継手（4.4.5）
継手の工法　・アーク溶接　・機械式継手

５節　場所打ちコンクリート杭地業

12　一般事項（4.5.1）
工法の適用　・アースドリル工法、リバース工法及びオールケーシング工法
　・場所打ち鋼管コンクリート杭工法及び拡底杭工法

13　材料その他（4.5.4）
鉄筋
　帯筋の加工及び組立　※図示による
　鉄筋の最小かぶり厚さ　※図示による
　鉄筋かごの補強　※図示による
　組み立てた鉄筋の節ごとの継手　※図示による
コンクリート
　セメントの種類　※高炉セメントＢ種　・その他（　　　）
　設計基準強度（Ｆｃ）　※図示による
　コンクリートの種別　・Ａ種　・Ｂ種
　スランプ　（　　　）cm
　構造体強度補正値（Ｓ）　※３N/mm2　・その他（　　　）
鋼管
　鋼管部分の材料　※図示による

14　ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ工法、ﾘﾊﾞｰｽ工法及びｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法（4.5.5）
支持層の位置及び土質　※図示による
本杭
　杭の支持層への根入れ長さ及び水平方向の位置ずれの精度　※図示による
　超音波測定器による孔壁の確認　・行う　・行わない

15　場所打ち鋼管コンクリート杭工法及び拡底杭工法（4.5.6）
支持層の位置及び土質　※図示による

６節　砂利、砂、捨コンクリート地業等

⑯ 材料（4.6.2）
砂利　⊙再生クラッシャラン　・切込砂利　・切込砕石
~~砂~~　・シルト　・有機物等の混入しない締固めに適した山砂　・川砂　・砕砂
床下防湿層に使用する材料　※ポリエチレンフィルム　・その他（　　　）

⑰ 砂利及び砂地業（4.6.3）
砂利及び砂地業の範囲　※図示による
砂利及び砂地業の厚さ　※６０ｍｍ　・その他（　　　）

⑱ 捨コンクリート地業（4.6.4）
捨コンクリートの範囲　※図示による
捨コンクリートの厚さ　※５０ｍｍ　・その他（　　　）

⑲ 床下防湿層（4.6.5）
防湿層の適用及び範囲　※図示による

5　鉄筋工事

２節　材料

① 鉄筋（5.2.1）
鉄筋の種類等　※図示による

② 溶接金網（5.2.2）
鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径　※図示による

３節　加工及び組立

③ 継手及び定着（5.3.4）
鉄筋の継手　⊙重ね継手　⊙ガス圧接継手　⊙機械式継手　⊙溶接継手
鉄筋の継手位置　※図示による
柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ　※図示による
耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ　・図示による
先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所に設ける場合　※図示による
鉄筋の定着の長さ　・図示による
仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さＬが、表５．３．４のフックありの定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法　⊙図示による
機械式定着工法の適用箇所及び種類　※図示による

④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（5.3.5）
鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ　⊙図示による

⑤ 各部配筋（5.3.7）
各部の配筋　※図示による

４節　ガス圧接

⑥ 圧接完了後の圧接部の試験（5.4.10）
抜取試験の方法　※超音波探傷試験　・引張試験
引張試験の方法等　・図示による

５節　機械式継手

⑦ 工法（5.5.3）
機械式継手の適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき等　※図示のよる

⑧ 施工完了後の継手部の試験(5.5.5)
・外観試験　試験項目、試験方法　⊙図示による
・超音波測定試験　試験対象　⊙図示による
・不合格となった場合の措置　⊙図示による

６節　溶接継手

⑨ 工法（5.6.3）
溶接継手の適用箇所、性能、工法、鉄筋相互のあき等　※図示による

⑩ 施工完了後の溶接部の試験(5.6.5)
・外観試験　試験項目、試験方法　⊙図示による
・超音波測定試験　試験対象　⊙図示による
・不合格となった場合の処置　⊙図示による

6　コンクリート工事

２節　コンクリートの種類及び品質

① コンクリートの種類（6.2.1）
コンクリートの類別　※Ｉ類　・Ⅱ類
コンクリートの気乾単位容積質量による種類　・普通コンクリート　・軽量コンクリート
建築基準法第37条第二号の規定に基づき国土交通大臣の認定を受けたコンクリート　※図示による

② コンクリートの強度（6.2.2）
普通コンクリートの設計基準強度（Ｆｃ）　※図示による
軽量コンクリートの設計基準強度（Ｆｃ）　※図示による

③ ワーカビリティー及びスランプ（6.2.4）
コンクリートの荷卸し地点におけるスランプ
　基礎、基礎梁、土間スラブ　⊙１５ｃｍ　⊙１８ｃｍ　・その他（　　　）
　柱、梁、スラブ、壁　※１８ｃｍ　・その他（　　　）

④ 構造体コンクリートの仕上り（6.2.5）
コンクリートの打放し仕上げの種別　・Ａ種　⊙Ｂ種　・Ｃ種
コンクリートの仕上りの平たんさの種別　⊙ａ種　・ｂ種　・ｃ種

３節　普通コンクリートの材料及び調合

⑤ コンクリートの材料（6.3.1）
セメントの種類　※普通ポルトランドセメント　・その他（　　　）
高炉セメントＢ種及びフライアッシュセメントＢ種の適用箇所　※図示による
特殊な骨材の使用
　・フェロニッケルスラグ骨材　・銅スラグ細骨材　・電気炉酸化スラグ骨材　・再生骨材Ｈ
アルカリシリカ反応性による区分　※Ａ　・Ｂ
混和材料　・図示による

⑥ コンクリートの調合（6.3.2）
普通ポルトランドセメントを用いた普通コンクリートの調合管理強度は、設計基準強度（Ｆｃ）に、下表の構造体強度補正値（Ｓ）を加えた値とする。

補正値 ＼ 地域別	3N/mm2	6N/mm2
	コンクリート打設日	
伊都	3/ 4～ 7/10， 9/ 1～11/18	11/19～3/ 3， 7/11～8/31
高野山	3/26～10/30	10/31～3/25
〇 和歌山・海草・那賀・有田	2/15～ 6/28， 9/16～12/ 8	12/ 9～2/14， 6/29～9/15
花園・美里・清水・美山	3/ 9～ 7/21， 8/21～11/13	11/14～3/ 8， 7/22～8/20
日高	2/16～ 7/ 8， 9/ 8～12/ 4	12/ 5～2/15， 7/ 9～9/ 7
龍神	3/12～ 8/ 3， 8/12～11/11	11/12～3/11， 8/ 4～8/11
田辺	2/ 2～ 7/ 6， 9/14～12/16	12/17～2/ 1， 7/ 7～9/13
中辺路・大塔・本宮・熊野川・北山	3/ 1～ 7/15， 8/28～11/19	11/20～2/29， 7/16～8/27
新宮	1/28～ 7/ 2， 9/13～12/24	12/25～1/27， 7/ 3～9/12
串本	9/14～ 7/ 8	7/ 9～9/13
古座川	2/27～ 7/13， 8/26～11/20	11/21～2/26， 7/14～8/25

※普通ポルトランドセメントを用いた普通コンクリート以外の構造体強度補正値（Ｓ）については別途協議すること。

４節　レディーミクストコンクリート工場の選定、コンクリートの製造及び運搬

⑦ レディーミクストコンクリート工場の選定、コンクリートの製造及び運搬（6.4.1）（6.4.2）（6.4.3）（6.4.4）
1　受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合には、JISマーク表示認定工場または、JISマーク表示認証工場（改正産業標準化法（平成１６年６月９日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、全国生コンクリート品質管理監査会議の策定した全国統一品質管理監査基準に基づく監査に合格した工場から選定し、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するものを用いるものとする。（Ⅱ類のレディーミクストコンクリートを使用する場合を除く。）
2　受注者は、上記によらない場合には、その理由を明記した「レディーミクストコンクリートに関する調達調書」を提出し、監督員の確認を得なければならない。また、公共建築工事標準仕様書等における品質管理基準に示されるコンクリートの施工に関する試験頻度を２倍にするものとする。
（低入札工事における品質管理基準　http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/081100/bid/teinyuu/index.html　参照）
3　受注者は、監査に合格した工場からレディーミクストコンクリートを調達した場合であっても、加水行為等により、品質管理が適切に行われなかったことが判明した場合、以降の調達については、品質管理を適切に実施されていることが確認されるまでの間、当該工場からは、行わないものとする。
4　レディーミクストコンクリートへの加水は、コンクリートの性能を著しく変化させるため、行ってはならない。
（コンクリート標準示方書［施工編］より一部要約）
5　また、加水の意識が無い場合でも、製造工場から工事現場到着までの間に、アジテータ車のホッパ部分（車両後部上方にある、コンクリートの投入口）に付着したコンクリートを水洗いする行為は、洗浄水がドラム内に流れ込むため、加水行為と同様であり行ってはならない。やむを得ず洗浄する必要がある場合は、水を使用せずエアーやブラシ等で行うこと。
6　シュート等の洗浄に使用した洗浄水を受けた袋（洗い袋）を、アジテータ車のシュート部分等（積載のために設備された場所以外）に吊り下げたまま道路を走行することは、道路交通法（第５５条）に抵触するため行ってはならない。
7　洗い袋に入った洗浄水をアジテータ車のドラム内に戻す行為は、高所作業となり（高さ２メートル未満の箇所を除く）、労働安全衛生規則（第５１８条）に抵触するため行ってはならない。
　ついては、洗浄水の処理は、現場にピット（槽）やベッセル（鋼製箱）等を設置した上で適正に処理を行うか、作業床（足場等）を設け、洗い袋に入った洗浄水をドラム内に戻すものとする。
　ただし、やむを得ずこれらが設置出来ない場合で、安全帯を適切に使用し、洗浄水をドラム内に戻す場合は除く。
　また、ドラム内に戻した洗浄水は、レディーミクストコンクリートと混ざることがないよう、製造工場等で排出し、適正に処理を行うこと。
8　アジテータ車に積載するコンクリートは、車両ごとに定められた、積載重量の制限を超えることのないよう、十分注意すること。

６節　コンクリートの工事現場内運搬、打込み及び締固め

⑧ 打継ぎ（6.6.4）
打継ぎの位置　⊙図示による
目地の寸法　※図示による

７節　養生

⑨ 湿潤養生（6.7.2）
セメントの種類が普通エコセメントの場合の湿潤養生期間　※図示による

８節　型枠

⑩ 型枠一般（6.8.1）
外部に面するコンクリートの打増し厚さ　※図示による
ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法　※図示による

⑪ 材料（6.8.2）
せき板の材料　⊙図示による
せき板の材料として合板を用いる場合の厚さ　※１２ｍｍ　・その他（　　　）
せき板に断熱材を兼用した型枠材を使用する場合　※図示による
ＭＣＲ工法用シート　※図示による
スリーブに用いる材料の材種、規格等　※図示による

⑫ 型枠の存置期間及び取外し（6.8.4）
セメントの種類が普通エコセメントの場合の型枠の最小存置期間　※図示による

９節　試験等

⑬ コンクリートの強度試験（6.9.3）
※コンクリートの強度試験は、以下の県が指定する試験機関で行う。

試験機関名	所在地
和歌山県生コンクリート工業組合　和歌山試験場	和歌山市
和歌山県生コンクリート工業組合　日高試験場	御坊市
和歌山県生コンクリート工業組合　紀北試験場	紀の川市
和歌山県生コンクリート工業組合　紀南試験場	上富田町

・コンクリートの強度試験は、JIS認定工場で県の監督員立会の上、実施できる。

10節　軽量コンクリート

⑭ 一般事項（6.10.1）
軽量コンクリートの適用箇所　※図示による

⑮ 種類及び品質（6.10.2）
軽量コンクリートの種類及び気乾単位容積質量　・１種　・２種
スランプ　※２１ｃｍ　・その他（　　　）

11節　寒中コンクリート

16　一般事項（6.11.1）
寒中コンクリートの適用期間　※図示による

17　材料及び調合（6.11.2）
構造体強度補正値（Ｓ）　・積算温度を基に定める

12節　暑中コンクリート

18　材料及び調合（6.12.2）
構造体強度補正値（Ｓ）　※６N/mm2　・その他（　　　）

13節　マスコンクリート

19　一般事項（6.13.1）
マスコンクリートの適用箇所　※図示による

20　材料及び調合（6.13.2）
セメントの種類　・普通ポルトランドセメント　・中庸熱ポルトランドセメント　・低熱ポルトランドセメント
　・高炉セメントＢ種　・フライアッシュセメントＢ種　・シリカセメント
混和剤の種類　・図示による
スランプ　※１５ｃｍ　・その他（　　　）
構造体強度補正値（Ｓ）　・図示による

14節　無筋コンクリート

21　一般事項（6.14.1）
コンクリートの種類　※普通コンクリート　・その他（　図示による　）
設計基準強度（Ｆｃ）　※１８N/mm2　・その他（　　　）
スランプ　※１５ｃｍ　※１８ｃｍ　・その他（　　　）
無筋コンクリートの適用箇所　・図示による
表６．２．１以外のコンクリートを用いる場合　※図示による

15節　流動化コンクリート

22　一般事項（6.15.1）
流動化コンクリート　・使用する　・使用しない

7　鉄骨工事

１節　共通事項

① 鉄骨製作工場（7.1.3）
鉄骨製作工場の加工能力等　※適用する（建築基準法による性能評価の大臣認定グレード同等以上）
　・Ｓ　・Ｈ　・Ｍ　・Ｒ　⊙Ｊ

② 鉄骨製作工場における施工管理技術者（7.1.4）
鉄骨製作工場における施工管理技術者の配置
　⊙配置する　・配置しない

２節　材料

③ 鋼材（7.2.1）
鋼材の種類、形状及び寸法　※図示による

④ 高力ボルト（7.2.2）
高力ボルトの種類
　⊙トルシア形高力ボルト　⊙ＪＩＳ形高力ボルト　⊙溶融亜鉛めっき高力ボルト　・その他（　　　）
ねじの呼び　※図示による

■ 設 計 記 録

紀北支援学校中校舎棟建築　工 事 設 計 図	図面番号	検印	担当
図面名称：特記仕様書（１）　R6.8.1 改定版	Ａ－００１		

7 鉄骨工事

⑥ 普通ボルト（7.2.3）	ボルト及びナットの材料等　○図示による ねじの呼び　※図示による	
⑩ アンカーボルト（7.2.4）	構造用アンカーボルトの種類　※図示による 建方用アンカーボルトの種類　※図示による 建方用アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス　・図示による	
⑦ 溶接材料（7.2.5）	※標準仕様書７．２．５（１）（２）以外の溶接材料　※図示による	
⑧ ターンバックル（7.2.6）	ターンバックルの種類、ねじの呼び等　○図示による	
⑨ 床構造用のデッキプレート（7.2.7）	デッキプレートの材質、形状及び寸法　※図示による	
⑪ スタッド（7.2.8）	スタッドの種類等　※図示による	
⑪ 柱底均しモルタル（7.2.9）	柱底均しモルタルを無収縮モルタルとする場合の材料、調合等　○図示による	
⑫ 材料試験等（7.2.10）	板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験　・行う　○行わない	
⑬ 工作図（7.3.2）	３節　工作一般 高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　※図示による	
⑭ ボルト孔（7.3.8）	母屋又は鋼縁の取付けに使用する普通ボルトの孔径　※ねじの呼び径＋１．０ｍｍ　○その他（　図示　）	
⑮ 仮組（7.3.10）	仮組　・行う　○行わない	
⑯ 摩擦面の性能及び処理（7.4.2）	４節　高力ボルト接合 すべり試験を実施する場合の試験の方法等　※図示による	
⑰ 締付け（7.4.7）	ＪＩＳ形高力ボルトの本締め付けでナット回転法を用いる時、ボルトの長さがねじの呼びの５倍を超える場合の回転量　※図示による	
⑱ 溶接作業を行う技能資格者（7.6.3）	６節　溶接接合 溶接作業を行う技能資格者に対して、技量付加試験を行う場合　※図示による	
⑲ 溶接の準備（7.6.4）	開先の形状　※図示による	
⑳ 溶接施工（7.6.7）	鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲　※図示による 鋼製エンドタブの切断面の仕上げ　・図示による 低応力高サイクル疲労を受ける部位　※図示による スカラップの形状　※図示による	
㉑ 溶接部の試験（7.6.12）	溶接部の外観試験の試験方法等　※図示による 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験　※行う　・行わない ＡＯＱＬ（平均出検品質限界）　・２．５％　※４．０％ 検査水準　・第１水準　・第２水準　・第３水準　・第４水準　・第５水準　※第６水準	
㉒ デッキプレートの溶接（7.7.8）	７節　スタッド溶接及びデッキプレートの溶接 デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法　※図示による	
㉓ 塗装の範囲（7.8.2）	８節　鎖止め塗装 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲　※図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲　・図示による	
24　塗料種別（7.8.4）	鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面の錆止め塗料の種別　※Ａ種　・Ｂ種 耐火被覆が接着する面に塗装する場合の錆止め塗料の種別　・Ａ種　・Ｂ種	
㉔ 耐火被覆の種類等（7.9.2）	９節　耐火被覆 耐火被覆の種類、材料、工法等　※図示による	
㉕ 耐火被覆の性能、品質等（7.9.3）	耐火被覆の耐火性能　※図示による	
㉖ アンカーボルトの設置等（7.10.3）	10節　工事現場施工 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法　・Ａ種　・Ｂ種 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状並びに寸法　※図示による 柱底均しモルタルの厚さ　※図示による 柱底均しモルタルの工法の種別　※Ａ種　・Ｂ種	
㉗ 施工（7.11.2）	11節　軽量形鋼 ボルトの接合方法　※図示による	
㉘ 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合（7.12.5）	12節　溶融亜鉛めっき工法 摩擦面の処理方法等　○ブラスト処理　・りん酸塩処理　・その他（　　）	

8 コンクリートブロック、ＡＬＣパネル及び押出成形セメント板工事

1　材料（8.2.2）	２節　補強コンクリートブロック造 ブロックの種類、モデュール呼び寸法及び正味厚さ　※図示による	
2　モルタルの調合（8.2.3）	モルタルの調合　・図示による	
3　鉄筋の加工及び組立（8.2.5）	各部の配筋　※図示による	
4　ブロック積み等（8.2.7）	目地仕上げの工法　・押し目地仕上げ　・化粧目地仕上げ	
5　モルタル及びコンクリートの充填（8.2.8）	充填するブロックの範囲　※図示による	
6　材料（8.3.2）	３節　コンクリートブロック帳壁及び塀 ブロックの種類、モデュール呼び寸法及び正味厚さ　・図示による 塀の場合で化粧有りのブロックの適用　※図示による	
7　鉄筋の加工及び組立（8.3.4）	壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状　※図示による 各部の配筋　※図示による	
① 材料（8.4.2）	４節　ＡＬＣパネル パネルの区分、単位荷重、厚さ、幅、長さ、耐火性能等　※図示による 耐火目地材　※図示による	
② 外壁パネル構法（8.4.3）	外壁パネル構法の種別　○Ａ種　・Ｂ種 耐風圧性能及び耐震性能　※図示による パネル幅の最小限度を３００ｍｍ未満とする場合　※図示による パネルの短辺小口相互の接合部の目地幅　※１０～２０ｍｍ　・その他（　　） 出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅 ※１０～２０ｍｍ　・その他（　　） 伸縮目地に耐火目地材を充填する場合　※図示による	
10　間仕切壁パネル構法（8.4.4）	間仕切壁パネル構法の種別　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種 耐震性能　※図示による	
11　材料（8.5.2）	５節　押出成形セメント板（ＥＣＰ） パネルの種類、形状、厚さ及び幅　※図示による	
12　外壁パネル工法（8.5.3）	外壁パネル工法の種別　・Ａ種　・Ｂ種 耐風圧性能及び耐震性能　※図示による 耐火構造以外の目地及び隣間の処理　※パネルの製造所の仕様　・その他（　　） パネル幅の最小限度を３００ｍｍ未満とする場合　※図示による パネル相互の目地幅　※図示による 出隅及び入隅のパネル接合目地幅　※１５ｍｍ程度　・その他（　　）	
13　間仕切壁パネル工法（8.5.4）	間仕切壁パネル工法の種別　・Ｂ種　・Ｃ種 耐震性能　※図示による	
14　溝掘り及び開口部の措置（8.5.5）	パネルにやむを得ず設備開口等を設ける場合のパネルの開口寸法等の限度　※図示による	

9 防水工事

① 材料（9.2.2）	２節　アスファルト防水 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ　○図示による 部分貼着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ　○図示による 押え金物の材質及び断熱寸法　※アルミニウム製Ｌ－３０×１５×２．０（ｍｍ）程度　・その他（　　）	
	屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材の厚さ　※図示による 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ　・図示による 絶縁用シートに使用する材料　○図示による 立上り部の保護の乾式保護材　※図示による 立上り部の保護のれんが　※図示による	
② 防水層の種類、種別及び工程（9.2.3）	防水層の工法による種別 ・Ａ－１　・Ａ－２　・Ａ－３　○ＡＩ－１　・ＡＩ－２　・ＡＩ－３ ・Ｂ－１　・Ｂ－２　・ＢＩ－１　・ＢＩ－２ ・Ｄ－１　・Ｄ－２　・ＤＩ－１　・ＤＩ－２ ○Ｅ－１　○Ｅ－２ 立上り部における保護工法　※図示による 立上り部への断熱材及び絶縁シートの設置　※図示による 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法 脱気装置の種類及び設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定　・その他（　　） 仕上塗料の種類及び使用量　※図示による 屋内防水密着工法 保護層を設ける場合　※図示による Ｅ－１の工程３を行う場合　・図示による	
③ 施工（9.2.4）	下地がモルタル塗りの場合の適用箇所　※図示による 立上り　○図示による 屋根露出防水絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置　※図示による	
④ 保護層等の施工（9.2.5）	平場の保護コンクリートの厚さ　○図示による 立上り部の保護工法　※図示による れんが押えの施工　※図示による 屋上排水溝の設置　※図示による	
5　材料（9.3.2）	３節　改質アスファルトシート防水 改質アスファルトシートの種類及び厚さ　・図示による 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ　・図示による 押え金物の材質、形状及び寸法　※アルミニウム製Ｌ－３０×１５×２．０（ｍｍ）程度　・その他（　　）	
	屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ　※図示による	
6　防水層の種別及び工程（9.3.3）	防水層の工法による種別 ・ＡＳ－Ｔ１　・ＡＳ－Ｔ２　・ＡＳ－Ｔ３　・ＡＳ－Ｔ４　・ＡＳ－Ｊ１　・ＡＳＩ－Ｔ１　・ＡＳＩ－Ｊ１ 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定　・その他（　　） 屋根露出防水絶縁断熱工法における防湿用シートの設置　※図示による 仕上塗料の種類及び使用量　※図示による	
⑤ 材料（9.4.2）	４節　合成高分子系ルーフィング工法 ルーフィングシートの種類及び厚さ　○図示による 可塑剤移行防止用シートの材質　※発泡ポリエチレンシート　・その他（　　） 固定金具の材質、形状及び寸法 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、 厚さ０．４ｍｍ以上のもの ・その他（　　） 断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ　※図示による	
⑥ 防水層の種別及び工程（9.4.3）	防水層の工法による種別 ・Ｓ－Ｆ１　○Ｓ－Ｆ２　・Ｓ－Ｍ１　・Ｓ－Ｍ２ ・ＳＩ－Ｆ１　○ＳＩ－Ｆ２　・ＳＩ－Ｍ１　○ＳＩ－Ｍ２　・Ｓ－Ｃ１ 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量　※ルーフィングシートの製造所の仕様　・その他（　　） 仕上塗料の種類及び使用量　※図示による 断熱工法における防湿用フィルムの設置　※図示による Ｓ－Ｃ１の工程４の保護モルタルの塗厚　※図示による	
⑦ 施工（9.4.4）	接着工法の場合の目地処理でプレキャストコンクリート下地の場合　※図示による 種別Ｓ－Ｆ１又はＳＩ－Ｆ１の場合のプレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り　※図示による 一般部のルーフィングシートの張付けを機械的固定方法で行う場合の建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示による 立上り部の保護モルタル塗厚　※７ｍｍ以下　・その他（　　）	
⑧ 防水層の種別及び工程（9.5.3）	５節　塗膜防水 ・ウレタンゴム系塗膜防水 防水層の工法による種別　・Ｘ－１　○Ｘ－２ 仕上塗料の種類及び使用量　※図示による 種別Ｘ－１における脱気装置の種類及び設置数量　※主材料の製造所の仕様　・その他（　　） ・ゴムアスファルト系塗膜防水 防水層の種別　・Ｙ－１　・Ｙ－２ 種別Ｙ－２における工程５の保護層の仕様　・保護コンクリート　・保護モルタル	
⑨ 施工（9.6.4）	６節　ケイ酸質系塗布防水 壁及び天井部の防水層の下地　・図示による 防水層下地のコンクリートの打継ぎ箇所の下地処理　・図示による その他の下地処理　※図示による	
⑩ 材料（9.7.2）	７節　シーリング シーリング材の種類及び施工箇所　※図示による シーリング材表面に仕上げを行わない場合　※図示による	
⑪ 目地寸法（9.7.3）	シーリング材の目地寸法　○図示による	
⑫ シーリング材の試験（9.7.5）	接着性試験　※簡易接着性試験　・引張接着性試験	
⑬ 保証規定	その他 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。 保証期間　※工事引渡し後　10年間　・工事引渡し後　（　　）年間	

10 石工事

① 施工一般（10.1.3）	１節　共通事項 石材の割付け　・図示による	
② 石材（10.2.1）	２節　材料 天然石　岩石の種類　※図示による 石材の形及び寸法　※図示による 石材の表面仕上げの種類　※図示による ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げの有無　・有り　・無し テラゾ　種石の種類及び大きさ　・図示による テラゾブロックの形状による区分、仕上げ面による区分及び寸法、仕上げの種類　※図示による テラゾタイルの寸法による区分、仕上げの種類　※図示による	
3　取付け金物（10.2.2）	外壁湿式工法及び内壁空積工法の受金物の材質、形状及びサ法　・図示による 外壁乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等　・図示による 特殊部位用金物　※図示による アンカーの材質及び寸法　・図示による あと施工アンカーの材質、寸法等　※図示による	
4　その他の材料（10.2.3）	取付け用モルタル　・図示による 既調合の目地用モルタル　・図示による 浸透性吸水防止剤　・図示による 石裏面処理材　・図示による 裏打ち処理材　・図示による 外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質　※図示による 金物の固定に使用する充填材料等　・図示による	
5　材料（10.3.2）	３節　外壁湿式工法 石材の厚さ　※図示による 石材の加工　※図示による	
6　施工（10.3.3）	下地こしらえの工法　・流し筋工法　・あと施工アンカー工法　※あと施工アンカー・横筋流し工法 一般目地の目地幅　※６ｍｍ以上　・その他（　　） 伸縮調整目地の位置及びシーリング材の目地寸法　・図示による	
7　材料（10.4.2）	４節　内壁空積工法 石材の厚さ　※図示による	
8　施工（10.4.3）	下地こしらえの工法　・あと施工アンカー工法　※あと施工アンカー・横筋流し工法 一般目地の目地幅　※６ｍｍ以上　・その他（　　） 伸縮調整目地の位置及びシーリング材の目地寸法　※６ｍｍ程度　・その他（　　）	
9　材料（10.5.2）	５節　乾式工法 石材の厚さ　※図示による 石材の加工　※図示による	
10　施工（10.5.3）	建築基準法に基づく風圧力に対応した工法　※図示による 目地幅　※８ｍｍ以上　・その他（　　） 目地をシーリング材で仕上げる場合　・図示による	
11　床の石張り（10.6.2）	６節　床及び階段の石張り 石材の厚さ　※図示による 浸透性吸水防止剤　・行う　・行わない 石裏面処理　・行う　・行わない 裏打ち処理　・行う　・行わない 一般目地の目地幅　※図示による 伸縮調整目地の位置　・図示による	
12　階段の石張り（10.6.3）	石材の厚さ　※図示による 石裏面処理　・行う　・行わない 一般目地の目地幅　※図示による 伸縮調整目地の位置及びシーリング材の目地寸法　・図示による	
13　特殊部位の石張り（10.7.2）	７節　特殊部位の石張り 笠木、甲板等の石材の取付け工法　・湿式工法　・乾式工法 石材の厚さ　※図示による 石裏面処理　・行う　・行わない 乾式工法の場合の取付け代　・図示による 石材の裏面の補強用モルタル　・行う　・行わない	
（10.7.3）	隅て板の石材の厚さ　・図示による	

11 タイル工事

① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地（11.1.3）	１節　共通事項 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置　○図示による	
② 見本焼き、試験施工（11.1.4）	タイルの見本焼　・行う　○行わない 試験張り　・行う　○行わない	
③ 材料（11.2.2）	２節　セメントモルタルによるタイル張り タイル　※図示による 役物　※図示による	
④ 張付け用材料等（11.2.3）	既調合モルタル　※図示による	
⑤ 施工（11.2.6）	下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理　※図示による 壁タイル張りの工法 内装タイル　・改良積上げ張り 外装タイル　・密着張り　・改良積上げ張り　・改良圧着張り ユニットタイル（内装タイル以外）　・マスク張り　・モザイクタイル張り	
6　材料（11.3.2）	３節　有機系接着剤によるタイル張り タイル　※図示による 役物　※図示による	
7　張付け用材料（11.3.3）	目地詰め　・行う　・行わない	
8　シーリング材（11.3.4）	シーリング材の種類　・図示による	
9　施工（11.3.5）	下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理　※図示による 壁タイル張りの工法 内装タイル　・内装タイル接着剤張り 外装タイル　・外装タイル接着剤張り 外装タイルの目地詰め　・行う　・行わない ユニットタイル（内装タイル以外）　・外装タイル接着剤張り	

12 木工事

① 木材（12.2.1）	２節　材料 木材の含水率　※Ａ種　・Ｂ種 製材　※図示による 造作用集成材等　※図示による 造作用単板積層材　※図示による 直交集成板　※図示による 合板等　※図示による	
2　接合具等（12.2.2）	造作材の化粧面の釘打ち　※隠し釘打ち　・釘頭埋め木　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質　※図示による	
3　防腐・防蟻処理（12.3.1）	３節　防腐・防蟻・防虫処理 木材への防腐・防蟻の適用部材及び処理の種類 ・薬剤の加圧注入処理等 適用部材及び保存処理性能区分　※図示による ・薬剤の塗布等 附属書Ａ（規定）に基づく表面処理用木材保存剤による処理の適用、薬剤の種類及び適用部材 ※図示による 処理の方法　・図示による　※薬剤の製造所の仕様 ・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理　※図示による ・合板等の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理の適用　※図示による	
4　防虫処理（12.3.2）	防虫処理の適用　※図示による	
	４節　鉄筋コンクリート造等の内部開口切輪組及び床組 ※図示による	
	５節　窓、出入口その他 ※図示による	
	６節　床板張り ※図示による	
	７節　壁及び天井下地 ※図示による	
⑤ 紀州材	その他 ※本工事に使用する木材については、原則として紀州材の杉又はひのきとし、適用箇所等は図示による。 紀州材とは、県内の森林で生産され、県内で製材加工された木材及び木材加工品をいう。紀州材であることを証明する書類として「紀州材証明書」の提出が必要。（和歌山県条例第１４号「和歌山県木材業者の登録に関する条例」において登録された者より購入した場合に発行される）	

13 屋根及びとい工事

1　材料（13.2.2）	２節　長尺金属板葺 長尺金属板の種類に応じた板及びコイルの種類、塗膜の耐久性の種類、めっき付着量、厚さ等　※図示による 下葺材料の種類　※図示による	
2　工法（13.2.3）	屋根葺形式　※図示による 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法　※図示による 屋根葺形式に応じた、葺板の寸法・厚さ、下地、留付け方法等　※図示による 横葺の場合のけらばの適用　・つかみ込み納め　・けらば包み納め 雪止め　・設ける　・設けない	
3　材料（13.3.2）	３節　折板葺 折板の形式、山高・山ピッチ、耐力及び材料による区分並びに厚さ　※図示による 折板に使用する材料の材質の種類　※図示による 軒先面戸板　・使用する　・使用しない 折板に、断熱材張りを行う場合、断熱材の種別、厚さ、防火性能等　※図示による	
4　工法（13.3.3）	建築基準法に基づく風圧力に対応した工法　※図示による 耐雪性能に応じた工法　・図示による	
5　材料（13.4.2）	４節　粘土瓦葺 粘土瓦 種類、大きさ、産地等　※図示による 役物瓦の種類、雪止め瓦の使用等　※図示による ＪＩＳ　Ａ　５２０８に基づく凍害試験等　・行う　・行わない	
	瓦桟木の材質、寸法等　・図示による 棟補強用心材の材質、寸法　・図示による 瓦緊結用釘又はねじの種類、径及び長さ　※図示による 棟補強等に使用する金物等の材質、形状、寸法及び留付け方法　※図示による	
6　工法（13.4.3）	建築基準法に基づく風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等の工法　※図示による 瓦緊結用釘又はねじの有効長さの最小値　※図示による 桟木の留付け工法　※図示による 棟の工法　・７寸丸伏せ棟又はＦ形用冠瓦伏せ棟　・のし積み棟 面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部の仕上げ　・モルタル　・瓦葺き用しっくい	
⑦ 材料（13.5.2）	５節　とい といその他の材種等　※図示による とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔　※図示による	
⑧ 工法（13.5.3）	鋼管製といの防露巻き　○図示による	
14 金属工事		
① アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理（14.2.1）	２節　表面処理 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別 ・ＡＢ－１種　・ＡＢ－２種　・ＡＣ－１種　・ＡＣ－２種 ・ＢＡ－１種　・ＢＡ－２種　・ＢＢ－１種　○ＢＢ－２種　・ＢＣ－１種　・ＢＣ－２種　・Ｃ種 Ｃ種の表面処理で常温乾燥形の塗装の場合　※図示による 陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・その他（　　） 色合等　※図示による	
② 鉄鋼の亜鉛めっき（14.2.2）	鉄鋼の亜鉛めっきの種別　・Ａ種　○Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種　・Ｆ種	
③ 材料（14.4.2）	４節　軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類　屋内　※１９形　・２５形 屋外　・１９形　※２５形	
④ 形式及び寸法（14.4.3）	屋外の場合の野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔並びに周辺部の端からの距離　※図示による 屋外の場合の野縁の間隔　※図示による	
⑤ 工法（14.4.4）	つりボルトの間隔が９００ｍｍを超える場合の補強方法　※図示による 天井のふところが３ｍを超える場合の補強方法　※図示による 天井下地材における耐震性を考慮した補強　※図示による 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強　※図示による	
⑥ 形式及び寸法（14.5.3）	５節　軽量鉄骨壁下地 スタッド、ランナ等の種類　○５０形　○６５形　・９０形　○１００形 スタッドの高さが５ｍを超える場合のスタッド、ランナ等の種類　※図示による	
⑦ 工法（14.5.4）	出入口及びこれに準ずる開口部の補強　・図示による	
⑧ 材料（14.6.2）	６節　金属成形板張り 金属成形板の種別及び表面処理　※図示による	
⑨ 工法（14.6.3）	取付け用下地　※図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手　※図示による	
10　材料（14.7.2）	７節　アルミニウム製笠木 アルミニウム製笠木の部材の種類　・２５０形　・３００形　・３５０形 笠木本体の材料の表面処理の種別　※図示による	
11　工法（14.7.3）	建築基準法に基づく風圧力に対応した工法　※図示による	
15 左官工事		
1　ラス系下地（15.2.4）	２節　下地 ラス系下地の種類 通気工法　・二層下地　・単層下地 直張り工法　・ラスモルタル下地　・ラスシートモルタル下地 外張断熱工法で断熱材の外側に胴縁を施工する形式の通気工法を行う場合　※図示による	
	ラス及び補強用平ラスの材料記号、種類及び単位面積当たりの質量　・図示による ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分　・図示による ステープルの形状及び寸法　・図示による 二層下地通気構法の換気口部の措置　・図示による 直張り工法のラスシートモルタル下地のラスシートの施工で、建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合 ※図示による	
2　せっこうボード、その他のボード下地（15.2.5）	せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ　※図示による 木質系セメント板の種類及び厚さ　※図示による	
3　こまい下地（15.2.6）	建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合の適用範囲　※図示による	
4　木ずり下地（15.2.7）	木ずり用小幅板の樹種　※心去り材の杉　・その他（　　）	
⑤ 材料（15.3.2）	３節　モルタル塗り モルタル　・現場調合材料　・既調合材料 既製目地材の適用及び形状　※図示による	
⑥ 工法（15.3.5）	床の目地の目地割り及び種類　○図示による 外壁タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験　・行う　・行わない	
⑦ 材料（15.6.2）	６節　仕上塗材仕上げ 仕上塗材の種類（呼び名）、仕上げの形状及び工法　※図示による 内装薄塗材及び内装厚塗材で吸放湿性を有する塗材を用いる場合の適用　※図示による 複層仕上塗材の耐候性　※図示による 複層仕上塗材の上塗材の樹脂、外観および溶媒の種類　※図示による	
8　材料（15.7.2）	７節　マスチック塗材塗り マスチック塗材塗りの種別　・Ａ種　・Ｂ種	
10　一般事項（15.10.1）	10節　しっくい塗り 木ずり、こまい土壁塗り、せっこうラスボード又はせっこうボード以外の下地を適用する場合　※図示による	
11　材料（15.10.2）	しっくいの適用　※図示による 色しっくいの適用　※図示による	
12　調合及び塗厚（15.10.3）	既調合しっくいの調合、塗厚等　・図示による 現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚　・図示による	
13　工法（15.10.4）	既調合しっくいの上塗りの仕上げ工法の種別 ・なで切り仕上げ　・パターン仕上げ	
14　材料（15.11.2）	11節　こまい壁塗り 土壁用ののりの種類　※つのまた　・その他（　　） 砂壁用ののりの種類　※ふのり　・その他（　　） 土物仕上げに用いる土色の種類　※図示による 大津仕上げに用いる土色の種類　※図示による 砂色の種類　※図示による	
15　調合（15.11.3）	下塗りの調合　・図示による	
16　塗厚（15.11.4）	塗厚　・図示による 建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合　※図示による	
17　工程（15.11.5）	こまい壁の工程の種別　※Ａ種　・Ｂ種	
18　土物仕上げ（15.11.7）	工法の種類　※図示による ちりじゃくり　※図示による	
19　大津仕上げ（15.11.8）	工法の種類　※図示による ちりじゃくり　※図示による	
20　配合及び密度等（15.12.3）	12節　ロックウール吹付け 仕上げ吹付け厚さ　※図示による	

■ 設 計 記 録

紀北支援学校中校舎棟建築　工 事 設 計 図	図 面 番 号	検 印	担 当
図 面 名 称 特記仕様書（２） R6.8.1 改定版	Ａ－００２		

16 建具工事

① 防火戸（16.1.3）
- １節　一般事項
- 防火戸の指定　※図示による
- 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動させる場合　※図示による

② 見本の製作等（16.1.4）
- 建具見本　・製作する　⊙製作しない
- 特殊な建具の仮組　・実施する　⊙実施しない

③ その他（16.1.6）
- 防犯建物部品の適用　※図示による

④ 性能及び構造（16.2.2）
- ２節　アルミニウム製建具
- 耐風圧性、気密性及び水密性の等級並びに枠の見込み寸法　※図示による
- 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級　※図示による
- 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級　※図示による
- 耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級　※図示による

⑤ 材料（16.2.3）
- 防虫網の材質、線径及び網目　⊙図示による
- 防鳥網の適用　※図示による

⑥ 形状及び仕上げ（16.2.4）
- 建具の枠の見込み寸法　※図示による
- アルミニウムの表面処理の種別、標準色・特注色の別等　※図示による
- 結露水の処理方法　※図示による

⑦ 工法（16.2.5）
- 水切り板、ぜん板等　※図示による
- 内付け建具の適用　※図示による

8 性能及び構造（16.3.2）
- ３節　樹脂製建具
- 耐風圧性、気密性及び水密性の等級並びに枠の見込み寸法　※図示による
- 外部に面する建具を木下地に取り付ける場合の種別　※図示による
- 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級　・T-1　・T-2
- 断熱ドアセット、断熱サッシとする場合の断熱性の等級　※図示による
- 外部に面する建具の日射熱取得性の等級　※図示による

⑨ 材料（16.3.3）
- ガラス　※複層ガラス　・その他（　　　）

⑩ 形状及び仕上げ（16.3.4）
- 建具の枠の見込み寸法　※図示による
- 表面色　⊙標準色　・特注色

⑪ 性能及び構造（16.4.2）
- ４節　鋼製建具
- 簡易気密型ドアセットの適用　※図示による
- 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級　※図示による

⑫ 材料（16.4.3）
- 点検口の類　※図示による

⑫ 形状及び仕上げ（16.4.4）
- 鋼板類の厚さ　※図示による

⑬ 性能及び構造（16.5.2）
- ５節　鋼製軽量建具
- 簡易気密型ドアセットの適用　※図示による

⑭ 材料（16.5.3）
- 鋼板類の種類　※図示による
- 召合せ、縦小口包み板等の材質　※鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニウム合金

⑮ 形状及び仕上げ（16.5.4）
- 鋼板類の厚さ　※図示による

⑯ 材料（16.6.3）
- ６節　ステンレス製建具
- ステンレス鋼板の種類　⊙図示による

⑰ 形状及び仕上げ（16.6.4）
- 表面仕上げ　※ＨＬ　⊙その他（　図示による　）

⑱ 工法（16.6.5）
- ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

⑲ 材料（16.7.2）
- ７節　木製建具
- 建具材の加工、組立時の含水率の種別　※Ａ種　・Ｂ種
- フラッシュ戸の表面材の種類の適用　※図示による
  - 表面材の品質等、材料のホルムアルデヒド放散量等　・図示による
  - ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）の表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分及び難燃性による区分　※図示による
- かまち及び鏡板の樹種　※図示による
- ふすまの材料の種別　・Ⅰ型　・Ⅱ型
- ふすま紙の上張りの種類　※図示による
- 枠及びくつずりの材料　※図示による

⑳ 形状及び仕上げ（16.7.3）
- フラッシュ戸の表面板の厚さ　⊙図示による
- 各木製建具の見込み寸法　⊙図示による

㉑ 工法（16.7.4）
- フラッシュ戸の工法で引戸の定規縁の召合せかまちをいんろう付きとする場合　※図示による
- ふすまの縁の仕上げ　※図示による

㉒ 一般事項（16.8.1）
- ８節　建具用金物
- 既製金物又はこれに準ずる金物のうち、機能上必要な最小限のもの
  - ※建具の製造所の仕様　⊙その他（　　　）

㉓ 材質、形状及び寸法（16.8.2）
- 金物の種類及び見え掛り部の材質　※図示による
- 金属製建具用の丁番の枚数及び大きさ　・図示による
- 樹脂製建具用の丁番の枚数及び大きさ　・図示による
- 木製建具用の丁番の枚数及び大きさ　・図示による
- 木製建具用の戸車及びレール　・図示による

㉔ 取付け施工（16.8.3）
- 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置　※図示による

㉕ 鍵（16.8.4）
- マスターキー　⊙製作する　・製作しない
- 鍵の製作本数等　⊙図示による

㉖ 性能（16.9.2）
- ９節　自動ドア開閉装置
- 駆動装置の性能値　※図示による
- 多機能トイレ出入口に設置される引き戸用駆動装置の性能値　⊙図示による
- 検出装置の性能　※図示による

㉗ 機構（16.9.3）
- 戸の開閉方式　※図示による
- 引き戸用検出装置の種類　※図示による
- 凍結防止措置を行う場合　※図示による

㉘ 性能等（16.10.3）
- 10節　自閉式上吊り引戸装置
- 自閉式上吊り引戸装置の性能　⊙図示による

㉙ 形式及び機構（16.11.2）
- 11節　重量シャッター
- シャッターの種類
  - ・管理用シャッター　・外壁用防火シャッター　・屋内用防火シャッター　・防煙シャッター
- 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度　※図示による
- 開閉方式の種類　※電動式（手動併用）　・手動式
- 電動式シャッターの急降下制動装置又は急降下停止装置の設置箇所　※図示による
- 電動式シャッターの障害物感知装置の設置箇所　※図示による
- 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの設置箇所　※図示による
- シャッターケース　・設ける　・設けない

㉚ 材料（16.11.3）
- スラット及びシャッターケース用鋼板の種類及びめっきの付着量　※図示による

31 形式及び機構（16.12.2）
- 12節　軽量シャッター
- 開閉方式の種類　・電動式（手動併用）　※手動式
- 耐風圧強度　※図示による

32 材料（16.12.3）
- スラットの材質の種類及びめっきの付着量　※図示による

33 形状及び仕上げ（16.12.4）
- スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

34 形式及び機構（16.13.2）
- 13節　オーバーヘッドドア
- セクション材料による区分　※スチールタイプ　・アルミニウムタイプ　・ファイバーグラスタイプ
- 耐風圧性能の区分　※図示による
- 開閉方式による区分　※バランス式　・チェーン式　・電動式
- 収納形式による区分　・スタンダード形　・ローヘッド形　・ハイリフト形　・バーチカル形

35 材料（16.13.3）
- ガイドレールに使用する材料　※溶融亜鉛めっき鋼板　・ステンレス鋼板

㊱ 材料（16.14.2）
- 14節　ガラス
- 板ガラスの種類、品種及び厚さ等　※図示による
- ガラス留め材の種別　⊙シーリング（種類記号：　　　）
  - ・ガスケット（種類記号：　　　）

㊲ ガラス溝の寸法、形状等（16.14.3）
- 板ガラスをはめ込む溝の大きさ　※建具の製造所の仕様　⊙その他（　　　）

38 ガラスブロック積み（16.14.5）
- ガラスブロックの表面形状、呼び寸法及び厚さ　※図示による
- 壁用金属枠及び補強材　※図示による
- 力骨の材質、寸法及び形状　・図示による
- 化粧目地モルタルの色　※図示による
- シーリング材の種類　※図示による
- 金属製化粧カバーの材質、寸法及び形状　※図示による
- 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法　※図示による
- ガラスブロックの目地幅の寸法　・図示による
- 伸縮調整目地の位置　・図示による
- 目地部の横力骨の納まり　※ガラスブロックの製造所の仕様　・その他（　　　）

17 カーテンウォール工事

① 性能（17.1.3）
- １節　共通事項
- カーテンウォールの耐風圧性、耐震性、水密性、気密性、耐火性、耐温度差性、遮音性、断熱性等の諸性能値
  - ※図示による
- 性能の確認方法及び判定方法　・図示による

2 材料（17.2.2）
- ２節　メタルカーテンウォール
- カーテンウォールに使用する金属系材料の種類　※図示による
- シーリング材の種類　※図示による
- ガラス取付け材料のシーリング材の種類　※図示による
- ガラス取付け材料の構造ガスケットの材質・形状等　※図示による
- 断熱材　※図示による

3 形状及び仕上げ（17.2.3）
- 製品の寸法許容差　・図示による
- 製品の見え掛り部分の仕上げ　※図示による
- ガラス溝の寸法、形状等　※カーテンウォールの製造所の仕様　・その他（　図示による　）

4 取付け（17.2.5）
- 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差　・図示による
- カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差　・図示による

⑤ ガラスの取付け（17.2.6）
- ガラスの取付け　※図示による

6 材料（17.3.2）
- ３節　ＰＣカーテンウォール
- コンクリートの種類　※図示による
- コンクリートの品質　・図示による
- 鉄筋の種類の記号　※ＳＤ２９５Ａ　・その他（　　　）
- 補強鉄線の径及び網目寸法　※図示による
- シーリング材の種類　※図示による
- 耐火目地材　※図示による
- 断熱材　※図示による
- 先付け材料の仕上げ材（タイル等）、建具枠、ゴンドラ用ガイドレール等　※図示による

7 形状及び仕上げ（17.3.3）
- 製品の見え掛り部の寸法許容差　・図示による
- ＰＣカーテンウォールの仕上げ　※図示による
- 構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差　※図示による

8 製作（17.3.4）
- 鉄筋の配筋　・図示による

9 取付け（17.3.5）
- カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差　・図示による

10 ガラスの取付け（17.3.6）
- 構造ガスケットを用いるガラスの取付け　※図示による

18 塗装工事

① 各部の素地ごしらえ（18.2.2）（18.2.3）（18.2.4）（18.2.5）（18.2.6）（18.2.7）
- ２節　素地ごしらえ
- 各素地面における素地ごしらえの種別
  - 木部　⊙Ａ種　⊙Ｂ種
  - 鉄鋼面　・Ａ種　⊙Ｂ種　⊙Ｃ種
  - 亜鉛めっき鋼面　⊙Ａ種　⊙Ｂ種
  - モルタル面及びせっこうプラスター面　・Ａ種　※Ｂ種
  - コンクリート面及びＡＬＣパネル面　・Ａ種　⊙Ｂ種
  - せっこうボード面及びその他ボード面　・Ａ種　⊙Ｂ種

② 塗料種別（18.3.2）
- ３節　錆止め塗料塗り
- 鉄鋼面の錆止め塗料の種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種
- 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料の種別　⊙Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種

③ 錆止め塗料塗り（18.3.3）
- 鉄鋼面の錆止め塗料塗りの種別　⊙Ａ種　⊙Ｂ種
- 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料塗りの種別　⊙Ａ種　⊙Ｂ種

- ４節　合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）
- ５節　クリヤラッカー塗り（ＣＬ）
- ６節　アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）
- ７節　耐候性塗料塗り（ＤＰ）
- ８節　つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）
- ９節　合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）
- 10節　ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）
- 11節　ステイン塗り
- 12節　木材保護塗料塗り（ＷＰ）

4 各塗り等の種別（18.4.2）（18.4.3）（18.5.2）（18.6.2）（18.7.2）（18.7.3）（18.7.4）（18.8.2）（18.8.4）（18.9.2）（18.10.2）（18.11.2）（18.12.2）
- 各塗り等の種別
  - 木部合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）　⊙Ａ種　・Ｂ種
  - 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）　・Ａ種　※Ｂ種
  - クリヤラッカー塗り（ＣＬ）　・Ａ種　※Ｂ種
  - アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）　・Ａ種　※Ｂ種
  - 鉄鋼面の耐候性塗料塗り（ＤＰ）の上塗り塗料の等級　⊙１級　・２級　・３級
  - 亜鉛めっき鋼面の耐候性塗料塗り（ＤＰ）の上塗り塗料の等級　⊙１級　・２級　・３級
  - コンクリート面及び押出成形セメント板面の耐候性塗料塗り（ＤＰ）　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
  - コンクリート面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等のつや有り合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）　・Ａ種　※Ｂ種
  - 屋内の鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）　・Ａ種　※Ｂ種
  - 合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）　・Ａ種　※Ｂ種
  - ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）　・Ａ種　※Ｂ種
    - 工程１の着色の適用　※図示による
  - オイルステイン塗り（ＯＳ）の塗料　※図示による
  - 木材保護塗料塗り（ＷＰ）　・Ａ種　※Ｂ種

19 内装工事

① 材料（19.2.2）
- ２節　ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り
- ビニル床シートの種類の記号、色柄、厚さ等　※図示による
- ビニル床タイルの種類の記号、色柄、寸法、厚さ等　※図示による
- 帯電防止床シートの種類、性能、厚さ等　※図示による
- 帯電防止床タイルの種類、性能、寸法、厚さ等　※図示による
- 視覚障害者用床タイルの種類、形状　※図示による
- 耐動荷重性床シートの種類、厚さ等　※図示による
- 防滑性床シートの種類、厚さ等　※図示による
- 防滑性床タイルの種類、寸法、厚さ等　※図示による
- ビニル幅木の材質の種類、厚さ、高さ等　※図示による
- ゴム床タイルの色柄、種類、厚さ、寸法等　※図示による
- 接着剤の施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合　※図示による

② 施工（19.2.3）
- ビニル床シート張りの接合部の処理の工法　※熱溶接工法　・その他（　　　）

③ 材料及び工法（19.3.2）（19.3.3）
- ３節　カーペット敷き
- 織じゅうたんの種別、織り方、パイルの形状、色柄、パイル糸の種類及び帯電性　※図示による
- 織じゅうたんの接合方法　※ヒートボンド工法　・その他（　　　）
- タフテッドカーペットのパイルの形状、パイル長及び帯電性　※図示による
- タフテッドカーペットの工法　・グリッパー工法　・全面接着工法
- タイルカーペットの種類、パイルの形状、寸法、総厚さ及び敷き方等　※図示による
- 下敷き材　⊙図示による
- 取付け用付属品である見切り、押え金物の材質、種類及び形状　※図示による

④ 材料及び工法（19.4.2）（19.4.3）
- ４節　合成樹脂塗床
- 弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げの種類
  - ⊙※平滑仕上げ　⊙防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
- エポキシ樹脂系塗床の工法及び仕上げの種類
  - ・薄膜流しのべ工法　⊙厚膜流しのべ工法　・樹脂モルタル工法
  - ・平滑仕上げ　・防滑仕上げ

⑤ 材料（19.5.2）
- ５節　フローリング張り
- フローリングの種類　※図示による

⑥ 工法一般等（19.5.3）（19.5.4）（19.5.5）
- フローリング張りの工法
  - ・釘留め工法
    - ・根太張り工法　・直張り工法
      - ・フローリングボード
        - 樹種　※図示による
      - ・複合フローリング
        - 樹種　※図示による
        - 種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
  - ⊙接着工法
    - フローリングの適用　・フローリングボード　⊙複合フローリング　・フローリングブロック
    - フローリングの厚さ、幅、長さ及び樹種　※図示による
    - 複合フローリングの表層　※図示による
    - フローリング裏面の不陸緩和材　※合成樹脂発泡シート　・その他（　　　）

⑦ 材料（19.6.2）
- ６節　畳敷き
- 畳の種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　⊙Ｄ種
- Ｄ種の場合の畳床記号　・ＫＴ－Ⅰ　・ＫＴ－Ⅱ　⊙ＫＴ－Ⅲ　・ＫＴ－Ｋ　・ＫＴ－Ｎ
- 衝撃緩和型畳の畳表　・Ｃ１　・Ｃ２　・畳製造所の仕様

⑧ 材料（19.7.2）
- ７節　せっこうボード、その他ボード及び合板張り
- せっこうボード、その他のボード類の種類、厚さ等　※図示による
- 合板の樹種名、板面の品質、厚さ及び防虫処理等　※図示による

⑨ 工法（19.7.3）
- 合板類の張付けの種別　・Ａ種　・Ｂ種
- せっこうボードの目地工法の種類　⊙継目処理工法　・突付け工法　・目透し工法

⑩ 材料（19.8.2）
- ８節　壁紙張り
- 壁紙の種類及び防火性能　※図示による

⑪ 施工（19.8.3）
- モルタル面及びせっこうプラスター面の素地ごしらえ　・Ａ種　※Ｂ種
- コンクリート面の素地ごしらえ　・Ａ種　※Ｂ種
- せっこうボード面の素地ごしらえ　・Ａ種　※Ｂ種

⑫ 断熱材打込み工法（19.9.3）
- ９節　断熱・防露
- 断熱材の種類及び厚さ　※図示による

13 断熱材現場発泡工法（19.9.4）
- 断熱材の種類　・Ａ種１　・Ａ種１Ｈ
- 断熱材の吹付け厚さ　※図示による

20 ユニット及びその他の工事

① フリーアクセスフロア（20.2.2）
- ２節　ユニット工事等
- フリーアクセスフロア及び表面仕上材の寸法、フリーアクセスフロア高さ、耐震性能、所定荷重、帯電防止性能、漏えい抵抗
  - ※図示による
- フリーアクセスフロアの耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能
  - ⊙図示による
- 寸法精度　・図示による

2 可動間仕切（20.2.3）
- 可動間仕切の構造形式による種類、構成基材の種類及び遮音性　※図示による
- パネル表面仕上げ　※図示による
- パネル内に取り付ける建具の寸法及び形状　※図示による

③ 移動間仕切（20.2.4）
- パネルの操作方法による種類並びにパネル表面材の材質及び仕上げ　※図示による
- パネル圧接装置の操作方法　※図示による
- 遮音性能　※図示による
- ハンガーレール取付け下地の補強　⊙図示による
- パネルをランナーに取り付ける部品　・図示による
- ハンガーレール　・図示による
- ランナー　・図示による
- ハンガーレールの躯体又は下地補強材への固定にあと施工アンカーを使用する場合の材質、寸法等
  - ※図示による

④ トイレブース（20.2.5）
- パネル表面材　⊙メラミン樹脂系化粧板　・ポリエステル樹脂系化粧板
- 脚部の種類　※幅木タイプ　⊙その他（図示による）
- ドアエッジの材質　※トイレブースの製造所の仕様　・その他（　　　）

⑤ 手すり（20.2.6）
- 種類及び仕上げ　※図示による

⑥ 階段滑り止め（20.2.7）
- 材種、形状、寸法等　※図示による
- 取付け工法の種類　※接着工法　・埋込み工法

⑦ 黒板及びホワイトボード（20.2.9）
- 黒板　※図示による
- ホワイトボード　※図示による

⑧ 鏡（20.2.10）
- 鏡の厚さ　※５ｍｍ　⊙その他（図示による）

⑨ 表示（20.2.11）
- ガラススクリーンに対する対人衝突防止表示の形状、寸法、材質等　※図示による
- 非常用進入口等の表示の適用　※図示による
- 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
  - ※図示による

⑩ タラップ（20.2.12）
- 種類及び仕上げ　⊙図示による

11 煙突ライニング（20.2.13）
- 煙突用成形ライニング材の適用安全使用温度（　　℃）
- 工法（　　　）

12 ブラインド（20.2.14）
- ・横型
  - 種類、幅、高さ及びスラットの幅並びにスラット、ヘッドボックス及びボトムレールの材種　※図示による
- ・縦型
  - 幅及び高さ並びに開閉方式及び操作方法　※図示による
  - スラット　・焼付け塗装仕上げのアルミスラット
    - ・消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工のクロススラット
  - スラットの幅　※図示による

13 ロールスクリーン（20.2.15）
- ロールスクリーンの操作方式、幅及び高さ　※図示による
- スクリーンの材種、品質等　※図示による
- 巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料
  - ※ロールスクリーンの製造所の仕様　・その他（　　　）

14 カーテン及びカーテンレール（20.2.16）
- カーテンのシングル・ダブルの別、片引き・引分け等の形式、開閉操作方式　※図示による
- カーテン用生地の種別、品質、特殊加工等　※図示による
- カーテンレールのレール及びブラケットの強さによる区分、レールの材料による区分、レールの仕上げ及び形状
  - ・図示による
- カーテンのひだの種類
  - ・フランスひだ（三つひだ）　・箱ひだ、つまひだ（二つひだ）　・プレーンひだ、片ひだ
- 暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※３００mm以上　・その他（　　　）
- カーテン用付属金物のフック　※鋼製　・樹脂製

15 材料（20.3.2）
- ３節　プレキャストコンクリート工事
- 補強鉄線の径及び網目寸法　※図示による

16 製作（20.3.3）
- コンクリートの設計基準強度（Ｆｃ）　・図示による
- 鉄筋の配筋　・図示による

17 養生その他（20.3.4）
- 取付け方法　※図示による

18 材料及び工法（20.4.2）（20.4.3）
- ４節　間知石及びコンクリート間知ブロック積み
- 間知石の材種　※図示による
- 間知石積みの積み方　・布積み　※谷積み
- 間知石積みの目塗り、伸縮調整目地の材種、厚さ等　※図示による
- コンクリート間知ブロックの種類及び質量区分　※図示による

21 排水工事

① 材料（21.2.1）
- ２節　屋外雨水排水
- 排水管用材料の材種、種類・記号、呼び径等　※図示による
- 側塊の形状及び寸法　※図示による
- 排水桝、ふたの種類等　※図示による
- 鋳鉄製のふたの名称、種類及び適用荷重　※図示による
- グレーチングの材質、用途、適用荷重、メインバーピッチ、ボルト固定の有無等　※図示による
- コンクリートの種類、設計基準強度及びスランプ　⊙図示による
- 現場打ちの場合の鉄筋の種類の記号等　※図示による
- 凍上抑制層に用いる材料　※図示による
- 砂の粒度試験　・行う　⊙行わない
- 埋戻しに用いる材料　⊙Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種

② 施工（21.2.2）
- 遠心力鉄筋コンクリート管の基床の厚さ及び種類　※図示による
- 硬質ポリ塩化ビニル管の基床の厚さ及び種類　※図示による
- 硬質ポリ塩化ビニル管の継手　※接着剤　・ゴム輪

③ 材料（21.3.1）
- ３節　街きょ、縁石及び側溝
- 縁石及び側溝の種類、形状及び寸法　※図示による

④ 施工（21.3.2）
- 砂利地業の厚さ　※１００mm　⊙その他（　図示による　）

22 舗装工事

① 路床の構成及び仕上り（22.2.2）
- ２節　路床
- 凍上抑制層の適用及び厚さ　※図示による
- 透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ　※図示による
- 路床安定処理の適用及び方法　※図示による

② 材料（22.2.3）
- 盛土の種別　⊙Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種
- 凍上抑制層及び透水性舗装のフィルター層に用いる材料　※図示による
- 路床安定処理用添加材料の種類　※図示による

③ 施工（22.2.4）
- 添加材料による路床安定処理をする場合のＣＢＲを満足する添加量　※図示による

④ 試験（22.2.5）
- 路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　・行う　⊙行わない
- 路床締固め度の試験　・行う　⊙行わない
- 現場ＣＢＲ試験　・行う　・行わない

⑤ 路盤の厚さ及び仕上り（22.3.2）
- ３節　路盤
- 路盤の厚さ　※図示による

⑥ 材料（22.3.3）
- 路盤材料の種別　※図示による

⑦ 舗装の構成及び仕上り（22.4.2）
- ４節　アスファルト舗装
- アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示による
- 舗装の平たん性　⊙図示による

⑧ 材料（22.4.3）
- 再生アスファルトの種類　※図示による

⑨ 配合その他（22.4.4）
- 表層の加熱アスファルト混合物等の種類　※図示による

⑩ 試験（22.4.6）
- アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　⊙行わない

⑪ 舗装の構成及び仕上り（22.5.2）
- ５節　コンクリート舗装
- コンクリート舗装の構成及び厚さ　※図示による

⑫ 材料（22.5.3）
- コンクリートの種類、設計基準強度、スランプ及び粗骨材の最大寸法　⊙図示による
- 早強ポルトランドセメントを用いる場合　※図示による
- 注入目地材料の種別　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ

⑬ 施工（22.5.4）
- コンクリート版の目地の種類及び間隔　・図示による
- 目地の構造　・図示による

14 舗装の構成及び仕上り（22.6.2）
- ６節　カラー舗装
- カラー舗装の種類　・加熱系　・常温系
- 加熱系カラー舗装
  - 構成及び厚さ　※図示による
  - 表層に用いる加熱系混合物の結合材の種類　※図示による
  - 舗装の平たん性　・図示による
- 常温系カラー舗装
  - 工法　※図示による
  - 着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装

15 材料（22.6.3）
- 加熱系混合物に添加する着色骨材又は自然石　※図示による

16 配合その他（22.6.4）
- 加熱系混合物の配合その他　※図示による
- ニート工法及び塗布工法の配合その他　※図示による

17 試験（22.6.6）
- 加熱系混合物の抽出試験　・行う　・行わない

18 舗装の構成及び仕上り（22.7.2）
- ７節　透水性アスファルト舗装
- 透水性アスファルト舗装の構成　※図示による
- 舗装の平たん性　・図示による

19 試験（22.7.6）
- 開粒度アスファルト混合物の抽出試験　・行う　・行わない

20 舗装の構成及び仕上り、材料（22.8.2）（22.8.3）
- ８節　ブロック系舗装
- コンクリート平板舗装
  - 目地材　・砂　・モルタル
  - クッション材　・砂　・空練りモルタル
  - 平板の種類、寸法及び厚さ　※図示による
- インターロッキングブロック舗装
  - 種類、形状、寸法、厚さ、曲げ強度、表面加工等　※図示による
- 舗石舗装
  - 基層　・アスファルト混合物　・コンクリート版
  - 基層の厚さ　アスファルト混合物　※５０mm　・その他（　　　）
    - コンクリート版　※７０mm　・その他（　　　）
  - クッション材　※砂　・空練りモルタル
  - 石材の種類、形状、寸法及び厚さ　※図示による
- 仕上り面の平たん性　・図示による

21 材料（22.9.2）
- ９節　砂利敷き
- 砂利敷きの種別　・図示による

23 植栽及び屋上緑化工事

① 植栽地の確認等（23.1.3）
- １節　共通事項
- 土壌の水素イオン濃度指数（ｐＨ）、電気伝導度（ＥＣ）等の試験
  - ・行う　⊙行わない

② 植栽基盤一般（23.2.2）
- ２節　植栽基盤
- 植栽基盤の整備　⊙行う　・行わない
- 有効土層として整備する面積　※図示による
- 有効土層として整備する厚さ　⊙図示による
- 植栽基盤に浸透した雨水を排水するため、暗きょ、開きょ、排水層、縦穴排水等を設置する場合　※図示による
- 植栽基盤の整備工法の種別　樹木　※Ａ種　・Ｂ種　⊙Ｃ種　・Ｄ種
  - 芝及び地被類　・Ａ種　※Ｂ種　⊙Ｃ種　・Ｄ種
- 土壌改良材　⊙使用する　・使用しない

③ 材料（23.2.3）
- 植込み用土　・客土　・現場発生土の良質土
- 土壌改良材の種類　※図示による

④ 工法（23.2.4）
- 土壌改良材のの指定量　※図示による

5 材料（23.3.2）
- ３節　植樹
- 樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みものの適用並びに数量　※図示による
- 支柱材の種類　※丸太　・竹
  - 丸太の防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・その他（　　　）
- 幹巻き用材料　※幹巻き用テープ　・わら　・こも

6 新植の工法（23.3.3）
- 支柱　・添え柱形　・鳥居形　・八ッ掛け形　・布掛け形　・ワイヤ掛け形　・地下埋設形

7 新植樹木の枯補償（23.3.4）
- 新植樹木の枯補償の期間
  - ※引渡しの日から１年　・その他（　　　）

■ 設計記録

紀北支援学校中校舎棟建築　工事設計図

図面名称：特記仕様書（３）　R6.8.1 改定版

図面番号：Ａ－００３

検印

担当

8　移植樹木の枯損処置（23.3.6）	移植樹木の枯損処置を行う期間 ※引渡しの日から１年　・その他（　　）
	４節　芝張り、吹付けは種及び地被類
9　材料（23.4.2）	芝の種類　※コウライシバの類　・ノシバの類 吹付けは種用種子の種類　※洋芝類　・その他（　　） 吹付けは種用種子の量　※図示による 地被類の植物の種類、芽立数、径及び単位面積当たりの株数　※図示による
10　芝張りの工法（23.4.3）	芝張り　平地　※目地張り　・べた張り 法面　・目地張り　※べた張り
11　芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償（23.4.7）	芝及び地被類の枯補償の期間 ※引渡しの日から１年　・その他（　　）
	５節　屋上緑化
12　植栽基盤（23.5.2）	屋上緑化システムの土壌層の厚さ　※図示による
13　材料（23.5.3）	排水層の種類　・軽量骨材　・透水排水管　・板状成形品 軽量骨材の層の厚さ　※図示による 土壌層の植込み用土の種類　・人工軽量土　※改良土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数並びに刈込みものの適用及び数量　※図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示による
14　工法（23.5.4）	風圧力に対応した工法　※図示による 支柱の設置及び形式　※図示による かん水装置の設置及び種類　※図示による
15　新植樹木、芝及び地被類の枯補償（23.5.5）	新植樹木の枯補償の期間　※引渡しの日から１年　・その他（　　） 芝及び地被類の枯補償の期間　※引渡しの日から１年　・その他（　　）

■ 設 計 記 録

紀北支援学校中校舎棟建築　工 事 設 計 図

図 面 名 称

特記仕様書（４）

R6.8.1 改定版

図 面 番 号

Ａ－００４

検印	担当

項目　区分	建築	電気	建築(昇降機)	衛生	空調	別途	備考
仮囲い・足場・桟橋等の架払い、維持、補修	●						
監理員事務所の架払い、備品、維持、補修	●	●	●	●	●		
工事用電話・電力・上水・下水・ガスの使用料金 {本設（受電・電話・上水・下水・ガス等）から建物引渡し時までの基本料金及び使用料金を含む}	●	●	●	●	●		
その他の仮設建物及び機械器具等	●	●	●	●	●		
工事現場保安要員、交通整理員	●	●	●	●	●		
地中障害物撤去						●	
ＲＣ造・ＣＢ造の　スリーブ・箱入れ	●	●	●	●	●		
同上　貫通箇所の補強	●						
	建築	電気	昇降機	衛生	空調	別途	
Ｓ造・ＳＲＣ造の貫通スリーブ（鉄骨部分）	●						
同上　貫通箇所の補強（鉄骨穴明けを含む）	●						
デッキプレート・ＡＬＣ版・押出成形板等の床・壁開口補強及び切断	●						
床・壁の貫通スリーブ・箱入れ	●	●	●	●	●		
同上　貫通補強	●						
ＲＣ造・ＳＲＣ造・ＰＣ造のスラブインサート	●	●	●	●	●		部品は各工事に支給
ＰＣ部材の貫通・開口補強等、押込み部品の取り付け	●						
外壁の埋め込み配管に対するひび割れ防止補強	●						
配管等躯体貫通部・不要穴あけ部の穴埋め・止水処理	●	●		●	●		
防火区画・防火壁を貫通するダクト・配管等の防火処置	●	●		●	●		
点検口（床・壁・天井）及び　開口補強	●						
同上　位置出し・位置の指示	●	●	●	●	●		
照明器具・スピーカー等の天井埋込機器の切込み及び補強・補修	●						
同上　位置出し・位置の指示		●					
吹出口・吸込口空調機器等の天井埋込機器の切込み及び補強・補修	●						
同上　位置出し・位置の指示					●		
換気扇の取り付け工事（壁・天井）					●		
同上　取り付け枠（木枠）	●						
同上　取り付け枠（木枠以外）					●		
同上　電気配管・配線及び接続		●					
同上　リモートスイッチ取り付け		●					部品は空調工事から支給
同上　天井切込み及び補強・補修　　壁　貫通孔及び補強・補修	●						
同上　位置出し・位置の指示					●		
	建築	電気	昇降機	衛生	空調	別途	
設備機器・器具・配管・配線・ダクト用つりボルト及びインサート		●		●	●		
設備機器（ダクト・配管等）下の天井下地の吊りボルト支持及び補強	●						
鋼製間易間仕切（既製品）及び　開口・補強	●						
現場制作間仕切（ＬＧＳ等）の開口・補強	●						
同上　位置出し・位置の指示		●		●	●		
同上　ボックス・機器取り付け、配管・配線及び接続		●		●	●		
屋内設置機器の基礎・仕上・床補強	●						
同上　機器取付用アンカー・架台・防震浮基礎及び位置出し		●	●	●	●		
屋上設置機器の基礎・仕上・床補強	●						
同上　機器取付用アンカー・架台・防震浮基礎及び位置出し	●	●		●	●		アンカー・架台：建築
屋外設置機器の基礎・仕上	●						
同上　機器取付用アンカー・架台・防震浮基礎及び位置出し	●	●		●	●		
	建築	電気	昇降機	衛生	空調	別途	
屋根防水箇所の配管塔（ＰＳ立ち上がり）（仕上を含む）	●						
同上　配管施工後の穴埋め	●	●		●	●		
屋外型受水槽・キュービクル等の囲壁	●						
キュービクル保守架台	●						
電気室等床の　配線トレンチ、蓋及び塗床仕上	●						
機械室等の　配管トレンチ・排水溝・桝・蓋及び塗床仕上	●						
同上　マシンハッチ等駄目穴用補強及び閉鎖	●						
嵩上げコンクリート	●						
内・外壁の　換気・排気・リターン等の　ガラリ 及び　ドアガラリ（ダクト接続用単管、プレフィルター共）	●						
同上　取り付け（シーリングを含む）	●						
同上　ダクト接続工事					●		
同上　ウエザーカバー、ベントキャップ					●		
玄関出入口の床マット下の排水桝（仕上を含む）	●						
同上　排水金具・排水管及び接続	●						
ＤＳ、ＰＳ、ＥＰＳ　床防塵仕上	●						
二重スラブ内及び床下ピット　　排水桝　（仕上を含む）	●						
同上　通気管・排水管・入通孔	●						
同上　排水桝内設置の水中ポンプ				●			
同上　水中ポンプからの排水管及び接続				●			
同上　一次側電気配管・配線工事		●					
	建築	電気	昇降機	衛生	空調	別途	

項目　区分	建築	電気	建築(昇降機)	衛生	空調	別途	備考
据え付け流し（既製品）　　（据え付けを含む）	●						
同上　排水金物	●						
同上　給水金物・給湯・排水・ガス配管工事（接続共）				●			取付用穴明け：建築
据え付け流し（特注品）　　（据え付けを含む）	●						
同上　排水金物（オーバーフロー　有・無　共）	●						
同上　コンセント・操作パネル・接続工事		●					
同上　給水金物・給湯・排水・ガス配管工事（接続共）				●			取付用穴明け：建築
造り付け流し	●						
同上　排水金物（オーバーフロー　有・無　共）	●						
同上　コンセント・操作パネル・接続工事		●					
同上　給水・給湯・排水・ガス配管工事（接続共）				●			
ミニキッチン（照明、レンジ等）	●						
同上　給水・給湯・排水・ガス配管工事（接続共）				●			
同上　一次側電気配管・配線工事		●					
同上　換気設備工事	●				●		
換気フード					●		
同上　ダクト接続工事					●		
同上　フード廻りに取り付ける幕板	●						
ユニットシャワー、ユニットバス等（据え付けを含む）	●						
同上　水栓類の取付	●						
同上　換気設備					●		
同上　給湯リモコン・呼出ボタンの開口及び補強	●						
同上　ドレン金具取付	●						
同上　下部の排水管	●						
同上　フルカウンター内部さや管・水栓	●						
同上　照明器具	●						
同上　一次側電源接続(スイッチを含む)							
	建築	電気	昇降機	衛生	空調	別途	
化粧鏡（既製品）				●			厨房・便所・洗面カウンター部等
大型鏡	●						
姿見鏡	●						
洗面化粧台、同化粧鏡	●						
洗面化粧台バックガード	●						
同上　給水・給湯・排水・配管工事（接続共）				●			
同上　一次側配線・結線		●					
洗面カウンター（穴明け共）	●						
同上　衛生器具・水栓(給水・給湯)・排水トラップ　（取り付けを含む）				●			
同上　照明器具・コンセント（取り付けを含む）		●					
同上　給水・給湯・排水配管工事（接続共）				●			
同上　一次側電気配管・配線及び接続		●					
洗面ボウル一体型カウンター	●						
同上　排水トラップ				●			
	建築	電気	昇降機	衛生	空調	別途	
身障者用手摺	●						
身障者用点字表示等	●						
身障者用案内チャイム．音声誘導装置等		●					
多目的シート	●						
洗濯機パン　（配管接続含む）（周囲のシーリング共）				●			
ＯＡフロア・フリーアクセスフロア床パネル（穴あけ含む）、床防塵塗料	●						
同上　情報及びコンセント　（穴あけ含む）		●					
同上　ケーブルトレンチ及び蓋	●						
カーテンレール	●					●	図示のみ本工事
カーテンボックス、場幕ボックス、ブラインドボックス	●						
カーテン、暗幕、ブラインド						●	図示のみ本工事
同上　電動装置　（二次側配線含む）	●						
同上　一次側電源		●					
	建築	電気	昇降機	衛生	空調	別途	
自動ドア	●						
同上　一次側電気配管・配線及び接続・点検用スイッチ共		●					
同上　二次側電気配管・配線及び接続	●						
電動シャッター・電動スクリーン	●						
同上　一次側電気配管・配線及び接続		●					
同上　リモートスイッチの機器取付電気配管・配線及び接続	●						
「電気錠関連」							
電気錠制御盤及び制御器の取付		●					
同上　電気錠取付調整	●						
同上　電気錠廻り（建具内）の配線	●						
同上　建具と制御盤間の配管配線		●					
同上　制御盤及び制御器への電源供給		●					
同上　制御盤と自火報受信機間の配管配線		●					
同上　テンキーまたはカードリーダー		●					
	建築	電気	昇降機	衛生	空調	別途	
オートドアシステム用制御盤取り付け	●						
同上　システムの電源供給		●					
同上　建具内配線	●						
同上　システムのシリンダスイッチ　取り付け	●						
防火戸の自動閉鎖装置（レリーズ）		●					
同上　煙感連動制御盤及び一次側・二次側配管配線		●					
煙感知器連動の防火防煙シャッター及び防煙垂れ壁	●						
同上　自動開閉装置（レリーズ）		●					
同上　動作用煙感知器及び電気配管・配線・接続		●					
同上　動作表示及び電気配管・配線・接続		●					
同上　制御盤		●					
同上　制御盤の一次側電気配管・配線及び接続（予備電源共）		●					
厨房器具　及び　据付　排水トラップ（水栓共）	●			●			
同上　排水溝・桝・蓋	●						
同上　一次側電気配管・配線及び接続		●					
同上　給水・給湯・排水管等の接続				●			
同上　グリーストラップ				●			

項目　区分	建築	電気	建築(昇降機)	衛生	空調	別途	備考
浴槽　（風呂釜と接続するもの）	●						
浴槽　（風呂釜と接続しないもの）	●						
シャワーバン	●						
同上用　給水・給湯・排水管等の接続、排水トラップ				●			
同上用　給排水金物				●			
同上用　衛生器具類取付・配管接続				●			
同上用　排水溝・桝・蓋	●						
嵩上げコンクリート	●						
電動式映写スクリーンボックス	●						
同上　スクリーン		●					
同上　一次側電気配管・配線及び接続		●					
サイン（電照サイン含む）本体及び取付下地　独立サイン用基礎	●						
同上　一次側電気配管・配線及び接続		●					
同上　照明内蔵案内板等の二次側電気配管・配線及び接続	●						
	建築	電気	昇降機	衛生	空調	別途	
消火器					●		
消火器ボックス	●						
太陽光発電システム機器及び取付下地（アンカーボルト共）		●					
同上　基礎及び仕上	●						図示分のみ
同上　配管、配線工事		●					図示分のみ
ＲＣ造の　防火水槽・消火水槽・雨水槽（仕上を含む）	●						
同上　オーバーフロー				●			
その他水槽（ＲＣ造）（仕上を含む）	●						
雨水排水竪管（外部配管）　　（第一会所までの横引き管を含む）	●						
同上　（内部配管）　　（第一会所までの横引き管を含む）	●						
	建築	電気	昇降機	衛生	空調	別途	
屋外排水管（雨水）　（雨水桝を含む）	●						
同上　（汚水）　　（汚水桝を含む）				●			
同上　（雑排水）　　（雑排水桝を含む）				●			
エレベーター			●				
同上　三方枠取り付け・枠廻り埋戻し・同補強			●				
同上　出入口扉・三方枠・幕板補強鉄骨	●						
同上　運行監視盤取付・配管配線・接続			●				
同上　制御盤（ＥＶ機械室内または昇降路内等）から 外部インターホンまでの配管・配線		●					
同上　動力・照明用電源、アース、防災信号、拡声設備 （館内放送用）の一次側電気配管・配線及び接続		●					
同上　機械室の電源盤・２次側配管配線			●				
同上　昇降路内区画貫通処理		●					１次側配線のみ
同上　保守点検用コンセント		●					
同上　昇降路内及びピットの仕上	●						
同上　出入り口廻りの開口及び機械室の床穴開け	●						
同上　昇降路がＲＣ造及びＳＲＣ造の時、軌条・中間ビーム ・ブラケット他昇降路内の鋼製部材一式			●				
同上　昇降路がＳ造の時の中間ビームブラケット受けピース	●						
同上　昇降路又は機械室内の吊りフック取付	●						
同上　昇降路内ピット仕上	●						
同上　昇降路内の足場・点検タラップ			●				
同上　昇降路内の煙感知器		●					
同上　インジケータ押しボタン用壁穴あけ（躯体補強・埋戻共）	●						
同上　敷居受台ＲＣ床持出し	●						
同上　ガイドレール受けビーム・取付金物			●				
同上　インターホーン（取り付け・接続共）			●				
同上　かご内監視カメラ・昇降路内配管配線		●	●				モニターが事務室設置の場合は電気
同上　メンテナンス会社への自動通報装置			●				
同上　監視モニター（取り付け・接続共）	●						
換気ガラリ(アルミ製建具)背面のチャンバーボックス	●						
	建築	電気	昇降機	衛生	空調	別途	

項目　区分	建築	電気	建築(昇降機)	衛生	空調	別途	備考
電波障害机上調査（施工中）	●	●	●	●	●		
電波実走調査・対策費	●	●	●	●	●		
防煙ダンパ及び温度ヒューズ付防煙ダンパー					●		
同上　動作用煙感知器及び電気配管・配線・接続		●					
同上　動作表示及び電気配管・配線・接続		●					
同上　遠方操作用電気配管・配線・接続（予備電源共）		●					
同上　制御盤の一次側電気配管・配線及び接続		●					
消火栓・補助散水栓箱総合盤（本体組込み型）火災警報機等の取付箱				●			
同上　盤組込みの発信釦・表示灯及び起動押しボタン		●					
同上　配管・配線及び接続		●					
ユニット形消火栓ポンプ・スプリンクラーポンプ・自動給水装置 等の付属型制御盤（二次側を含む）				●			
同上　一次側電気配管・配線及び接続		●					
中央監視装置及び中央監視部分（防災盤）		●					
	建築	電気	昇降機	衛生	空調	別途	
空調設備の動力盤		●					
同上　一次側電気配管・配線及び接続		●					
同上　機器連動インターロック（火災発生時の空調機停止を含む）		●					
同上　遠方操作用機器　（取付含む）					●		
同上　遠方操作用電気配管・配線及び接続		●					
自動制御機器の計装盤					●		
同上　一次側電気配管・配線及び接続（電源供給）		●					
自動制御用電気配管・配線及び接続					●		
空調機器の一次側電気配管・配線及び接続		●					
空調機等のリモートスイッチの機器取り付け・電気配管・配線及び接続					●		
セパレート型空調機の二次側電気配管・配線及び接続					●		
空調機器のドレン排水（最寄り会所への接続を含む）					●		
湧水槽・雨水湧水槽の液面電極工事		●					
汚水槽・雑排水槽の液面電極工事		●					
受水槽・高架水槽の液面電極工事	建築	電気	昇降機	衛生	空調	別途	
膨張水槽の満面電極工事		●					
液面電極以外の水位制御器（フロースイッチ等）				●			
浄化槽　ＲＣ造工事（コンクリート打ち放しまで）				●			
同上　外部マンホール・チェッカープレート				●			
同上　外部防水工事及び外装仕上（扉含む）				●			
同上　内部防水工事及び内装仕上				●			
同上　内部機器　（基礎含む）				●			
同上　内部機器用基礎の仕上				●			
同上　内部機器用アンカーボルト				●			
同上　内部機器用各種配管				●			
揚泥管・汚水管・潤泡管・送気管・散気管等							
同上　給気管				●			
同上　排気管				●			
同上　流入管（最寄り第一会所への接続を含む）	建築	電気	昇降機	●	空調	別途	
同上　放流管（最寄り第一会所への接続を含む）				●			
同上　制御盤				●			
同上　制御盤一次側電気配管・配線及び接続		●					
同上　制御盤二次側電気配管・配線及び接続				●			
同上　外部取り出し警報の電気配管・配線及び接続				●			
同上　アース工事（接地極共）		●					
同上　水柱				●			
同上　給水管（槽外部１メートルまで）（接続を含む）				●			
同上　杭及び杭端処理及び杭頭補強				●			
防犯機器設備						●	
同上用配管工事		●					
電話機器設備（配線・ＭＪを含む）						●	
同上用配管工事（プレートを含む）		●					
音響・映像システム機器及び配線工事	建築	電気	昇降機	衛生	空調	別途	図示分のみ
同上用配管・配線工事		●					図示分のみ
情報システム機器						●	
ネットワーク（ＬＡＮ）機器（配線・ＭＪを含む）						●	
同上用配管工事（プレートを含む）		●					
外灯　（コンクリート基礎含む）		●					
電気・電話の引き込みハンドホール・引き込み柱		●					
下水本管への接続（申請手続き共）				●			
上水引き込み（申請手続き共）				●			
給水加入金・上水引き込み負担金・下水放流負担金・電力引き込み 負担金・ＡＴＶ引き込み負担金等の各種負担金						●	
	建築	電気	昇降機	衛生	空調	別途	

検印

内藤・フジ設計共同体

京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　神先　誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所　京都府知事登録　(06)第02291号

（主任技術者）
一級建築士　山田　俊二（登録第183136号）

（一級建築士　登録第160462号）
（構造設計一級建築士　第4071号）
藤田　貴司
【構造関係規定に関わる部分が適合する】
（一級建築士　登録第361974号）
（設備設計一級建築士　第5999号）
山本　篤史
【設備関係規定に関わる部分が適合する】

工事名　紀北支援学校中校舎棟建築工事

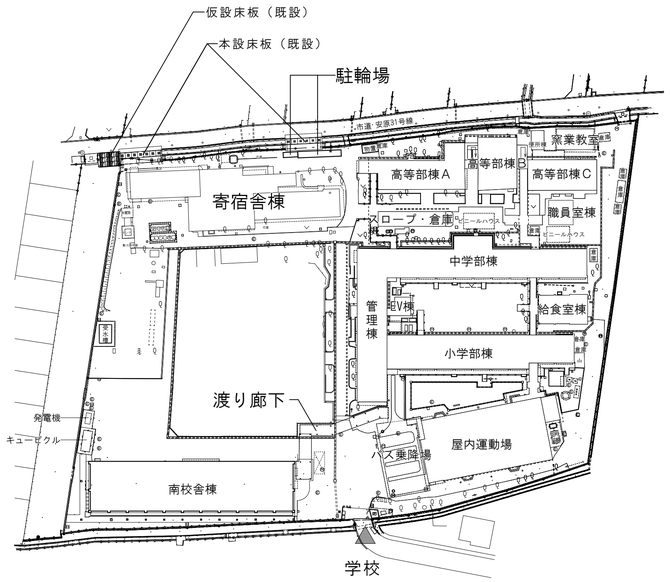
図名　工事区分表

縮尺　A1:1／200　A3:1／400

設計日

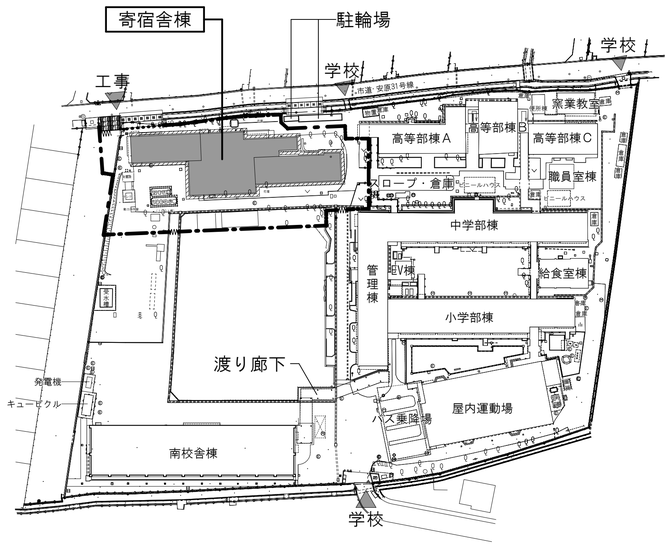
図番　Ａ－００５

現　況　図



ＳＴＥＰ－１

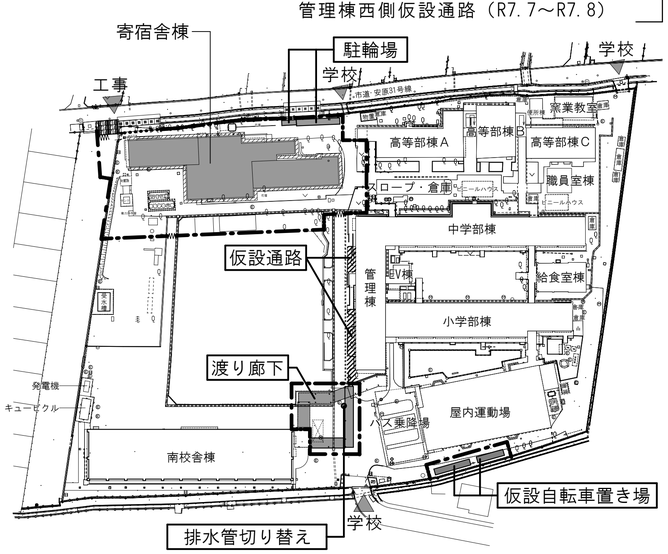
【解体】寄宿舎棟（R7.4～R8.1）（別途工事）



ＳＴＥＰ－２

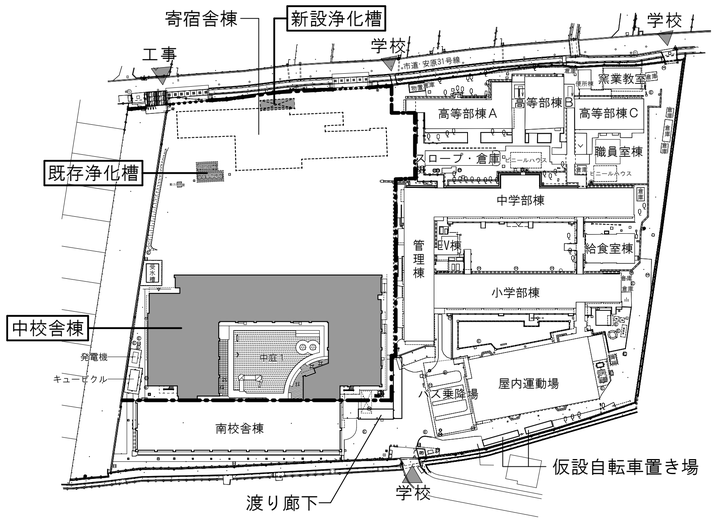
（夏休み期間）

【解体】寄宿舎棟（R7.4～R8.1）
駐輪場（R7.8 仮設自転車置き場設置後）
【新営】南校舎渡り廊下やり替え（R7.7～R7.8）
仮設自転車置き場（R7.7～R7.8）
排水管切り替え（R7.7～R7.8）
管理棟西側仮設通路（R7.7～R7.8）
別途工事



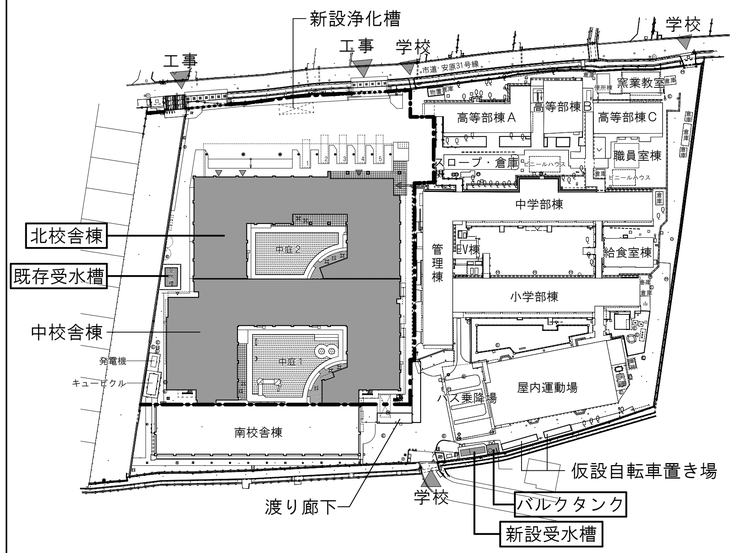
ＳＴＥＰ－３－①

【新営】中校舎棟（R7.10～R9.11頃）
浄化槽取替え（R7.11～R8.4頃）（別途工事）

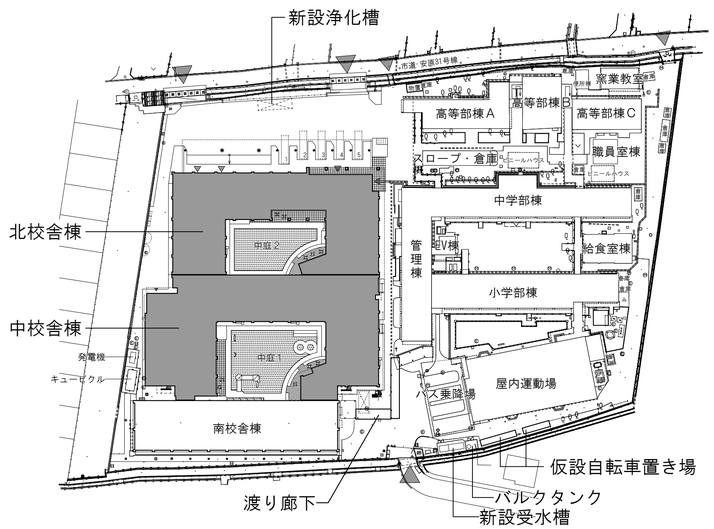


ＳＴＥＰ－３－②

【新営】中校舎棟（R7.10～R9.11頃）
北校舎棟（R8.4～R10.2頃）（別途工事）



工事完了時



工事工程表

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
【解体】寄宿舎（別途工事）	令和7年度4月～令和7年度1月頃			
【新営】仮設自転車置場（別途工事）	令和7年度7月～令和7年度8月（夏休み期間）			
【解体】既存自転車置場（別途工事）	令和7年度8月（夏休み期間）			
【新営】仮設渡り廊下（別途工事）	令和7年度7月～令和7年度8月（夏休み期間）			
【新営】中校舎棟			令和7年度10月～令和9年度11月頃	
【新営】浄化槽取替え（別途工事）		令和7年度11月～令和8年度4月頃		
【新営】北校舎棟（別途工事）			令和8年度4月～令和9年度2月頃	

検印

内藤・フジ設計共同体
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所 京都府知事登録 (06)第02291号
（主任技術者）
一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）
（一級建築士 登録第160162号）
（構造設計一級建築士 第4071号）
藤田 貴司
【構造関係規定に関わる部分が適合する】
（一級建築士 登録第361974号）
（設備設計一級建築士 第5999号）
山本 篤史
【設備関係規定に関わる部分が適合する】

紀北支援学校中校舎棟建築工事

図名：ステップ図

縮尺：A1:1／1000　A3:1／2000

設計日：

A－００６

1. 建築概要

工事名称	紀北支援学校中校舎棟建築工事		
工事場所（地名地番）	和歌山県和歌山市冬野地内		
建築主氏名（住所）	和歌山県		
発注形態	分離発注		
用途地域	無指定		
前面道路の種別・道路幅員	市道5.0m（法42条1項一号、安原31号線）	法定建蔽率	60 %
日影規制	5.0h-3.0h ・4.0m	法定容積率	200 %
防火地域	指定なし	高さ制限	m
その他の地域・地区等	法22条区域・都市計画区域（市街化調整区域）		
主要用途	特別支援学校	用途戸数（ベッド数）	床
工事種別	新築（増築）・改築・改修・解体		
主体構造	鉄筋コンクリート造・ＰＣ造	階数	地下 00 階 ・ 地上 4 階 ・ 塔屋 1 階
基礎・地業	既製杭	支持層の深さ	ＧＬ－ 39 m
主たる外部仕上	屋根：コンクリート直均しの上、シート防水	外壁	コンクリート打放しの上、防水形複層塗材E
	屋根：コンクリート直押えの上、アスファルト防水		
	軒裏：コンクリート打放しの上、可とう形外装薄塗材Ｅ		
工事着手予定	年 月 日	工事完了予定	年 月 日

	（申請部分）（中校舎棟・北校舎棟・自転車置き場他含む）	（申請以外部分）	（合計）
敷地面積	20,465.63 ㎡	000.00 ㎡	20,465.63 ㎡
建築面積	4,665.38 ㎡	2,984.96 ㎡	7,650.34 ㎡
延床面積	13,214.55 ㎡	3,843.20 ㎡	17,057.75 ㎡
駐車場面積	712.60 ㎡	000.00 ㎡	712.60 ㎡
その他容積対象外面積	174.91 ㎡	000.00 ㎡	174.91 ㎡
容積対象床面積	12,327.04 ㎡	3,843.20 ㎡	16,170.24 ㎡
駐車台数	11 台	000 台	11 台

建蔽率	37.39 %	容積率	79.02 %
平均地盤面の高さ	設計ＧＬ-0.062 m	設計地盤面（設計GL）	±0 m
最高の高さ	19.962 m（中校舎棟）	最高の軒の高さ	16.162 m（中校舎棟）

主たる関連法規制
注意事項

法規	都道府県条例	市区町村条例	許認可関係
	和歌山県	和歌山市	
建築基準法	建築安全条例	中高層建築物	
消防法 6 項-ニ	福祉のまちづくり条例	景観条例	
バリアフリー法			

2. 立地条件

設計降雨条件		
地下水位		
寒冷地対策		
その他	ハザードマップ情報	想定洪水浸水深 0.5m～3.0m未満

3. 電気設備概要

電力	引込	・ 地中埋設 ⊙ 架空 1 回線 3 Φ 3 w 6.6 KV
電源設備	変圧器	⊙ 油入り ・ モールド自冷式 4台 1400 kVA
	発電機	⊙ ディーゼル ・ ガスタービン1台 225 kVA 燃料 重油
	蓄電池	
幹線	照明	単相 3 線式 200/100 V
	動力	三相 3 線式 000 V
負荷	設備容量	1400 kW
	基準部照明	LED照明
防災	発電機	ディーゼルエンジン式 1 台 ※上記参照
	火災報知器	R 型 ー 回線 ２０４０アドレス
	非常照明	蓄電池内蔵型
	非常放送	３０局 540 W
その他		

4. 空調設備概要

熱源設備	エネルギー	・ 都市ガス ・ 電気 ・ 油 ・ 地域冷暖房 ・ その他（ ）
	方式	・ 中央式 ・ 個別式
	装置	
	総容量	冷熱源 ○○○ kW 温熱源 ○○○ kW
空調方式	インテリア	
	ペリメーター	
換気方式		・ 中央式（ ・ 第１種 ・ 第２種 ・ 第３種） ・ 個別式（ ・ 第１種 ・ 第２種 ・ 第３種）
排煙設備	方式	・ 自然排煙方式 ・ 機械排煙方式（ 0 系統）
	制御	・ 電気 ・ 空気式
その他		

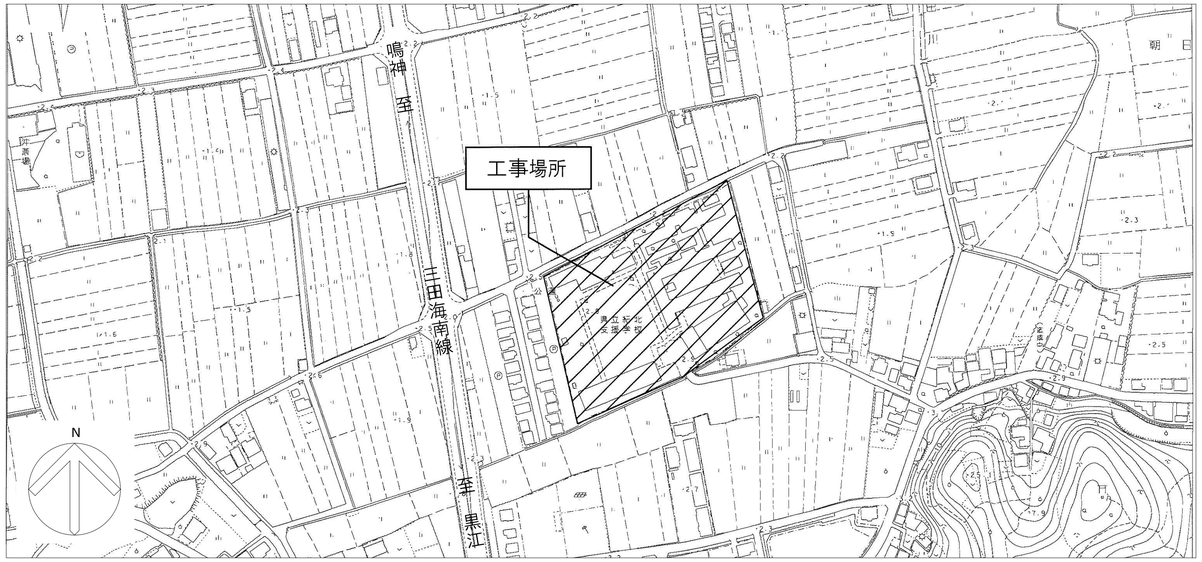
5. 給排水衛生設備概要

給水設備	水源	・ 上水 ・ 井水 引込口径 00 mm ・ 引込み管（ ・ 新規 ・ 既存利用）
	方式	・ 直結直圧方式 ・ 水道直結増圧給水 ・ 加圧給水（ポンプ直送） ・ 重力給水
	受水槽	上水 00＊（有効） × 0 基 雑用水 00＊（有効） × 0 基
	高置水槽	上水 00＊（有効） × 0 基 雑用水 00＊（有効） × 0 基
給湯設備	・ 中央式	熱源（ ・ 電気 ・ ガス ・ 重油 ・ 灯油 ・ 蒸気） 貯湯槽： 0＊（有効）× 0 基
	・ 個別式	熱源（ ・ 電気 ・ ガス ・ 重油 ・ 灯油 ・ 蒸気） 方式：・ 貯湯式 ・ 瞬間式 ・ 循環式
排水設備	屋内排水	・ 汚水、雑排水分流方式 ・ 汚水、雑排水合流方式
	屋外排水	・ 汚水、雑排水分流方式 ・ 汚水、雑排水合流方式
	雨水排水	雨水貯留槽（ ・ 有 ・ 無） 地下ピット： 00 ＊× 0 基 雨水再利用（ ・ 有 ・ 無）
	特殊排水	・ 有（ ） ・ 無
ガス設備	・ 都市ガス	引込み口径（低圧 000 mm）
	・ プロパンガス	00 kgボンベ × 00 本 0 組
消火設備		・ 屋内消火栓 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー消火 ・ 移動式粉末消火 ・ 泡消火 ・ 連結送水管 ・ 連結散水管
医療ガス設備		・ 酸素（O） ・ 治療用空気（A） ・ 吸引（V） ・ 笑気（N2O） ・ 窒素（N） ・ 余剰ガス排泄（Ｅｘ） ・ 非治療用空気（ＬＡ）
その他		

6. 昇降機設備概要

号機名と台数	ＥＶ.1 1 台			
用途と台数	人荷共用			
積載重量	1750 kg 26 人乗			
定格速度	60 m /m in			
停止階数	1～4F			
制御方式	インバータ制御方式			
身障者対応	あり			
耐震クラス	A14			
遮煙性能の有無	あり			
備考	専用運転あり			

付近見取図

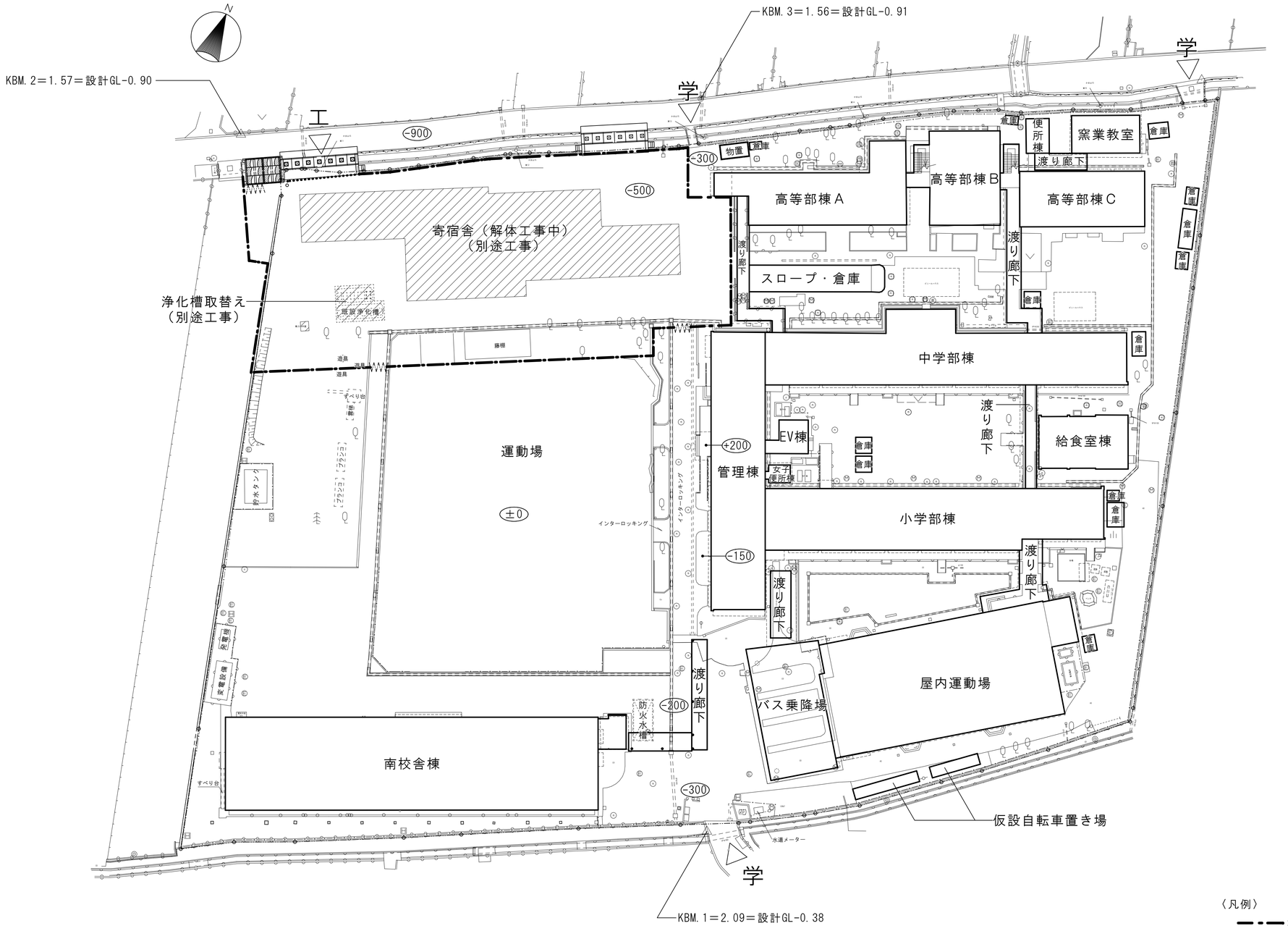


【 注記 】
本図の 記載事項で「 ・ 」印の付いたものは、⊙ 印の付いたものを適用する。

検印

内藤・フジ設計共同体
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所 京都府知事登録 (06)第02291号
（主任技術者）
一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）
（一級建築士 登録第160462号）
（構造設計一級建築士 第1071号）
藤田 貴司
【構造関係規定に関わる部分が適合する】
（一級建築士 登録第361974号）
（設備設計一級建築士 第5999号）
山本 篤史
【設備関係規定に関わる部分が適合する】

工事名	紀北支援学校中校舎棟建築工事		図番
図 名	縮 尺	設計日	
計 画 概 要 書	A1:- A3:-		A－007



配置図　1/400

±0　設計ＧＬからの高さを示す。

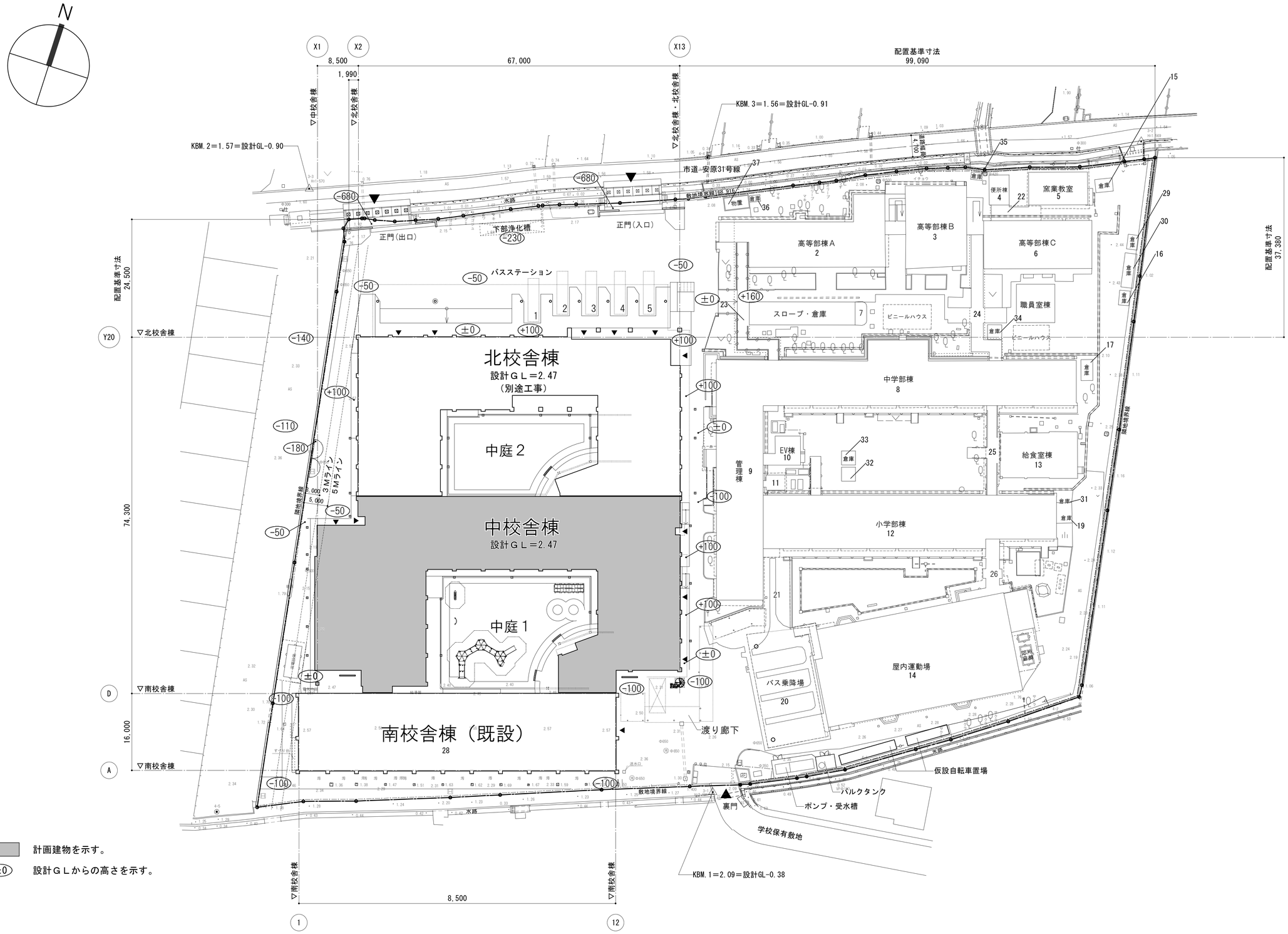
〈凡例〉

━ ━ ━：仮囲い（成形鋼板H=3m+防音シートH=1m）

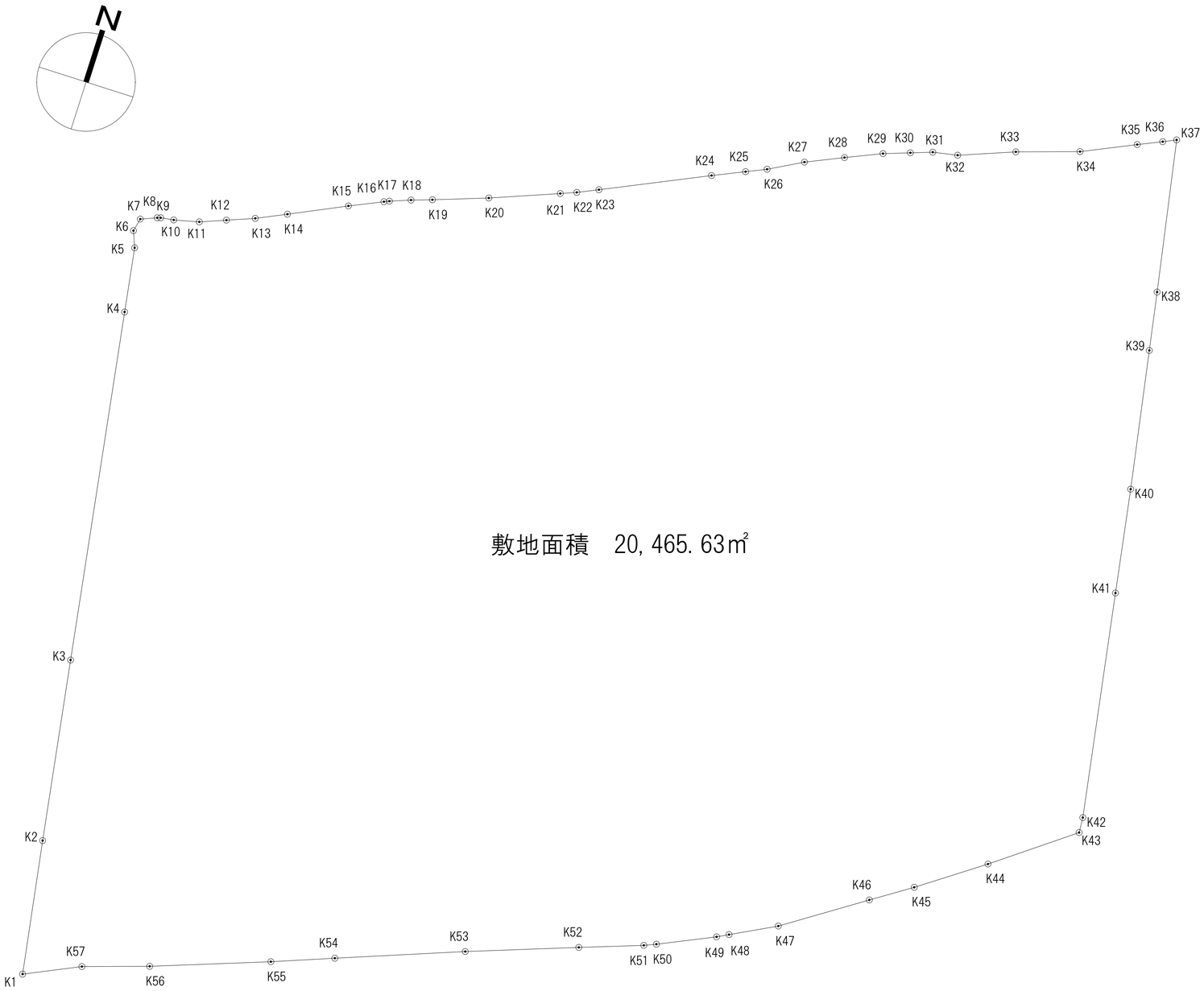
学 ▷：学校関係者出入口

工 ▷；工事関係者出入口

検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06)第02291号 （主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第160162号） （構造設計一級建築士 第1071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図名 現況配置図	縮尺 A1:1／400 A3:1／800	設計日	図番 A－００８



検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A) 第02291号 （主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第169162号） （構造設計一級建築士 第1071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟新築工事 図名 計画配置図	縮尺 A1:1／400 A3:1／800	図番 A－００９
				変計日	



敷地面積　20,465.63㎡

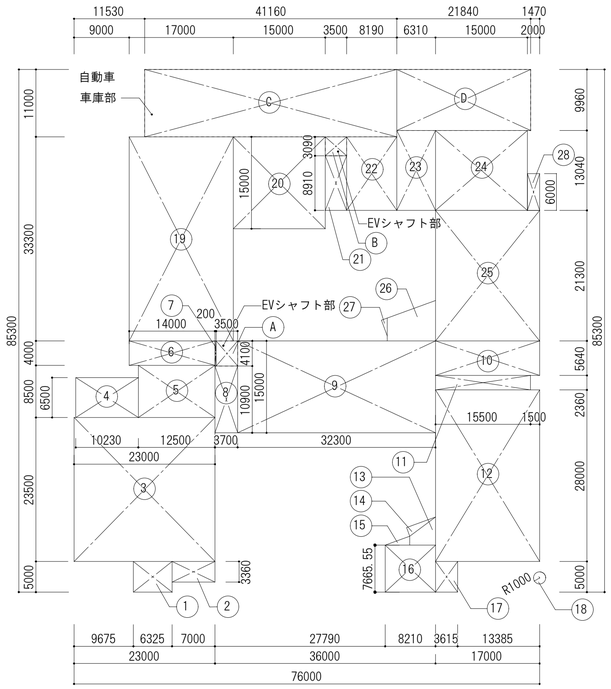
座標求積表

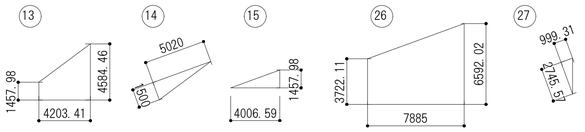
地　番	1			
N0	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn・(Yn+1-Yn-1)
K1	-200285.775	-72488.435	-13.519	2707663.392225
K2	-200264.463	-72493.482	-11.744	2351905.853472
K3	-200235.592	-72500.179	-19.574	3919411.477808
K4	-200179.930	-72513.056	-15.244	3051542.852920
K5	-200169.661	-72515.423	-3.582	717007.725702
K6	-200167.157	-72516.638	-0.885	177147.933945
K7	-200165.002	-72516.308	2.801	-560662.170602
K8	-200163.786	-72513.837	2.992	-598890.047712
K9	-200163.583	-72513.316	2.618	-524028.260294
K10	-200163.111	-72511.219	6.062	-1213388.778882
K11	-200161.864	-72507.254	7.938	-1588884.876432
K12	-200159.964	-72503.281	8.210	-1643313.304440
K13	-200157.960	-72499.044	8.824	-1766193.839040
K14	-200155.390	-72494.457	13.264	-2654861.092960
K15	-200150.468	-72485.780	13.765	-2755071.192020
K16	-200147.690	-72480.692	5.883	-1177468.860270
K17	-200147.268	-72479.897	3.985	-797586.862980
K18	-200145.794	-72476.707	6.388	-1278531.332072
K19	-200144.461	-72473.509	11.580	-2317672.858380
K20	-200140.797	-72465.127	18.870	-3776656.839390
K21	-200135.803	-72454.639	12.911	-2583953.352533
K22	-200134.634	-72452.216	5.584	-1117551.796256
K23	-200132.901	-72449.055	19.252	-3852958.610052
K24	-200123.967	-72432.964	20.984	-4199401.323528
K25	-200121.330	-72428.071	7.981	-1597168.334730
K26	-200119.670	-72424.983	8.282	-1657391.106940
K27	-200116.336	-72419.789	10.938	-2188872.483168
K28	-200113.240	-72414.045	11.317	-2264681.537080
K29	-200110.309	-72408.472	9.639	-1928863.268451
K30	-200108.539	-72404.406	7.408	-1482404.056912
K31	-200107.097	-72401.064	7.263	-1453377.845511
K32	-200106.046	-72397.143	12.474	-2496122.817804
K33	-200102.038	-72388.590	18.207	-3643257.805866
K34	-200098.119	-72378.936	17.834	-3568549.854246
K35	-200093.603	-72370.756	11.844	-2369908.633932
K36	-200091.638	-72367.092	5.649	-1130317.663062
K37	-200090.525	-72365.107	8.233	-1647345.292325
K38	-200114.603	-72358.859	8.591	-1719184.554373
K39	-200123.870	-72356.516	7.917	-1584380.678790
K40	-200145.872	-72350.942	9.557	-1912794.098704
K41	-200162.426	-72346.959	12.625	-2527050.628250
K42	-200198.203	-72338.317	8.997	-1801183.232391
K43	-200200.685	-72337.962	-11.459	2294099.649415
K44	-200210.921	-72349.776	-21.514	4307337.754394
K45	-200218.881	-72359.476	-15.708	3145038.182748
K46	-200223.492	-72365.484	-18.127	3629451.239484
K47	-200232.920	-72377.603	-19.018	3808029.672560
K48	-200237.184	-72384.502	-8.633	1728647.609472
K49	-200238.267	-72386.236	-10.348	2072065.586916
K50	-200243.010	-72394.850	-10.439	2090336.781390
K51	-200243.940	-72396.675	-11.486	2300001.894840
K52	-200248.171	-72406.336	-26.503	5307177.276013
K53	-200255.652	-72423.178	-36.069	7223021.111988
K54	-200264.527	-72442.405	-28.641	5735776.317807
K55	-200268.917	-72451.819	-27.373	5481961.065041
K56	-200276.919	-72469.778	-28.144	5636593.608336
K57	-200281.051	-72479.963	-18.657	3736643.568507
			合　計	40931.264605
			合　計　面　積	20465.6323025
			地　積	20465.63　㎡

検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所　京都府知事登録　(06)第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士　登録第160462号） （構造設計一級建築士　第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士　登録第361974号） （設備設計一級建築士　第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】

工事名	紀北支援学校中校舎棟建築工事		図番
図　名	縮　尺	設計日	Ａ－０１０
敷地求積図・求積表	A1:1／400 A3:1／800		

校舎棟：１階床面積求積図　校舎棟　　※図中の㎜未満の寸法値は切り捨てとする。



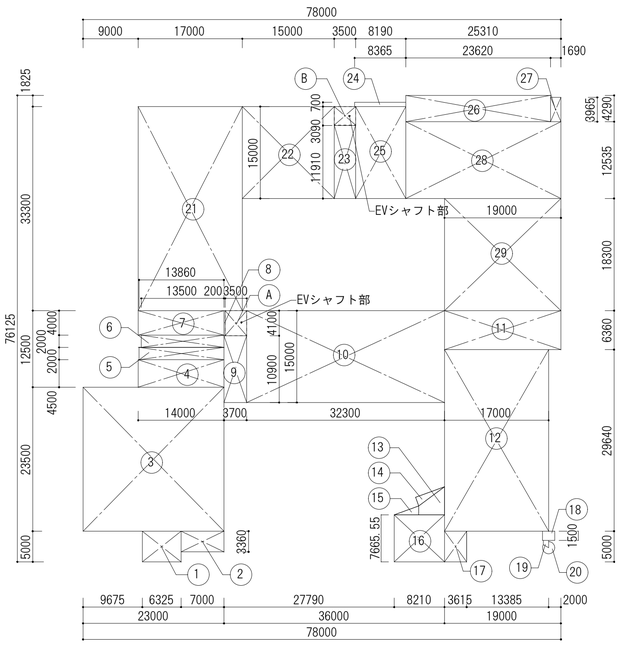


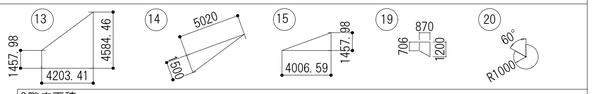
1階床面積

番号	面積 エリア 根拠式	面積	番号	面積 エリア 根拠式	面積
1	6.325 x 5.000	31.625000	19	17.000 x 33.300	566.100000
2	7.000 x 3.360	23.520000	20	15.000 x 15.000	225.000000
3	23.000 x 23.500	540.500000	21	3.500 x 8.910	31.185000
4	10.230 x 6.500	66.495000	22	8.190 x 12.000	98.280000
5	12.500 x 8.500	106.250000	23	6.310 x 13.040	82.282400
6	14.000 x 4.000	56.000000	24	15.000 x 13.040	195.600000
7	0.200 x 4.100	0.820000	25	17.000 x 21.300	362.100000
8	3.700 x 10.900	40.330000	26	(3.722+6.592) x 7.885 x1/2	40.662945
9	32.300 x 15.000	484.500000			
10	17.000 x 5.640	95.880000	27	0.999 x 2.745 x 1/2	1.3711275
11	15.500 x 2.360	36.580000	28	2.000 x 6.000	12.000000
12	17.000 x 28.000	476.000000	B	3.500 x 3.090	10.815000
13	(1.457+4.584) x 4.203 x 1/2	12.6951615		北校舎棟計	1625.39647
				床面積	1625.39 m2
14	5.020 x 1.500 x1/2	3.765000	C	41.160 x 11.000	452.760000
15	4.006 x 1.457 x1/2	2.918371	D	21.840 x 9.960	217.526400
16	8.210 x 7.665	62.929650		バスステーション計	670.286400
17	3.615 x 5.000	18.075000		床面積	670.28 m2
18	1.000 x 1.000x 3.141	3.141000			
A	3.500 x 4.100	14.350000			
中校舎棟計		2076.3741825			
床面積		2076.37 m2			
				合計床面積	4372.04 m2

EVシャフト部(中校舎棟)			EVシャフト部(北校舎棟)		
計算式			計算式		
A	3.500 x 4.100	14.350000	B	3.500 x 3.090	10.815000
容積対象外床面積		14.35 m2	容積対象外床面積		10.81 m2

校舎棟：２階床面積求積図　校舎棟　　※図中の㎜未満の寸法値は切り捨てとする。



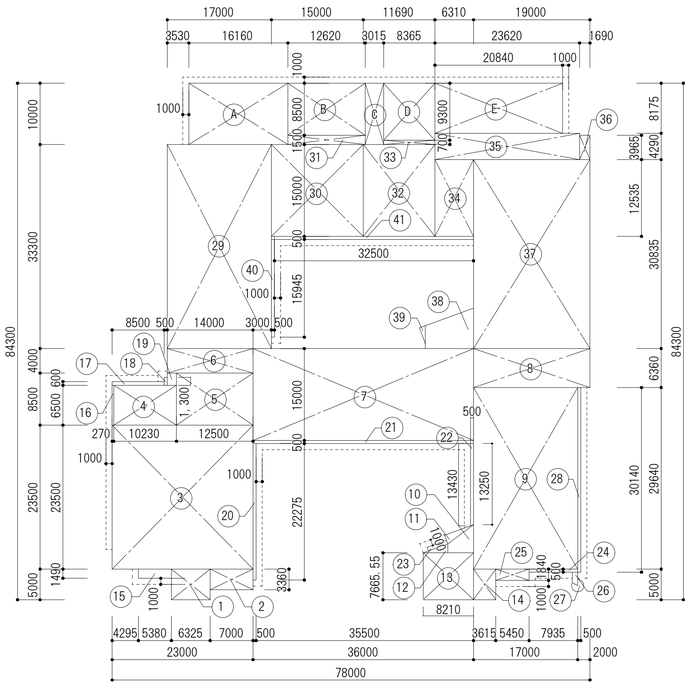


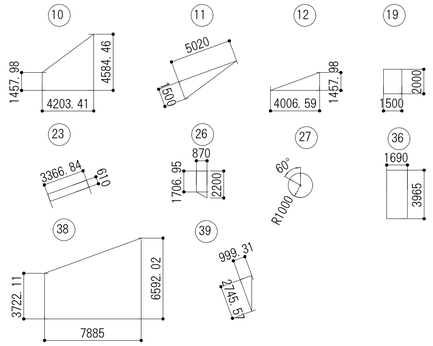
2階床面積

番号	面積 エリア 根拠式	面積	番号	面積 エリア 根拠式	面積
1	6.325 x 5.000	31.625000	21	17.000 x 33.300	566.100000
2	7.000 x 3.360	23.520000	22	15.000 x 15.000	225.000000
3	23.000 x 23.500	540.500000	23	3.500 x 11.910	41.685000
4	14.000 x 4.500	63.000000	24	8.365 x 0.700	5.855500
5	13.860 x 2.000	27.720000	25	8.190 x 15.000	122.850000
6	13.500 x 2.000	27.000000	26	23.620 x 4.290	101.329800
7	14.000 x 4.000	56.000000	27	1.690 x 3.965	6.700850
8	0.200 x 4.100	0.820000	28	25.310 x 12.535	317.260850
9	3.700 x 10.900	40.330000	29	19.000 x 18.300	347.700000
10	32.300 x 15.000	484.500000	B	3.500 x 3.090	10.815000
11	19.000 x 6.360	120.840000		北校舎棟計	1745.297000
12	17.000 x 29.640	503.880000		床面積	1745.29 m2
13	(1.457+4.584) x 4.203 x 1/2	12.6951615			
14	5.020 x 1.500 x 1/2	3.765000			
15	4.006 x 1.457 x 1/2	2.9183710			
16	8.210 x 7.665	62.92965			
17	3.615 x 5.000	18.075000			
18	2.000 x 1.500	3.000000			
19	(0.706+1.200)x0.870x 1/2	0.829110			
20	1.000 X1.000 X3.141 X 5/6	2.617500			
A	3.500 x 4.100	14.350000			
中校舎棟計		2040.914792			
床面積		2040.91 m2			
				合計床面積	3786.20 m2

EVシャフト部(中校舎棟)			EVシャフト部 (北校舎棟)		
計算式			計算式		
A	3.500 x 4.100	14.350000	B	3.500 x 3.090	10.815000
容積対象外床面積		14.35 m2	容積対象外床面積		10.81 m2

校舎棟：建築面積求積図　　※図中の㎜未満の寸法値は切り捨てとする。





建築面積

番号	面積 エリア 根拠式	面積	番号	面積 エリア 根拠式	面積
1	6.325 x 5.000	31.625000	29	17.000 x 33.300	566.100000
2	7.000 x 3.360	23.520000	30	15.000 x 15.000	225.000000
3	23.000 x 23.500	540.500000	31	12.620 x 1.500	18.930000
4	10.230 x 6.500	66.495000	32	11.690 x 15.000	175.350000
5	12.500 x 8.500	106.250000	33	8.365 x 0.700	5.855500
6	14.000 x 4.000	56.000000	34	6.310 x 12.535	79.095850
7	36.000 x 15.000	540.000000	35	23.620 x 4.290	101.329800
8	19.000 x 6.360	120.840000	36	1.690 x 3.965	6.700850
9	17.000 x 29.640	503.880000	37	19.000 x 30.835	585.865000
10	(1.457+4.584) x 4.203 x 1/2	12.6951615	38	(3.722+6.592) x 7.885 x1/2	40.662945
11	5.020 x 1.500 x1/2	3.765000	39	0.999 x 2.745 x 1/2	1.3711275
12	4.006 x 1.457 x1/2	2.918371	40	0.500 x 15.945	7.972500
13	8.210 x 7.665	62.929650	41	33.000 x 0.500	16.500000
14	3.615 x 5.000	18.075000		北校舎棟計	1830.7335725
15	5.380 x 1.490	8.016200		建築面積	1830.73 m2
16	0.270 x 6.500	1.755000	番号	面積 エリア 根拠式	面積
17	8.500 x 0.600	5.100000	A	16.160 x 10.000	161.600000
18	0.500 x 1.300	0.650000	B	12.620 x 8.500	107.270000
19	1.500 x 2.000	3.000000	C	3.015 x 10.000	30.150000
20	0.500 x 22.275	11.137500	D	8.365 x 9.300	77.794500
21	36.000 x 0.500	18.000000	E	20.840 x 8.175	170.367000
22	(13.430+13.250)x0.50 x1/2	6.670000		バスステーション計	547.181500
				建築面積	547.18 m2
23	3.366 x 0.610	2.053260			
24	7.935 x 0.500	3.967500			
25	5.450 x 1.840	10.028000			
26	(1.706+2.200)x0.870x 1/2	1.699110			
27	1.000 X1.000 X3.141 X 5/6	2.617500			
28	0.500 x 30.140	15.070000			
中校舎棟計		2179.2572525			
建築面積		2179.25 m2			
				合計建築面積	4557.16 m2

検印

内藤・フジ設計共同体

京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所 京都府知事登録 (06)第02291号

（主任技術者）
一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）

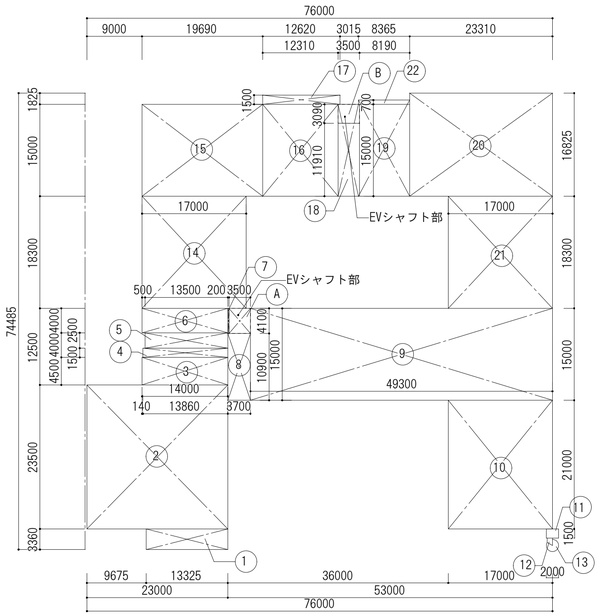
（一級建築士 登録第160462号）
（構造設計一級建築士 第4071号）
藤田 貴司
【構造関係規定に関わる部分が適合する】

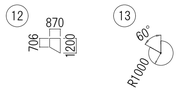
（一級建築士 登録第361974号）
（設備設計一級建築士 第5999号）
山本 篤史
【設備関係規定に関わる部分が適合する】

工事名	図番
紀北支援学校中校舎棟建築工事	A－011

図名	縮尺	設計日
建物求積図・求積表（１）	A1:1／500 A3:1／1000	

校舎棟：3階床面積求積図　校舎棟





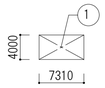
3 階床面積

番号	面積 エリア 根拠式	面積	番号	面積 エリア 根拠式	面積
1	13.325 x 3.360	44.772000	14	17.000 x 18.300	311.100000
2	23.000 x 23.500	540.500000	15	19.690x 15.000	295.350000
3	14.000 x 4.500	63.000000	16	12.310 x 15.000	184.650000
4	13.860 x 1.500	20.790000	17	12.620 x1.500	18.930000
5	13.500 x 2.500	33.750000	18	3.500 x 11.910	41.685000
6	14.000 x4.000	56.000000	19	8.190 x 15.000	122.850000
7	0.200 x 4.100	0.820000	20	23.310 x 16.825	392.190750
8	3.700 x 10.900	40.330000	21	17.000 x 18.300	311.100000
9	49.300 x 15.000	739.500000	22	8.365 x 0.700	5.855500
10	17.000 x 21.000	357.000000	B	3.500 x 3.090	10.815000
11	2.000 x 1.500	3.000000		北校舎棟計	1694.52625
12	(0.706+1.200)x0.870x 1/2	0.829110		床面積	1694.52 m2
13	1.000 X1.000 X3.141 X 5/6	2.617500			
A	3.500 x 4.100	14.350000			
	中校舎棟計	1917.258610			
	床面積	1917.25 m2			
				合計床面積	3611.77 m2

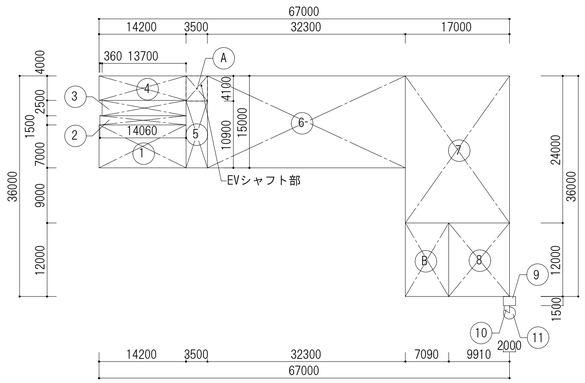
EVシャフト部(中校舎棟)			EVシャフト部(北校舎棟)		
計算式			計算式		
A	3.500 x 4.100	14.350000	B	3.500 x 3.090	10.815000
容積対象外床面積		14.35 m2	容積対象外床面積		10.81 m2

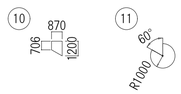
校舎棟：PH階床面積求積図　校舎棟

番号	面積 エリア 根拠式	面積
1	7.310 x 4.000	29.240000
	中校舎棟計	29.240000
	床面積	29.24 m2



校舎棟：4階床面積求積図　校舎棟





4 階床面積

番号	面積 エリア 根拠式	面積
1	14.200x 7.000	99.400000
2	14.060 x 1.500	21.090000
3	13.700 x 2.500	34.250000
4	14.200 x 4.000	56.800000
5	3.500 x 10.900	38.150000
6	32.300 x 15.000	484.500000
7	17.000 x 24.000	408.000000
8	9.910 x 12.000	118.920000
9	2.000 x 1.500	3.000000
10	(0.706+1.200)x0.870x 1/2	0.829110
11	1.000 X1.000 X3.141 X 5/6	2.617500
A	3.500 x 4.100	14.350000
B	7.090 x 12.000	85.080000
	中校舎棟計	1366.986610
	床面積	1366.98 m2

EVシャフト部(中校舎棟)		
計算式		
A	3.500 x 4.100	14.350000
容積対象外床面積		14.35 m2
備蓄倉庫部 (中校舎棟)		
計算式		
B	7.090 x 12.000	85.080000
容積対象外床面積		85.08 m2

床面積表

階 ＼ 棟名		校舎棟 中校舎棟	校舎棟 北校舎棟	ﾊﾞｽｽﾃｰｼｮﾝ	計
各階床面積	PH	29.24 m2	-	-	29.24 m2
	4	1366.98 m2	-	-	1366.98 m2
	3	1917.25 m2	1694.52 m2	-	3611.77 m2
	2	2040.91 m2	1745.29 m2	-	3786.20 m2
	1	2076.37 m2	1625.39 m2	670.28 m2	4372.04 m2
延床面積		7430.75 m2	5065.20 m2	670.28 m2	13166.23 m2
合計					13166.23 m2

建築面積表	校舎棟 中校舎棟	校舎棟 北校舎棟	ﾊﾞｽｽﾃｰｼｮﾝ	計
棟名				
建築面積	2179.25 m2	1830.73 m2	547.18 m2	4557.16 m2
合計				4557.16 m2

検印

内藤・フジ設計共同体

京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所 京都府知事登録 (06)第02291号

（主任技術者）
一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）

（一級建築士 登録第160462号）
（構造設計一級建築士 第4071号）
藤田 貴司
【構造関係規定に関わる部分が適合する】
（一級建築士 登録第36197号）
（設備設計一級建築士 第35999号）
山本 篤史
【設備関係規定に関わる部分が適合する】

工事名　紀北支援学校中校舎棟建築工事

図名　建物求積図・求積表（２）

縮尺　A1:1／500　A3:1／1000

設計日

図番　Ａ－０１２

【 特記事項 】

1. 図中｢金属製材料｣の記載について、材質が付記されていないものは全て鉄鋼製(スチール製)とする。

【一般事項】

地業工事
○防湿層（ポリエチレンフィルム）t=0.15を全面に敷き込む。

鉄筋工事コンクリート工事
○免震ピット、配管ピットの床はコンクリート直均し、壁・柱型及び基礎等はコンクリート打放しのままとし、天井スラブ下はＰＦ板t=25打込みとする。
○特記なき限りコンクリート打放し仕上げ、コンクリート面の柱及び壁の出隅部は幅25mmの面取りを行う。
○機械基礎は建築工事に含み、仕上げはコンクリート直均しの上、塗膜防水とする。
　ただし、内部機械基礎の仕上げは、コンクリート打放しのままとする。
○防水押え等の雑コンクリート（無筋コンクリート）には、溶接金網（6φ-@100クロス）を打ち込む。

防水及びシーリング工事
○外壁を貫通する管はツバ付貫通とし、外側の周囲はシール材（MS-2を充填する。
○地中部に設ける打継部及び外周面の打継部には、非加硫ブチルゴム系止水板（W=200）を打込む。
○外壁に取付ける金物の雨掛かり部周囲は、シーリング材を充填する。

金属工事
○特記なき限り間仕切壁下地は鋼製下地材及び壁張材（２重張）をスラブ下端、または梁下端まで立上げる。

塗装工事
○特記なき限り外部鉄部は溶融亜鉛メッキとする。内部鉄部はＳＯＰとする。
○階段室内の塗装は、不燃材認定品を使用する。

内装工事
○耐火間仕切壁はスラブ下端までとする。隙間を生じる部分には基準に応じ充分にロックウールを充填する。
○防火扉、防火防煙シャッターの上部天井内は適切な壁にてスラブ下迄区画すること。
○コンクリート下端にロックウール吹付を行う場合には、梁型は｢コンクリート型枠はずしのまま｣とし、木こて押え（エンボス）仕上とする。
○ボード壁とＲＣまたはＣＢ壁との取り合いは、継ぎ目処理の場合は塩ビ製見切縁とし、突き付けの場合は目透かしの上、テープ又は塗装仕上げとする。
○ビニル床シート、ビニル床タイル張りに使用する接着剤は、土間コンクリート、地下室、ＳＫ室、湯沸、ＷＣその他湿気の多いところに使用する場合、エポキシ樹脂系とする。（耐水工法）
○軽鉄間仕切ボード面に陶器質タイル張りを行う場合、接着張りとし、下張りＦＫt=8（突付け）とする。また耐火間仕切壁の場合は、耐火認定工法の上にＦＫt=8（突付け）とする。
○壁紙、化粧シート等の下地が石こうボード又はけい酸カルシウム板の場合は、ジョイント部分は寒冷紗及びパテ等でシゴキ、段差の生じないように入念に処理する。
○特記なき限りＦＫ(１)は壁はt=8とする。天井はt=6(外部はt=8)とし底目地テープ連続の目透かし張りとする。
○特記なき限りＦＫ(２)の目地処理は、壁・天井共シール工法とする。
○特記なき限り機械室廻り等のグラスウールガラスクロス巻きは、柱型・梁型にも施すこと。
○特記なき限り床はセルフレベリング下地を基本とする。

【 内部下地材料表 】

区分	適用	記号	仕様
床	・	F1	コンクリート直均し仕上
	⊙	F2	コンクリート増打ち t=15 +セルフレベリング材
	⊙	F3	コンクリート＋セルフレベリング材
	⊙	F4	フリーアクセスフロア、OAフロア
	・	F5	床パネル
	⊙	F6	コンクリート＋アスファルト防水(A防水)＋嵩上コンクリート
	・	F7	コンクリート＋塗膜防水(T防水)＋嵩上コンクリート
	⊙	F8	モルタル
	・	F9	コンクリート＋嵩上コンクリート
	⊙	F10	フリーフロア(プラスチック束)+パーティクルボード t=20
	・	F11	フリーフロア+GB-D t=12.5
天井	⊙	C1	LGS
	⊙	C2	LGS＋GB-R t=12.5（不燃）
	・	C3	LGS＋GB-NC t=9.5（不燃）
	・	C4	LGS＋GB-R t=9.5（準不燃）
	・	C5	素地のまま
	⊙	C6	LGS＋FK(1) t=6
壁	・	L※	LGS（別紙壁種別）
	・	LT※	LGS 耐火構造壁（別紙壁種別）

【 不燃,準不燃材料 認定番号 】

区分	適用	認定番号	名称
不燃	⊙	NM-8619	石膏ボード t=12.5、t=15
	⊙	NM-8613	不燃積層石膏ボードt=9.5 (化粧有りは天井用)
	⊙	NM-8614	化粧石膏ボード t=12.5及び木目柄
	⊙	NM-8615	強化せっこうボード t=12.5,15,21(耐火構造用)
	⊙	NM-9639	シージング石膏ボード t=12.5(耐水ボード)
	・	NM-0530	押入用化粧石膏ボード t=12.5
	・	NM-9645	普通硬質石膏ボード t=9.5,12.5
	⊙	NM-8578	けい酸カルシウム板 t=5以上
	⊙	NM-8579	化粧けい酸カルシウム板 t=5以上
	⊙	NM-8599	ロックウール化粧吸音板 t=9,12,15(リブ付)
	・	NM-8601	ロックウール吹付
	⊙	NM-8605	グラスウール
	・	NM-8606	グラスウール ガラスクロス張り
	・	NM-0892	バスパネル(耐蝕アルミ+不燃断熱材) t=9.5
準不燃	・	QM-9828	石膏ボード t=9.5
	・	QM-9824	化粧石膏ボード t=9.5
	・	QM-9826	シージング石膏ボード t=9.5(耐水ボード)
	・	QM-9701	木毛セメント板 t=25
	・	QM-9706	硬質木片セメント板
	・	QM-9817	ロックウール化粧吸音板 t=9,12,15(リブ付)
壁装材料	⊙	QM-9402	ビニル壁紙：防火認定品
	・	NM-9914	無機質壁紙：防火認定品
	⊙	NM-0095	化粧シート：防火認定品
基材同等	⊙	NM-8585	塗料塗装／不燃下地
	⊙	NM-8571	無機質砂壁状吹付材塗り／不燃材料
	・	NM-8572	有機質砂壁状塗料塗り／不燃材料
	・	NM-8573	複合型化粧用仕上材塗り／不燃材料

【 凡例,記号説明 】

区分	記号	記号説明
凡例、基材等	BM	ベンチマーク
	KBM	仮ベンチマーク
	GL	基準地盤面（設計GL）
	HGL	平均地盤面
	FL	基準床面
	SL	床スラブ面(コンクリート躯体面)
	W、w	幅
	L、ℓ	長さ
	H、h、CH	H:高さ h:建具の腰高さ CH:天井高さ
	d、Φ、D、R	直径
	r	半径
	℄	センターライン
	S=1/000	縮尺
	@	間隔
	t=	厚さ
	HL	ヘアライン仕上（#120）
	VB	バイブレーション仕上
	A防水	アスファルト防水
	S防水	合成高分子系ルーフィングシート防水
	T防水	塗膜防水
	PS	パイプスペース（特記なき限りスラブ付）
	EPS	電気配管スペース（特記なき限りスラブ付）
	DS	ダクトスペース
	EV	エレベーター
	DW、LIFT	小荷物専用昇降機
	UB(＊＊＊＊)	ユニットバス：( )内は規格寸法を示す。
	US(＊＊＊＊)	ユニットシャワー：( )内は規格寸法を示す。
	UST(＊＊＊＊)	トイレシャワーユニット：( )内は規格寸法を示す。
	PT	可動間仕切（パーティション）
	SLW	移動間仕切（スライディングウォール）
	CBX、BBX	CBX:カーテンボックス、BBX:ブラインドボックス
構造、下地等	SRC	鉄骨鉄筋コンクリート
	RC	鉄筋コンクリート
	C、Con	コンクリート
	S	鉄骨
	LGS	軽量鉄骨（軽量鉄骨壁下地、軽量鉄骨天井下地）
	CB	コンクリートブロック
	ALC	軽量気泡コンクリートパネル(ALCパネル)
	ECP	押出成形セメント板(ECPパネル)
	PC	プレキャストコンクリート
	W	木製、木造
	M、Mo	モルタル
	SLV	セルフレベリング材
	GL工法	直張り工法
	ST	スチール(鉄鋼)
	AL	アルミニウム
	SUS	ステンレス
	PL、PL-	プレート(鋼板)
	FB-	フラットバー(平鋼)

【 材料記号 】

区分	適用	記号	名称	備考
共通		共通		
	・	RC直	コンクリート直均し（金コテ押え）	
	・	RC(A)	コンクリート打放し A種	塗装仕上に適用
	・	RC(B)	コンクリート打放し B種	仕上塗材に適用
	・	RC(C)	コンクリート打放し C種	打放しのまま
	・	RC化	コンクリート化粧打放し	化粧打放し
内装材料		床		
	・	VB(1)	ビニル巾木 H=60	
	⊙	VB(2)	ビニル巾木 H=75	
	・	VB(3)	ビニル巾木 H=100	
	・	VB(4)	ビニル巾木 H=300	
	⊙	WB	木製巾木	特記なき限り紀州材UC塗
	⊙	VS(1)	FS：ビニル床シート t=2.0 ノンワックス	**サンゲツ:エスリュームマーブル同等品**
	・	VS(2)	FS：ビニル床シート t=2.0 ノンワックス	サンゲツ:エスリュームミスト同等品
	・	VS(3)	FS：ビニル床シート t=2.0 ノンワックス	サンゲツ:ストロング同等品
	⊙	FVS(1)	FS：耐薬品性ビニル床シート t=2.0	サンゲツ:エスリュームラボ同等品
	・	FVS(2)	FS：耐動荷重性ビニル床シート t=2.0	サンゲツ:エスリュームラボ同等品
	・	FVS(3)	FS：帯電防止性ビニル床シート t=2.0	サンゲツ:エスリュームプラス同等品
	⊙	FVS(4)	FS：防滑性ビニル床シート t=2.5	サンゲツ:プレーンエンボス同等品
	・	FVS(5)	HS：発泡複層ビニル床シート t=2.0	サンゲツ:ナーシングフロアＶ同等品
	⊙	FVS(6)	HS：発泡複層ビニル床シート t=2.8	サンゲツ:SKフロア同等品
	⊙	FVS(7)	FS：防臭性ビニル床シート t=2.0	サンゲツ:消臭エスリューム同等品
	⊙	FVS(8)	屋内用長尺弾性塩ビシート t=6.2+3.0	**クリヤマ：タラフレックスマルチユーズ同等品**
	⊙	FVS(9)	FS：厨房用 防滑性ビニル床シート t=2.0	サンゲツ:ニューセーフティ同等品
	⊙	FVS(10)	HS：浴室用 防滑性ビニル床シート t=2.8	サンゲツ:オフロア同等品
	・	KS	クッションフロア t=2.3	サンゲツ:CMシリーズ同等品
	⊙	VT(1)	KT：コンポジションビニル床タイル t=2.0	サンゲツ:コンポジション同等品
	・	VT(2)	FT：複層ビニル床タイル t=2.5	**サンゲツ:フロアタイルシリーズ同等品**
	・	FVT(1)	FOA：床置きビニル床タイル t=4.0 (帯電防止)	サンゲツ:OTタイル同等品
	・	FVT(2)	**FOA：床置きビニル床タイル t=5.0（帯電防止,耐薬品）**	
	・	FVT(3)	FOB：薄型床置きビニル床タイル	
	⊙	US	アンダーレイシート t=4.5	
	・	GT	ゴム床タイル	**ニチマンラバーテック:アストロフェース同等品**
	⊙	フローリング	圧密厚貼フローリングt=18(接着工法 直貼用)	紀州産杉60%圧縮単板3㎜＋
			セラミックスＵＶ塗装品	**紀州産桧合板12㎜＋クッション材3㎜**
				天龍プレパーク:プレスウッド60
	⊙	TCP(1)	タイルカーペット（t=6.5 500x500 ループパイル）	サンゲツ:NT700同等品
	・	TCP(2)	タイルカーペット（t=9.0 500x500 カットパイル）	サンゲツ:NT200同等品
	・	CP	カーペット	
	・	塗床U	弾性ウレタン系合成樹脂塗床（コーティング工法）	**住友ゴム工業:グリップコートU-10同等品**
	・	塗床E(1)	厚塗型エポキシ系合成樹脂塗床（流しのべ工法）	**住友ゴム工業:グリップコートG-30同等品**
	・	塗床E(2)	**薄塗型エポキシ系合成樹脂塗床（コーティング工法）**	**住友ゴム工業:グリップコートG-10同等品**
	・	FLP(1)	**防塵用塗料塗り（薄膜型水性アクリル樹脂系、床用）**	ABC商会:カラートップA同等品
	・	FLP(2)	**防塵用塗料塗り（水性型アクリル樹脂系、OAフロア用）**	ABC商会:OAクリアコート同等品
		壁,天井		
	・	CL(1)	無機質壁紙（不燃）	
	⊙	CL(2)	ビニル壁紙（準不燃以上）	
	⊙	CL(3)	化粧シート（不燃）	
	・	CL(4)	織物製壁紙（準不燃以上）	
	・	PW(1)	普通合板（ ラワン ）	
	⊙	PW(2)	普通合板（ シナ ）	
	⊙	PW(3)	普通有孔合板（シナ）	
	⊙	GB-R	石膏ボード	
	・	GB-R-H	普通硬質石膏ボード	
	・	GB-P	吸音用孔あき石膏ボード	
	・	GB-S	シージング石膏ボード	
	⊙	GB-F	強化石膏ボード	
	・	GB-NC	不燃積層石膏ボード（模様なし）	
	・	GB-NC(T)	不燃積層石膏ボード（トラバーチン模様）	吉野石膏:ジプトーンライト
	・	GB-NC(M)	不燃積層石膏ボード（天然トラバーチン模様）	吉野石膏:マーブルトーンライト
	⊙	GB-D	化粧石膏ボード（準不燃）t=9.5	
	・	GB-D(W)	化粧石膏ボード（杉柾模様）	
	⊙	GB-D(K)	吸音用化粧石膏ボード（不燃）t=9.5	吉野石膏:スクエアトーンD
	・	GB-L	石膏ラスボード	
	・	押入用GB-D	押入用化粧石膏ボード（木目）	**吉野石膏:ハイクリンスカット押入ボード**
	・	AB	フレキシブルボード t=6.0	
	⊙	FK(1)	けい酸カルシウム板	
	⊙	FK(2)	化粧けい酸カルシウム板 t=6.0	A&Aマテリアルズ:ステンド＃500
	・	FK-P	吸音孔あきけい酸カルシウム板	
	・	PF板	押出法ポリスチレンフォーム保温板	
	・	Pbボード	石膏ボード t=12.5の上に鉛板を貼り付けた製品	**石こうボードの種別,鉛板の厚さは図示**
	⊙	DR(1)	ロックウール化粧吸音板（普通） t=12.0	吉野石膏:ソーラトン
	・	DR(2)	ロックウール化粧吸音板（立体模様）	吉野石膏:ソーラトンキューブ15
	・	HW	硬質木毛セメント板	
	・	NW	普通木毛セメント板	
	・	PVC	化粧塩ビシート	サンゲツ：腰壁シート
	・	MP(1)	メラミン化粧合板	
	・	MP(2)	メラミン不燃化粧合板	
	・	MP(3)	耐摩耗不燃化粧板	
	・	RW	ロックウール	
	・	GW	グラスウール ガラスクロス張（ピン止め）	32Ｋ(kg/㎥)
	⊙		軽量天井	**ﾊﾟﾅｿﾆｯｸﾊｳｼﾞﾝｸﾞｿﾘｭｰｼｮﾝ㈱:エアリライト**

区分	適用	記号	名称	備考
断熱	⊙	DW(1)	外壁廻り内壁,スラブ裏 PF板打込断熱材 **（建具廻り等の断熱材補修:現場発泡ウレタン吹付）**	RC面
	⊙	DW(2)	**外壁廻り内壁,スラブ裏 現場発泡ウレタンフォーム吹付（建具廻り等の断熱材補修:現場発泡ウレタン吹付）**	RC,ALC,ECP面
外部仕上記号	⊙	Y1,Y2,･･･	屋根	
	⊙	OW1,OW2,･･･	外壁	
	⊙	GC1,GC2,･･･	天井、軒裏	
	⊙	H1,H2,･･･	庇	
	⊙	Z1,Z2,･･･	金属類、その他	
	⊙	OF1,OF2,･･･	外部床	
管類 樋	⊙	VP	硬質塩化ビニル管	**樋については、特記なき限りカラー品**
	⊙	HP	遠心力鉄筋コンクリート管	
	・	SGP-,GP-	配管用鋼管(スチール)	
	⊙	RD-T	縦引き用ルーフドレイン	
	⊙	RD-Y	横引き用ルーフドレイン	
	⊙	RD-J	中継用ルーフドレイン	
	⊙	TD	竪樋（特記なき限りカラーVP100Φとする）	
	・			
その他	⊙		ハイブリットカラーコーティング仕上	**OSHIROXハイブリッドカラーコーティング工法**
	⊙		ポリマーセメント系防水	**大関化学工業 パラテックスB-2同等品**

区分	適用	記号	名称	適用	記号	名称
塗料	・	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	・	FE	フタル酸樹脂エナメル塗り
	・	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	⊙	DP	耐候性塗料塗り
	・	EP-T	合成樹脂エマルションペイント模様塗料塗り	・	B-AE	アクリル樹脂焼付塗装
				⊙	B-UE	ウレタン樹脂焼付塗装
	⊙	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	・	B-FUE	フッ素樹脂焼付塗装
				・	CL	クリヤーラッカー塗り
	・	EP-M	多彩模様塗料塗り	・	AC	アクリル樹脂ワニス塗り（アクリル樹脂クリヤー塗り）
	・	EP-Si	**特殊シリコン樹脂エマルションペイント塗り**	⊙	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
	・	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	・	OS	油性ステイン塗り
				⊙	WP	木材保護塗料塗り
	・	AE	アクリル樹脂エナメル塗り			

【 水槽の内部仕上 】

日本下水道事業団仕様による種別	防食仕様 D１種				防食仕様 C種				防食仕様 B種		防水仕様			断熱防水仕様
材料名	ビニルエステル樹脂ガラスマット 2プライ	特殊水性ポリエチレン系 塗布4回以上	ポリウレア樹脂 塗布1回以上	エポキシ樹脂ガラスクロス 2プライ	ビニルエステル樹脂 塗布2回以上	特殊水性ポリエチレン系 塗布3回以上	ポリウレア樹脂 塗布1回以上	エポキシ樹脂ガラスクロス 1プライ	特殊水性ポリエチレン系 塗布2回以上	エポキシ樹脂 塗布3回以上	床・壁 天井 ポリマーセメント系塗膜防水	床・壁 天井 ケイ酸質系塗膜防水	コンクリート打放し	（専門工事業者による蓄熱断熱防水）
硬化後厚さ (mm)	t>2.0	t>1.3	t>3.0	t>1.3	t>1.0	t>1.1	t>2.0	t>0.7	t>0.9	t>0.35				
厨房排水槽	※													
汚水槽	※	・	・	・	・	・	・	・						
雑排水槽	※	・		・	・	・		・		・				
中水槽	・	・	・	・	・	・	・	・		※		・	・	
工業用排水槽									・	・		・	・	
消火水槽											※	・	・	
雨水貯留槽										※	・	・	・	
自家発冷却水槽											※	・	・	
補給水槽											※	・	・	
エレベーターピット												※		
駐車場排水槽												※		
湧水槽													※	
蓄熱槽														・

日本下水道事業団の腐食環境条件による分類
D1種 年間平均硫化水素（H2S）ガス濃度が 50ppm以上で、硫酸によるコンクリート腐食が極度に見られる腐食環境
C種 年間平均硫化水素（H2S）ガス濃度が 10～50ppm以上で、硫酸によるコンクリート腐食が極度に見られる腐食環境
B種 年間平均硫化水素（H2S）ガス濃度が 10ppm以上で、硫酸によるコンクリート腐食が極度に見られる腐食環境

検 印

内藤・フジ設計共同体
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士 神先 誠司（登録第252129号）
一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号
（主任技術者）
一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）
（一級建築士 登録第160462号）
（構造設計一級建築士 第4071号）
藤田 貴司
【構造関係規定に関わる部分が適合する】
（一級建築士 登録第361974号）
（設備設計一級建築士 第5999号）
山本 篤史
【設備関係規定に関わる部分が適合する】

工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事
図名 仕上凡例表
縮尺 A1:- A3:-
設計日
図番 A－０１３

【外部仕上表】中校舎

棟名	部位	部分	記…	仕様
校舎棟	屋根1～5、7	平場	Y1	コンクリート直均しの上、(軽歩行用)シート防水 t1.5(SI－M2) PF板 t25
		パラペット		コンクリートコテ押えの上、塗膜防水(X－2)
	屋根6	平場	Y2	コンクリート直押えの上、アスファルト防水 DW(1) t25 保護コンクリートt=80水勾配付き、伸縮目地@3,000程度、溶接金網6.0φ×100×100
		立上部		防水立上り:乾式保護板t15
		パラペット		コンクリートコテ押えの上、塗膜防水(X－2)
	庇	天端	H1	コンクリートコテ押えの上、塗膜防水(X－2)
		軒先		コンクリート打放し(B種)防水形複層塗材E
		軒裏		コンクリート打放し(B種)可とう形外装薄塗材E吹付(砂壁状)
	バルコニー	床	Y3	コンクリート直均しの上、塗膜防水(X－2)防滑仕様
		手摺	Z1	(北・西面)スチールFB 亜鉛メッキ リン酸処理
			Z2	(東面・中庭廻り)FL+1,100:コンクリート打放し(B種)防水形複層塗材E、FL+2,200:スチールFB 亜鉛メッキ リン酸処理
		袖壁	Z3	(一般部)コンクリート打放し(B種)防水形複層塗材E
			Z4	(北面・中庭廊下部)杉板t15上小節(紀州材)下見板張り WP塗
		天井	GC1	(一般部)コンクリート打放し(B種)可とう形外装薄塗材E吹付(砂壁状)
			GC2	(北面・中庭廊下部)桧板t12上小節(紀州材)羽目板縦 WP塗
	外壁1		GW1	コンクリート打放し(B種)防水形複層塗材E
			GW2	押出成形セメント板 t=60 W900 親水性ふっ素樹脂工場塗装
	DS、EPS立上り(ハト…	屋根	Y2	コンクリートコテ押えの上、塗膜防水(X－2)
		壁	GW1	コンクリート打放し(B種)防水形複層塗材E
	外装ルーバー	目隠しルーバー	Z5	アルミ押出型材 B－UE
		デザインルーバー		アルミ押出型材 B－UE 一部進入口兼用

棟名	部位	部分	記号	仕様
校舎棟	竪樋		TD1	カラーVP管(100φ) SUS製掴み金物@1,200
				(東面)養生管SGP125 DP塗 H=1,500
			TD2	SUS製丸樋 HL仕上げ(100φ) SUS製掴み金物@1,200
				SUS製排水管カバー・シーリングプレート HL仕上げ
	犬走り	床		コンクリート金コテ押え 目地切り@3000程度
	足洗い・手洗い	洗い場、壁		モルタル下地の上、50角磁器質タイル貼
	屋外階段	踏面・蹴上		コンクリートスラブの上、防水モルタルコテ押え
		段鼻		磁器質段鼻タイル
		段裏		コンクリート打放し(B種)可とう形外装薄塗材E
		その他		手すり、側溝
	避難すべり台		Z14	スチール製フッ素樹脂塗装仕上げ すべり台部ステンレス
				ルーバー:アルミ押出型材 B－UE
	テラス	床		モルタル下地の上、磁器質タイル300角
	調理室横、保険室横	床		コンクリート金コテ押え 目地切り@3000程度

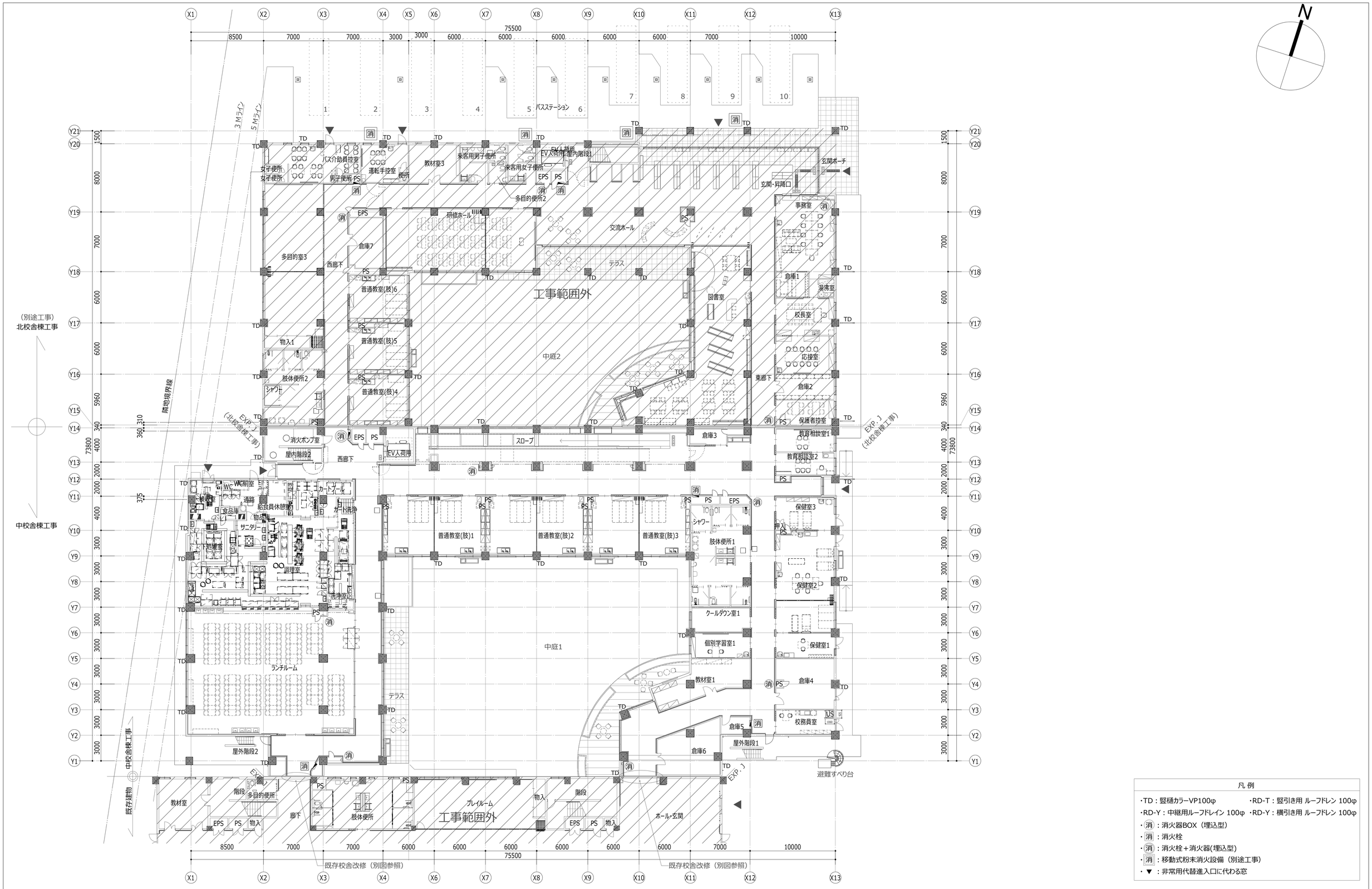
【内部仕上表】

室名	FL	SL	CH	外壁断熱	床下断熱	床 下地	床 仕上	巾木	腰壁・壁・柱型 下地	腰壁・壁・柱型 仕上	天井・梁 下地	天井・梁 仕上	廻縁	不燃準不燃	排煙規定	濃度測定	CBX/BBX	CB材料/仕上	備考
1階																			
教育相談室1			2700	●	●	F2	VS(1)	WB H=75	L※	羽目板(H860)+CL(2)	C2	DR(1)	塩ビ				CBX	木製/UC	
教育相談室2			2700	●	●	F2	VS(1)	WB H=75	L※	羽目板(H860)+CL(2)	C2	DR(1)	塩ビ				CBX	木製/UC	ミニキッチン (参考品番:LIXIL DMK09PEWB1NN)
校務員室			2700	●	●	F2	VT(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ				CBX	木製/SOP	ＵＳ<フラット床仕様>(参考品番:TOTO ｼｬﾜｰﾙｰﾑ JSV0808)
保健室1			2700	●	●	F2	US+FVS(6)	WB H=75	L※	羽目板(H860)+EP-G	C2	CL(2)	塩ビ				CBX	木製/UC	
保健室3			2700	●	●	F2	US+FVS(6)	WB H=75	L※	羽目板(H860)+EP-G	C2	CL(2)	塩ビ				CBX	木製/UC	
保健室2			2700	●	●	F2	US+FVS(6)	WB H=75	L※	羽目板(H860)+EP-G	C2	CL(2)	塩ビ				CBX	木製/UC	
押入			2500		●	F2	VS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C2	CL(2)	塩ビ						
個別学習室1			2700	●	●	F3	フローリング	WB H=75	L※	羽目板(H860)+EP-G	C1	GB-D(K)	塩ビ			●	CBX	木製/UC	
クールダウン室1			2700	●	●	F2	TCP(1)	VB(2)	L※	ｸｯｼｮﾝ壁 H=1800マデ CL(2) H=1800以上	C1	GB-D(K)	塩ビ				CBX	木製/UC	
ランチルーム			2700 2900	●	●	F2	US+FVS(6)	WB H=75	L※	羽目板(H860)+EP-G	C2	DR(1)	塩ビ				CBX	木製/UC	
調理室		-300	2500	●	●	F6	FVS(9)	床材立上 H=100	L※	SUS BA仕上げ1.0貼り H=1,000 FK(2)	C2	FK(2)	塩ビ	●					排水溝(SUSグレーチング)
下処理室		-300	2500	●	●	F6	FVS(9)	床材立上 H=100	L※	SUS BA仕上げ1.0貼り H=1,000 FK(2)	C2	FK(2)	塩ビ	●					排水溝(SUSグレーチング)
食品庫		-300	2500		●	F6	FVS(9)	床材立上 H=100	L※	CL(1)	C2	DR(1)	塩ビ	●					排水溝(SUSグレーチング)
検収室		-300	2500	●	●	F6	FVS(9)	床材立上 H=100	L※	SUS BA仕上げ1.0貼り H=1,000 FK(2)	C2	FK(2)	塩ビ	●					排水溝(SUSグレーチング)
洗浄室		-300	2500		●	F6	FVS(9)	床材立上 H=100	L※	SUS BA仕上げ1.0貼り H=1,000 FK(2)	C2	FK(2)	塩ビ	●					排水溝(SUSグレーチング) ステンレスカウンター W4000×D300
カート洗浄		-300	2500		●	F6	FVS(9)	床材立上 H=100	L※	SUS BA仕上げ1.0貼り H=1,000 FK(2)	C2	FK(2)	塩ビ	●					排水溝(SUSグレーチング)
カートプール		-300	2500		●	F6	FVS(9)	床材立上 H=100	L※	SUS BA仕上げ1.0貼り H=1,000 FK(2)	C2	FK(2)	塩ビ	●					排水溝(SUSグレーチング)
アレルギー・再調理室		-300	2500		●	F6	FVS(9)	床材立上 H=100	L※	SUS BA仕上げ1.0貼り H=1,000 FK(2)	C2	FK(2)	塩ビ	●					排水溝(SUSグレーチング)
サニタリー			2500		●	F2	VS(1)	床材立上 H=100	L※	CL(1)	C2	DR(1)	塩ビ	●					
物品庫			2500		●	F2	VS(1)	VB(2)	L※	CL(1)	C2	DR(1)	塩ビ	●					
通路			2500	●	●	F2	VS(1)	床材立上 H=100	L※	CL(1)	C2	DR(1)	塩ビ	●					床見切り(SUS製)
給食員休憩室	+100		2500	●	●	F10	VS(1) タタミ敷	VB(2)	L※	CL(1)	C1	GB-D	塩ビ	●					上がり框(木製)
WC前室			2500	●	●	F2	VS(1)	VB(2)	L※	CL(1)	C2	DR(1)	塩ビ	●					
WC			2500	●	●	F2	FVS(7)	床材立上 H=100	L※	CL(1)	C2	DR(1)	塩ビ	●					
普通教室(肢)1~3			2700	●	●	F3	フローリング VS(1)	WB H=75	L※	羽目板(H860)+EP-G	C1	GB-D(K)	塩ビ			●	CBX	木製/UC	
肢体便所1			2500	●	●	F2	FVS(7)	床材立上 H=100	L※	FK(2)	C6	EP-G	塩ビ						補助手すり
シャワー(肢体便所)			2500		●	F6	FVS(10)	床材立上	L※	陶器質タイル張 100	C1	バスパネル	アルミ						
消火ポンプ室			2500		●	F2	VS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	EP-G	塩ビ						
教材室1			2500	●	●	F2	VS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ						
2階																			
資料室			2500			F2	VS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ						
教材制作室		-100	2700	●		F4	TCP(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ				CBX	木製/UC	
自立活動室(言語)			2700	●		F3	フローリング	WB H=75	L※	羽目板(H860)+EP-G	C1	GB-D(K)	塩ビ				CBX	木製/UC	
自立活動室(運動)			2700	●		F3	フローリング	WB H=75	L※	ｸｯｼｮﾝ壁 H=1800マデ CL(2) H=1800以上	C1	GB-D(K)	塩ビ				CBX	木製/UC	
自立活動室(感覚)			2700	●		F2	US+FVS(6)	WB H=75	L※	ｸｯｼｮﾝ壁 H=1800マデ CL(2) H=1800以上	C1	GB-D(K)	塩ビ				CBX	木製/UC	吊りパイプ
自立活動準備室1,2			2700	●		F2	VS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ				CBX	木製/UC	
個別学習室2,3			2700	●		F3	フローリング	WB H=75	L※	羽目板(H860)+EP-G	C1	GB-D(K)	塩ビ				CBX	木製/UC	
調理実習室			2700	●		F3	US+FVS(6)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D(K)	塩ビ			●	CBX	木製/UC	
調理実習準備室			2700	●		F2	VS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ				CBX	木製/UC	

室名	FL	SL	CH	外壁断熱	床下断熱	床 下地	床 仕上	巾木	腰壁・壁・柱型 下地	腰壁・壁・柱型 仕上	天井・梁 下地	天井・梁 仕上	廻縁	不燃準不燃	排煙規定	濃度測定	CBX/BBX	CB材料/仕上	備考
クールダウン室2,3			2700	●		F2	TCP(1)	VB(2)	L※	ｸｯｼｮﾝ壁 H=1800マデ CL(2) H=1800以上	C1	GB-D(K)	塩ビ				CBX	木製/UC	
普通教室(知)1~10			2700	●		F3	フローリング VS(1)	WB H=75	L※	羽目板(H860)+EP-G	C1	GB-D(K)	塩ビ				CBX	木製/UC	
3階																			
個別学習室4			2700	●		F3	フローリング	WB H=75	L※	羽目板(H860)+EP-G	C1	GB-D(K)	塩ビ				CBX	木製/UC	
クールダウン室4,5			2700	●		F2	TCP(1)	VB(2)	L※	ｸｯｼｮﾝ壁+CL(2)	C1	GB-D(K)	塩ビ				CBX	木製/UC	
講堂			3760 3800	●		F2	FVS(8)	WB H=75	L※	PW(2)の上 UC 1800マデ PW(3)の上UC 1800以上	C1	軽量天井 t=4.0	塩ビ			●	CBX	木製/UC	スクリーンボックス
普通教室(知) 19~28,37~42			2700	●		F3	フローリング VS(1)	WB H=75	L※	羽目板(H860)+EP-G	C1	GB-D(K)	塩ビ				CBX	木製/UC	
シャワー・脱衣			2500			F2	VS(1)	床材立上 H=100	L※	CL(2)	C6	EP-G	塩ビ						ユニットシャワー1216
教材室2			2500	●		F2	VS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ						
4階																			
音楽室1,2			2700	●		F2	US+FVS(6)	WB H=75	L※	PW(3)の上 UC	C2	DR(1)	塩ビ				CBX	木製/UC	
音楽準備室			2700	●		F2	VS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ				CBX	木製/UC	
理科室			2700	●		F2	US+FVS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D(K)	塩ビ			●	CBX	木製/UC	
理科準備室			2700	●		F2	US+FVS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ				CBX	木製/UC	
被服室			2700	●		F2	US+FVS(6)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D(K)	塩ビ				CBX	木製/UC	
洗濯室			2500	●		F2	VS(1)	VB(2)	L※	FK(2)	C6	EP-G	塩ビ				CBX	木製/SOP	
宿泊学習室1,2			2500	●		F3 F2	フローリング VS(1)	WB H=75	L※	CL(2)	C2	CL(2)	塩ビ				CBX	木製/UC	UB
便所(宿泊学習)			2500			F2	FVS(7)	WB H=75	L※	CL(2)	C2	CL(2)	塩ビ						
洗面キッチン(宿泊学習)			2500			F2	VS(1)	WB H=75	L※	CL(2)	C2	CL(2)	塩ビ						ミニキッチン(参考品番:LIXIL DMK09PEWB1NN)
生活学習室	150		2500	●		F10 F2	フローリング VS(1)	WB H=75	L※	CL(2)	C2	CL(2)	塩ビ			●	CBX	木製/UC	床見切り(SUS製)、車いす対応キッチン
洋室	150		2500	●		F10	フローリング	WB H=75	L※	CL(2)	C2	CL(2)	塩ビ				CBX	木製/UC	
収納	150		2500			F10	VS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ						
物入	150		2500			F10	VS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ						
洗面・脱衣	150		2500			F10	VS(1)	床材立上 H=100	L※	CL(2)	C6	EP-G	塩ビ						床見切り(SUS製)
浴室	150	一部 -450	2500	●		F6	FVS(10)	床材立上 H=100	L※	陶器質タイル張 100	C6	バスパネル	アルミ						排水溝
肢体便所			2500			F2	FVS(7)	床材立上 H=100	L※	FK(2)	C6	EP-G	塩ビ						補助手すり
備蓄倉庫			2700	●		F2	VS(1)	VB(2)	L※	CL(2)	C1	GB-D	塩ビ				CBX	木製/UC	
物入5,6			2700			F2	VS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ						
共通																			
多目的室1,2			2700	●		F2	US+FVS(6)	WB H=75	L※	羽目板(H860)+EP-G	C1	GB-D(K)	塩ビ			●			
男子便所1,3,6			2500	●		F2	FVS(7) 汚垂れ部貼分け	床材立上 H=100	L※	FK(2)	C6	EP-G	塩ビ						補助手すり
女子便所1,3,6			2500	●		F2	FVS(7)	床材立上 H=100	L※	FK(2)	C6	EP-G	塩ビ						補助手すり
多目的便所1			2500			F2	FVS(7)	床材立上 H=100	L※	FK(2)	C6	EP-G	塩ビ						補助手すり
倉庫3～6,9～13			2500	●		F2	VS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ						
物入3			2500	●		F2	VS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ						
男子更衣室1			2500	●		F2	VS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ						
女子更衣室1,2			2500	●		F2	VS(1)	VB(2)	L※	EP-G	C1	GB-D	塩ビ						
西廊下			2700	●		F2	US+FVS(6) パターン貼り	VB(2)	L※	PVC(H860)+EP-G	C2	DR(1) CL(2)	塩ビ						
東廊下			2700	●		F2	US+FVS(6) パターン貼り	VB(2)	L※	PVC(H860)+EP-G	C2	DR(1) CL(2)	塩ビ						
4階廊下			2700	●		F2	US+FVS(6) パターン貼り	VB(2)	L※	PVC(H860)+EP-G	C2	DR(1) CL(2)	塩ビ				CBX	木製/UC	
スロープ			3000	●		F8	US+FVS(4)	VB(2)	L※	ｸｯｼｮﾝ壁 H=1800マデ	C1	最上階、段裏:GB-D	塩ビ						
屋内階段2			2700	●		F8	US+FVS(6)	VB(2)	L※	EP-G	C1 RC(A)	最上階:GB-D 段裏:EP-G	塩ビ						

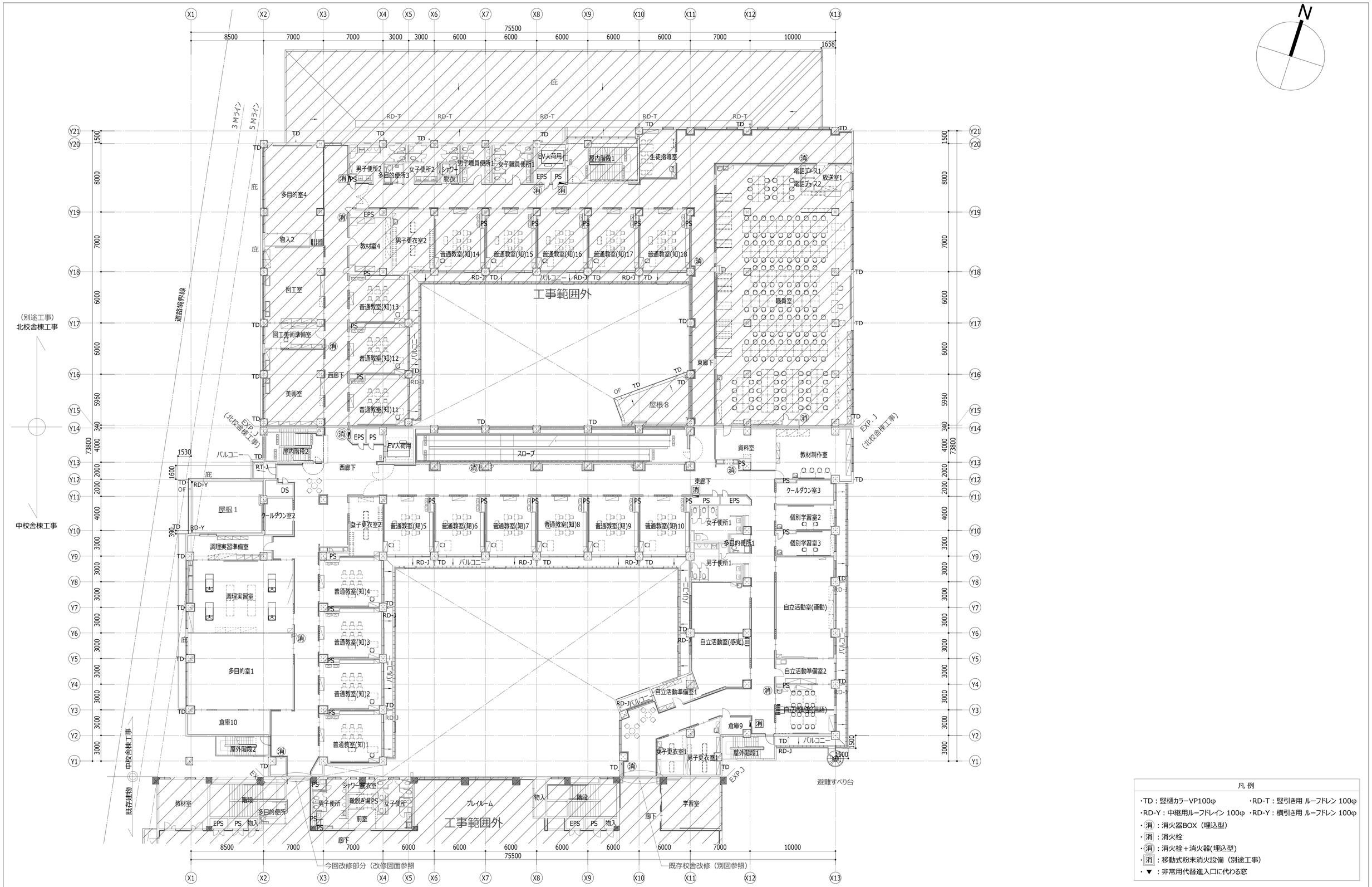
注記:「床高」「スラブ高」はFL±0に対する値とし、記載なき限り「床高」はFL±0、「スラブ高」はFL-30とする。
注記:「不燃/準不燃」欄は、「●」は下地共不燃材、「○」は表面材準不燃材を示す。
注記:「排煙規定」欄は、「告示1436号第１項第４号へ」による適用を示す。
注記:腰壁・壁下地の「L※」は、別紙壁種別による。

検印	内藤・フジ設計共同体			工事名	図番
	京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司 (登録第252129号) 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号	(主任技術者) 一級建築士 山田 俊二 (登録第183136号)	(一級建築士 登録第160462号)(構造設計一級建築士 第4071号) 藤田 貴司【構造関係規定に関わる部分が適合する】 (一級建築士 登録第361974号)(設備設計一級建築士 第5999号) 山本 篤史【設備関係規定に関わる部分が適合する】	紀北支援学校中校舎棟建築工事 図名 外部・内部仕上表 縮尺 A1: 1 : － A3: 1 : － 設計日	A－014



凡 例	
・TD：竪樋カラーVP100φ	・RD-T：竪引き用 ルーフドレン 100φ
・RD-Y：中継用ルーフドレイン 100φ	・RD-Y：横引き用 ルーフドレン 100φ
・消：消火器BOX（埋込型）	
・消：消火栓	
・消：消火栓＋消火器(埋込型)	
・消：移動式粉末消火設備（別途工事）	
・▼：非常用代替進入口に代わる窓	

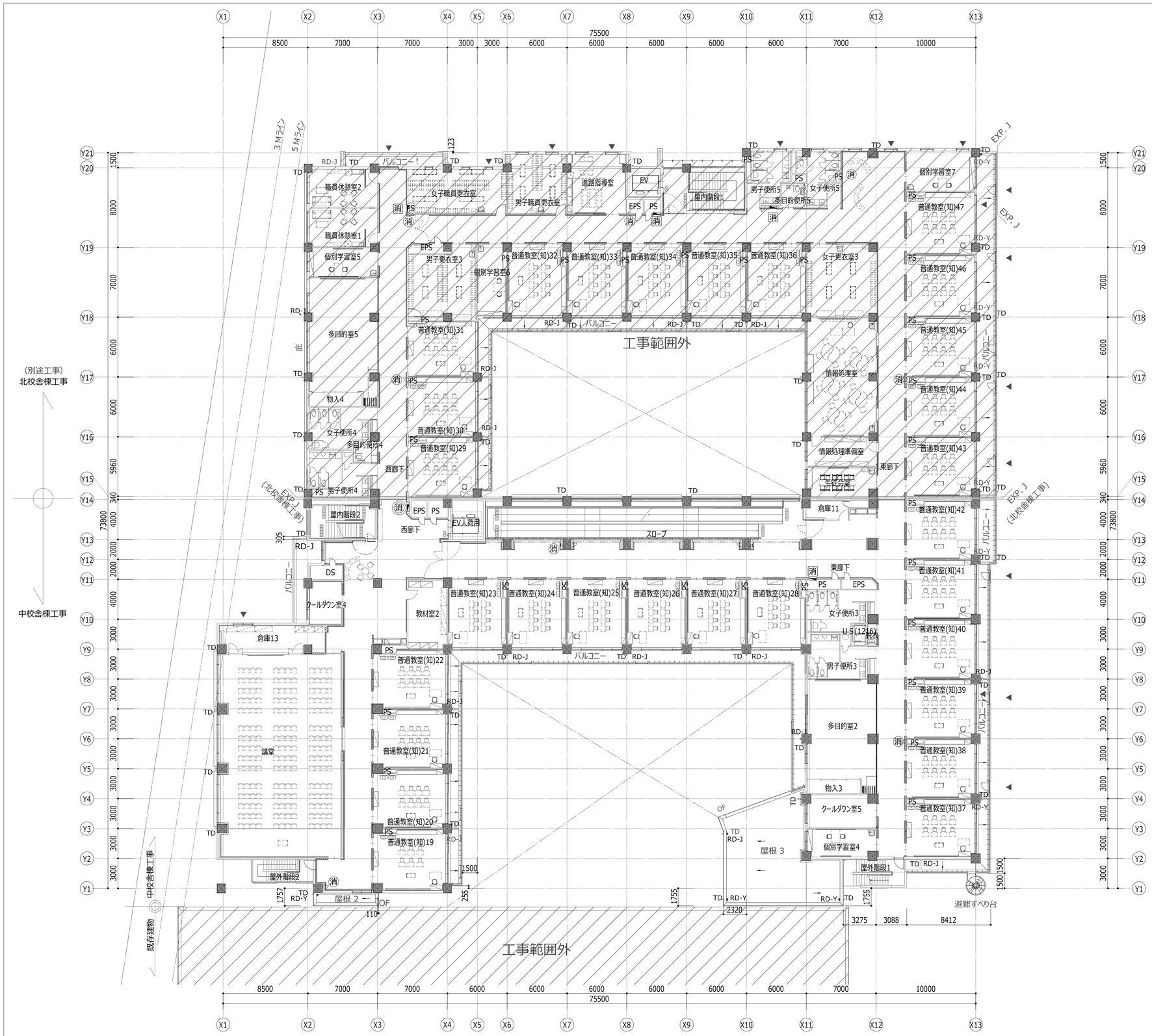
検印	内藤・フジ設計共同体			工事名	図番
	京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二 （登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	紀北支援学校中校舎棟建築工事	A－015
				図 名：１階平面図 縮 尺：A1：1／200　A3：1／400 設計日：	



凡 例

- TD：竪樋カラーVP100φ
- RD-T：竪引き用 ルーフドレン 100φ
- RD-Y：中継用ルーフドレイン 100φ
- RD-Y：横引き用 ルーフドレン 100φ
- 消：消火器BOX（埋込型）
- 消：消火栓
- 消：消火栓＋消火器(埋込型)
- 消：移動式粉末消火設備（別途工事）
- ▼：非常用代替進入口に代わる窓

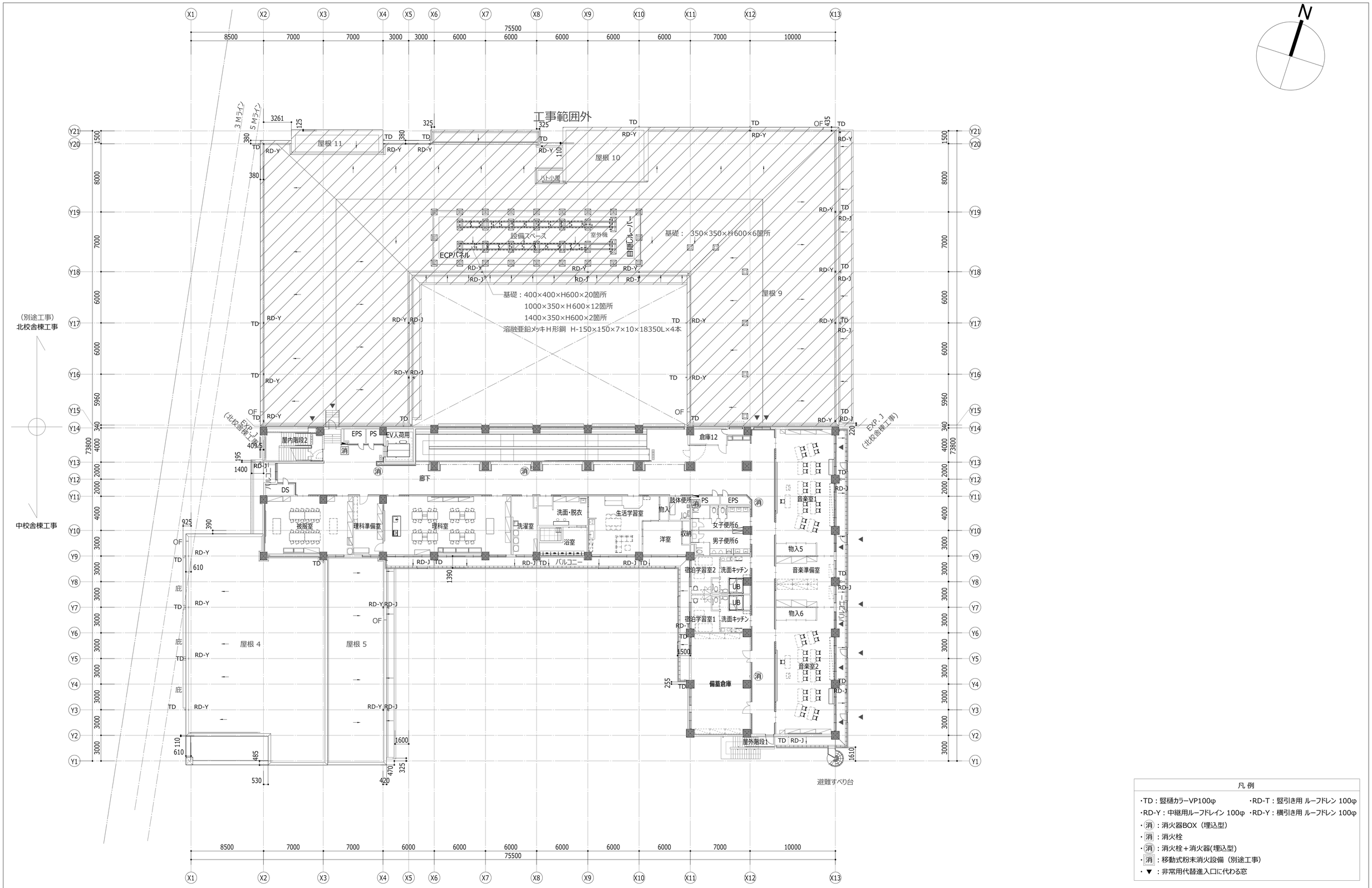
検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二 （登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図 名 ２階平面図	縮 尺 A1：1／200 A3：1／400	設計日	図番 Ａ－016



凡例

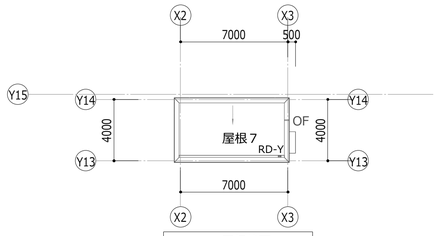
- TD：竪樋カラーVP100φ　　RD-T：竪引き用 ルーフドレン 100φ
- RD-Y：中継用ルーフドレイン 100φ　　RD-Y：横引き用 ルーフドレン 100φ
- 消：消火器BOX（埋込型）
- 消：消火栓
- 消：消火栓＋消火器(埋込型)
- 消：移動式粉末消火設備（別途工事）
- ▼：非常用代替進入口に代わる窓

検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二 （登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図名 ３階平面図	縮尺 A1：1：200 A3：1：400 設計日	図番 A－017

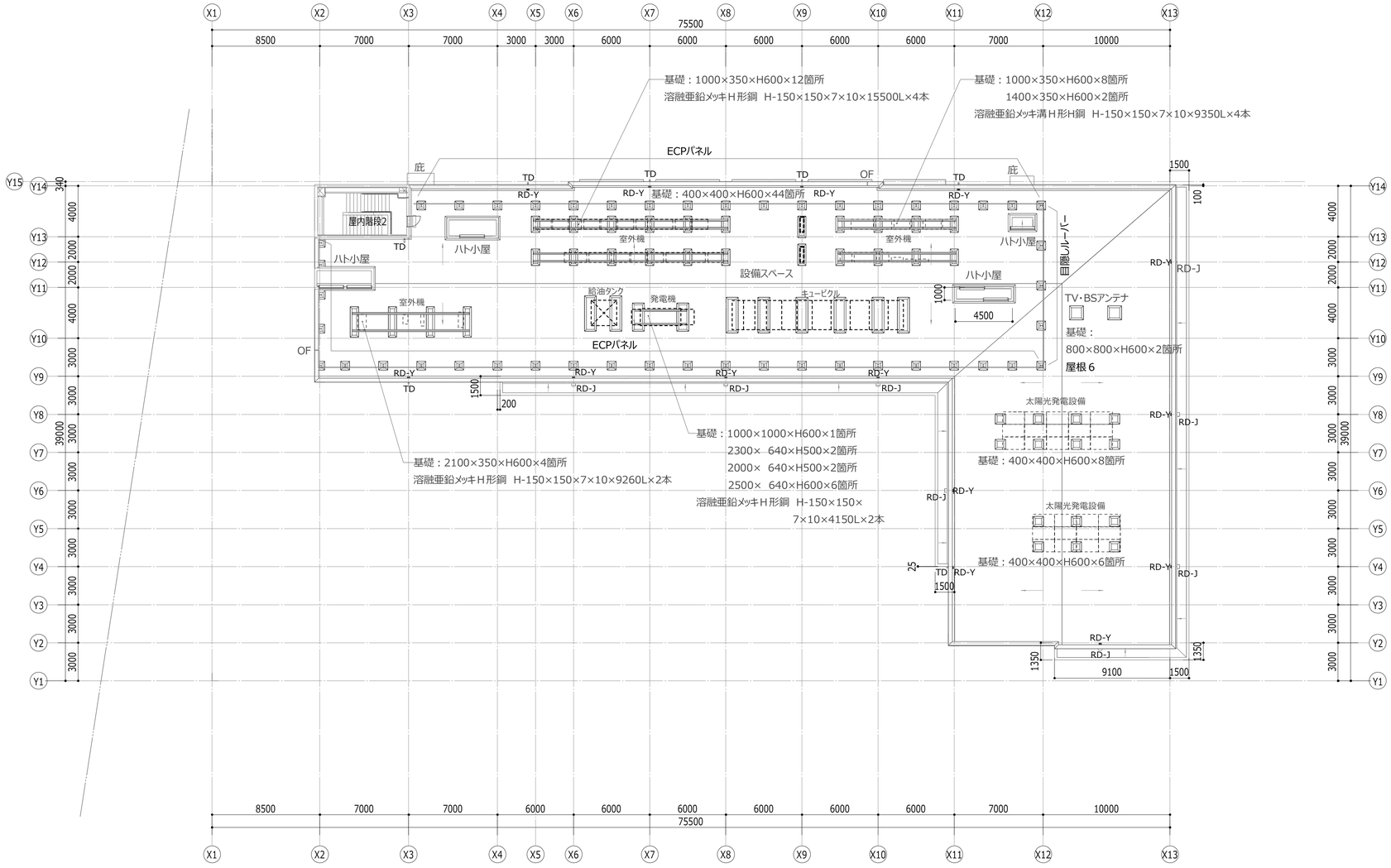


凡 例	
・TD：竪樋カラーVP100φ	・RD-T：竪引き用 ルーフドレン 100φ
・RD-Y：中継用ルーフドレイン 100φ	・RD-Y：横引き用 ルーフドレン 100φ
・消：消火器BOX（埋込型）	
・消：消火栓	
・消：消火栓＋消火器(埋込型)	
・消：移動式粉末消火設備（別途工事）	
・▼：非常用代替進入口に代わる窓	

検印	内藤・フジ設計共同体			工事名	紀北支援学校中校舎棟建築工事		図番
	京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二 （登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	図 名	４階平面図	縮 尺 A1：1／200 A3：1／400 設計日	A－018



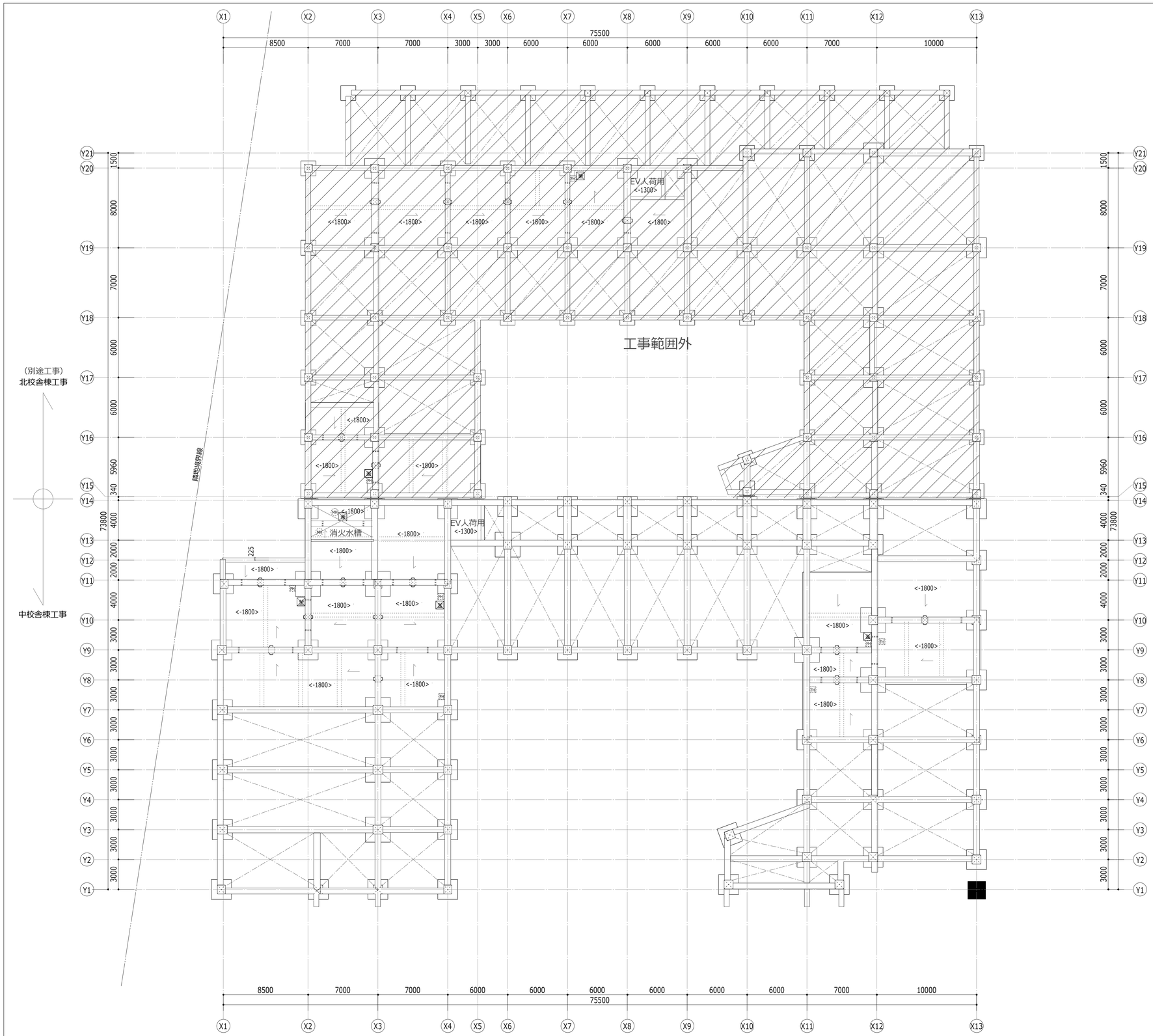
PH屋根伏図

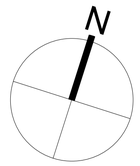


凡 例

- ・TD：竪樋カラーVP100φ
- ・RD-T：竪引き用 ルーフドレン 100φ
- ・RD-Y：中継用ルーフドレイン 100φ
- ・RD-Y：横引き用 ルーフドレン 100φ
- ・消：消火器BOX（埋込型）
- ・消：消火栓
- ・消：消火栓＋消火器(埋込型)
- ・消：移動式粉末消火設備（別途工事）
- ・▼：非常用代替進入口に代わる窓

検印	内藤・フジ設計共同体		（一級建築士 登録第160462号）（構造設計一級建築士 第40711号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】	工事名	紀北支援学校中校舎棟建築工事		図番
	京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二 （登録第183136号）	（一級建築士 登録第361974号）（設備設計一級建築士 第59999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	図 名	R階平面図	縮 尺 A1：1／200 A3：1／400 / 設計日	A－ 019



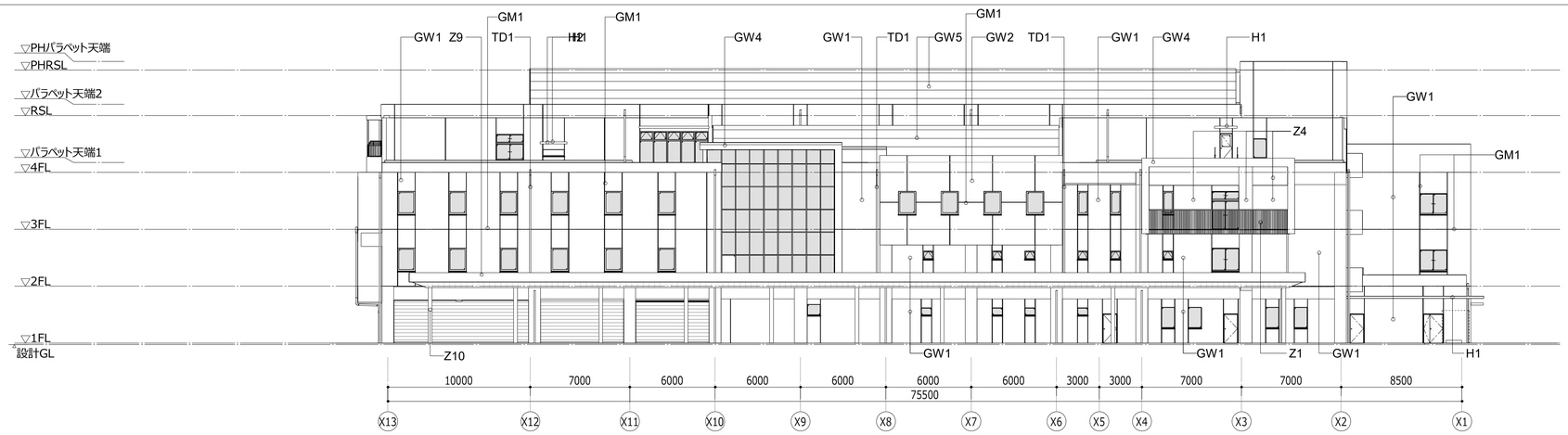


ピット図 凡例

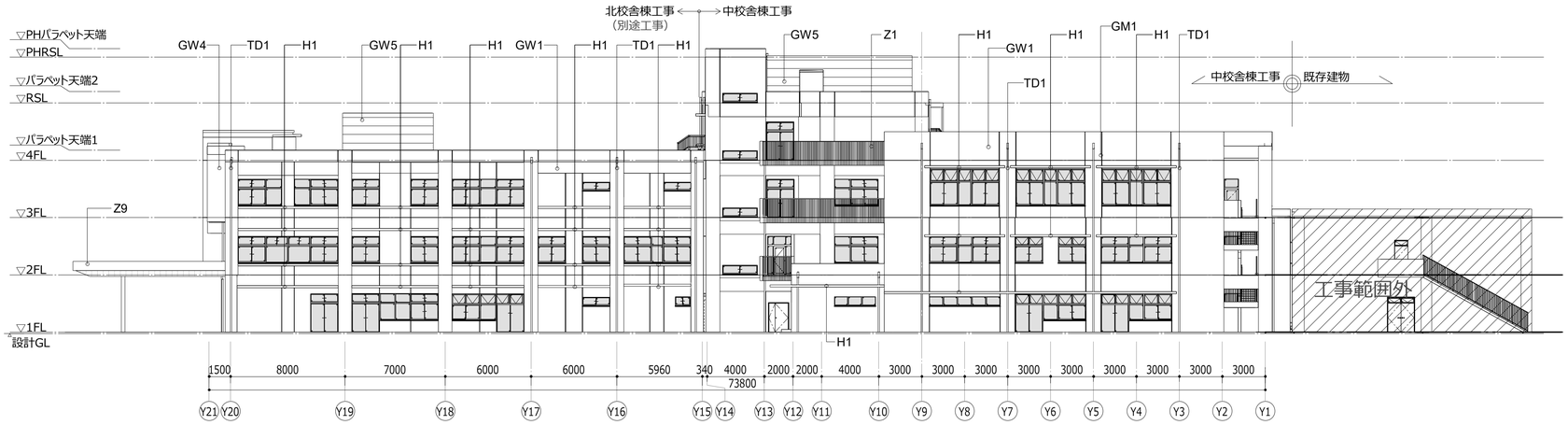
- 床勾配(1/200程度)
- 埋め戻しを示す
- 上部梁を示す
- 釜 釜場口600角H500
- <-○○○○> 1FLからピット床スラブ天端高さを示す。
- FH 上部化粧点検口600角 SUSタラップ
- MH 上部完全防水型マンホール 600 SUSタラップ
- 上部通気管⌀100 下部通水管φ100半割を示す
- 人通口⌀600 開口両方向に持ち手(SUS19W400打込)をつける。

・ピット及び水槽内天井スラブ面は断熱材t50打ち込みとする。
・エレベーターピット、消火水槽の
・各ピットは床・壁を浸透性塗布防水とする。

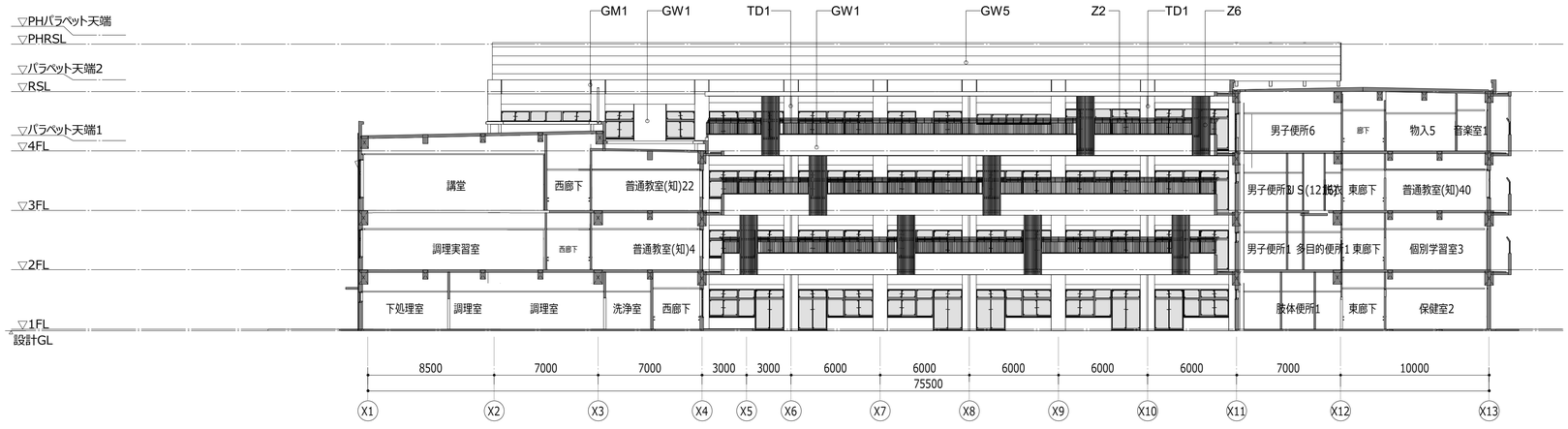
検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二 （登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図 名 ピット平面図	縮 尺 A1: 1／200 A3: 1／400	設計日	図番 A－020



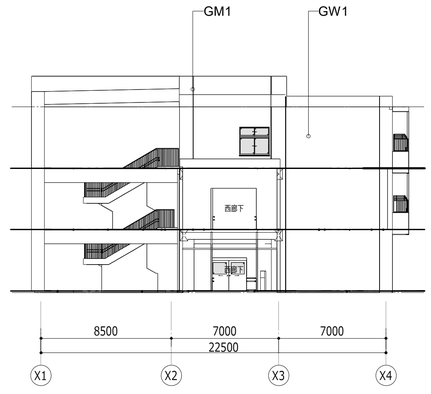
北立面図（1）



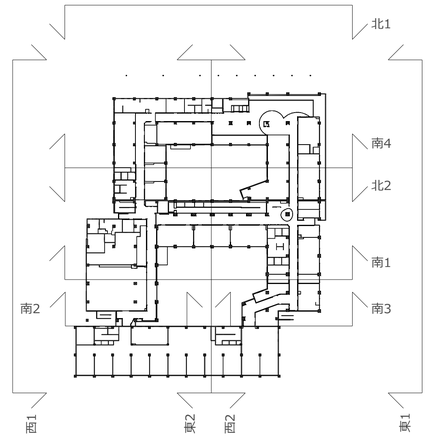
西立面図（1）



南立面図（1）



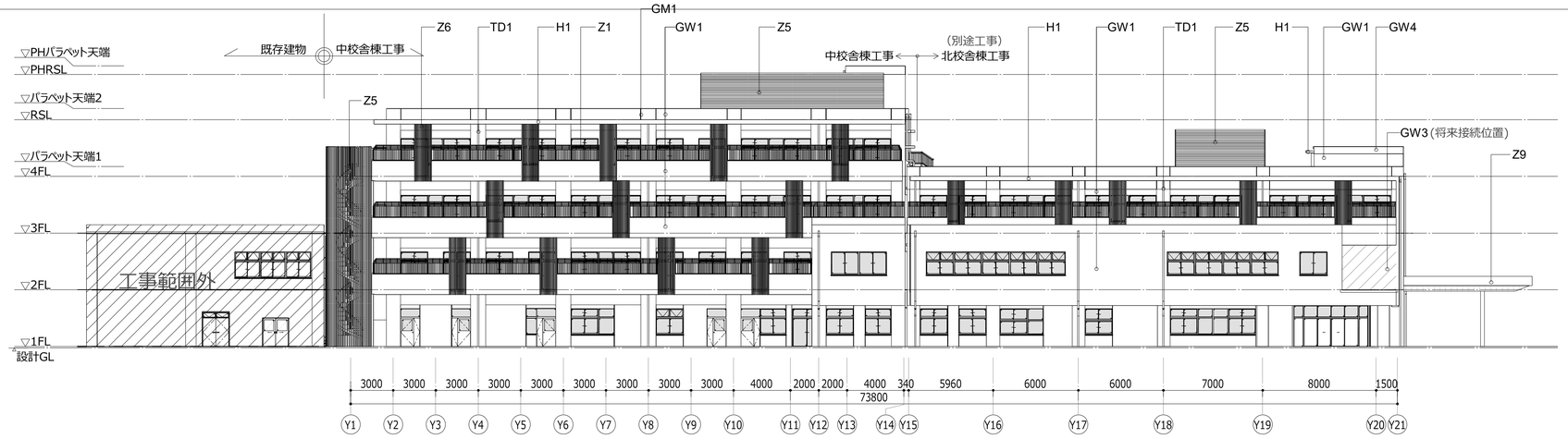
南立面図（2）



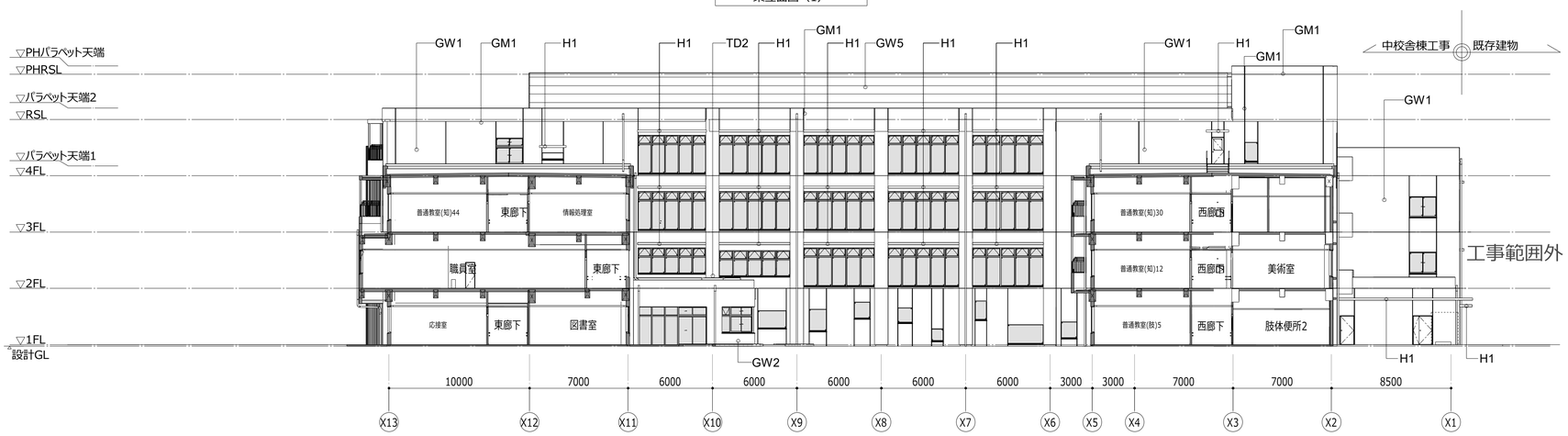
外部仕上

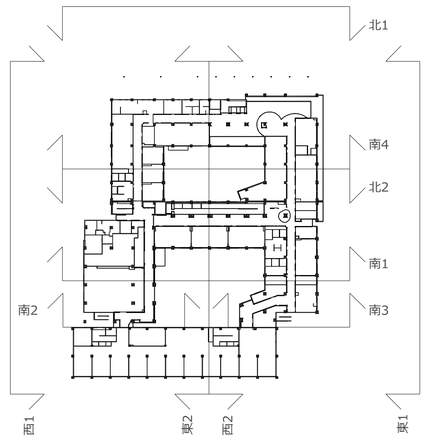
GM1	伸縮目地
GW1	コンクリート打放し（B種）防水形複層塗材E
GW2	コンクリート打放し（B種）ハイブリットカラーコーティング仕上
GW3	ALCの上、防水形複層塗材E
GW4	アルミカットパネル　t 3.0　ＦＵ－Ｂ
GW5	押出成形セメント板 t=60 W900 親水性ふっ素樹脂
H1	庇：コンクリートコテ押えの上、塗膜防水（Ｘ－２）
H2	アルミカットパネル　t 3.0　ＦＵ－Ｂ
TD1	竪樋：カラーＶＰ管（100φ）　ＳＵＳ製掴み金物@1,200
TD2	竪樋：ＳＵＳ製丸樋　ＨＬ仕上げ（100φ）　ＳＵＳ製掴み金物@1,200
Z1	スチールＦＢ　亜鉛メッキ　リン酸処理
Z2	手摺：スチールＦＢ　亜鉛メッキ　リン酸処理
Z4	桧板ｔ15上小節（紀州材）下見板張り　ＷＰ塗
Z5	アルミ押出型材　ＵＥ－Ｂ
Z6	アルミ押出型材　ＵＥ－Ｂ
Z9	アルミパネル t 2.0　曲げ加工　B-UE
Z10	スチール製　発泡性耐火シートの上　専用上塗材

検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士　神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所　京都府知事登録　(06A)第02291号	（主任技術者） 一級建築士　山田 俊二　（登録第183136号）	（一級建築士　登録第160462号） （構造設計一級建築士　第40711号） 藤田　貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士　登録第361974号） （設備設計一級建築士　第5999号） 山本　篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図名 立面図　（１）	縮尺 A1：1／200 A3：1／400 設計日	図番 Ａ－ 021

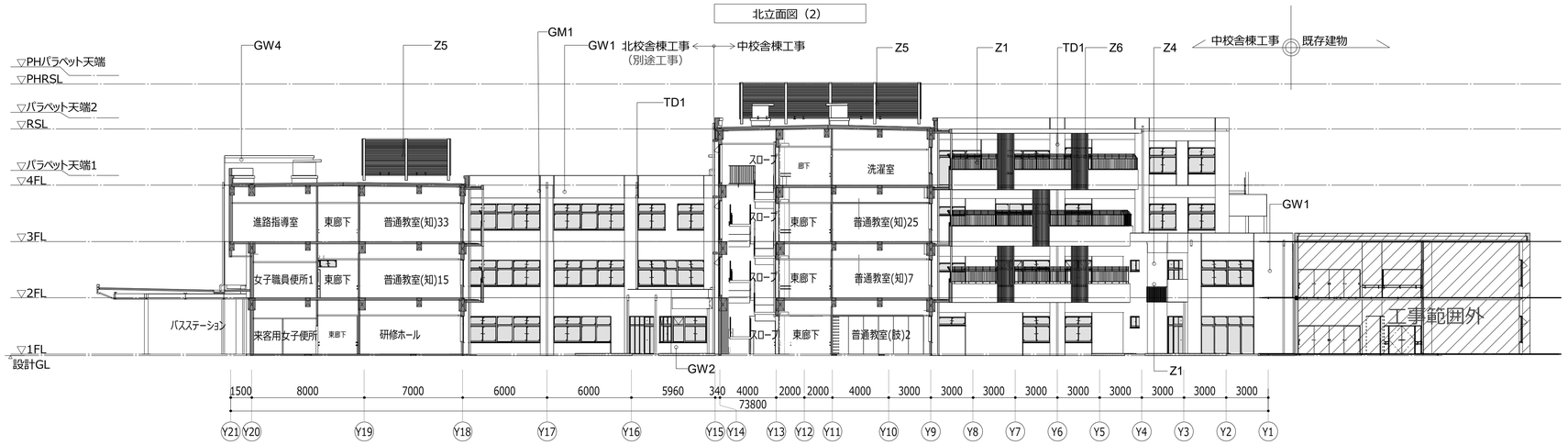


東立面図（1）





北立面図（2）

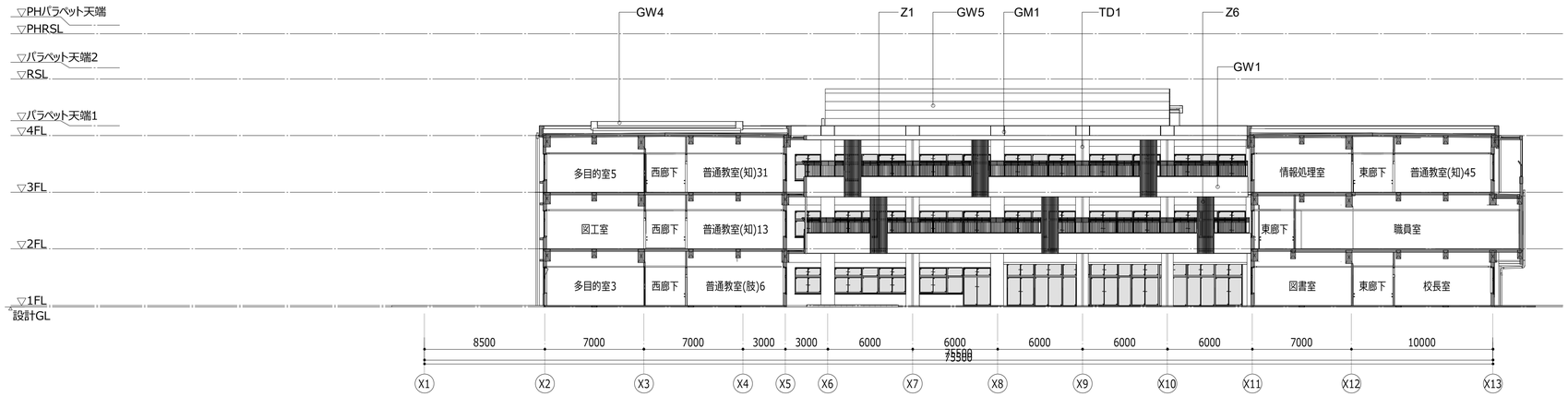


西立面図（2）

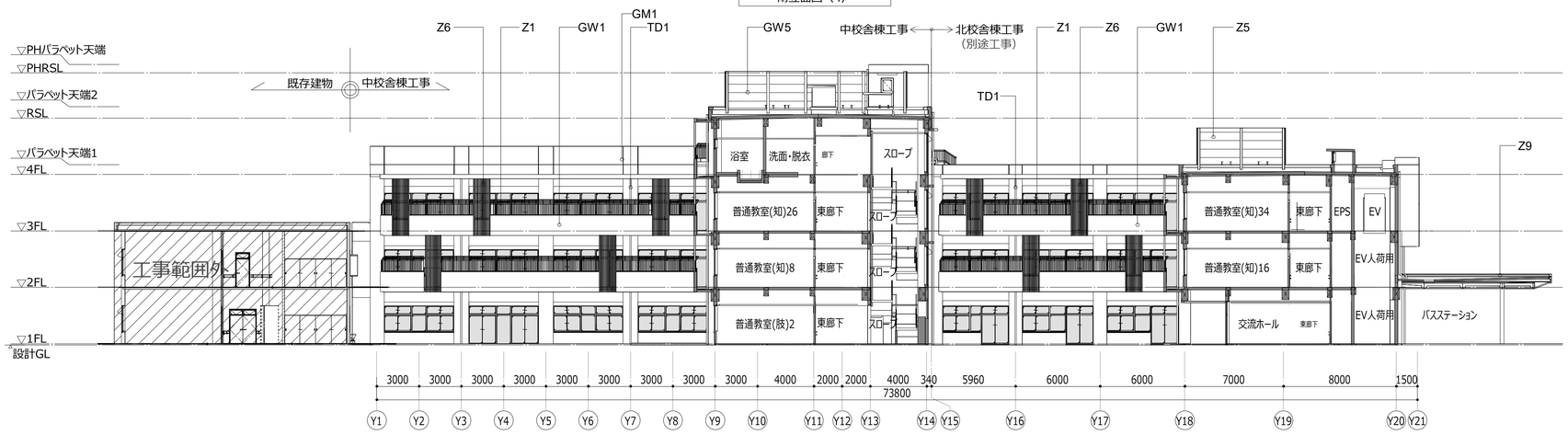
外部仕上

GM1	伸縮目地
GW1	コンクリート打放し（B種）防水形複層塗材E
GW2	コンクリート打放し（B種）ハイブリットカラーコーティング仕上
GW3	ALCの上、防水形複層塗材E
GW4	アルミカットパネル　ｔ3.0　ＦＵ－Ｂ
GW5	押出成形セメント板 t=60 W900 親水性ふっ素樹脂
H1	庇：コンクリートコテ押えの上、塗膜防水（Ｘ－２）
H2	アルミカットパネル　ｔ3.0　ＦＵ－Ｂ
TD1	竪樋：カラーＶＰ管（100φ）　ＳＵＳ製掴み金物@1,200
TD2	竪樋：ＳＵＳ製丸樋　ＨＬ仕上げ（100φ）　ＳＵＳ製掴み金物@1,200
Z1	スチールＦＢ　亜鉛メッキ　リン酸処理
Z2	手摺：スチールＦＢ　亜鉛メッキ　リン酸処理
Z4	桧板ｔ15上小節（紀州材）下見板張り　ＷＰ塗
Z5	アルミ押出型材　ＵＥ－Ｂ
Z6	アルミ押出型材　ＵＥ－Ｂ
Z9	アルミパネルｔ2.0　曲げ加工　B-UE
Z10	スチール製　発泡性耐火シートの上　専用上塗材

検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所　京都府知事登録　(06A)第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二 （登録第183136号）	（一級建築士　登録第160462号） （構造設計一級建築士　第4071号） 藤田　貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士　登録第361974号） （設備設計一級建築士　第5999号） 山本　篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図　名 立面図　（２）	縮尺 A1：1／200 A3：1／400 設計日	図番 Ａ－ 022

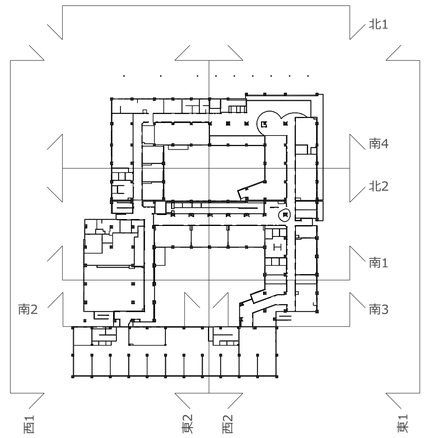


南立面図（4）

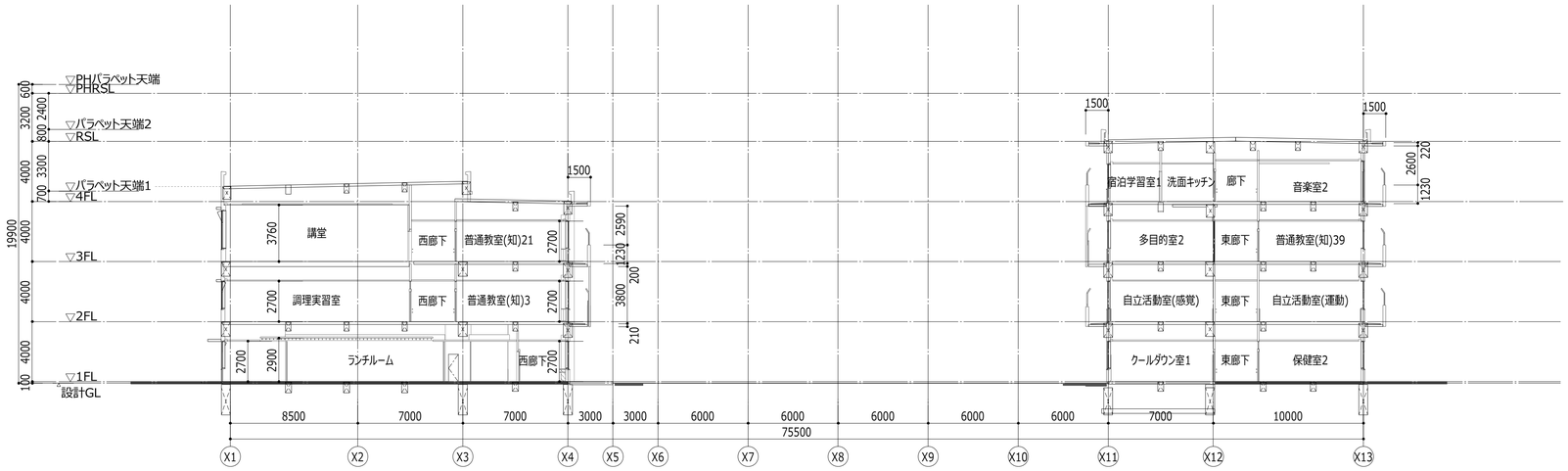


東立面図（2）

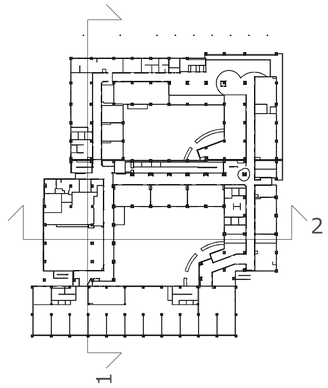
外部仕上	
GM1	伸縮目地
GW1	コンクリート打放し（B種）防水形複層塗材E
GW2	コンクリート打放し（B種）ハイブリットカラーコーティング仕上
GW3	ALCの上、防水形複層塗材E
GW4	アルミカットパネル　ｔ3.0　ＦＵ－Ｂ
GW5	押出成形セメント板 t=60 W900 親水性ふっ素樹脂
H1	庇：コンクリートコテ押えの上、塗膜防水（Ｘ－２）
H2	アルミカットパネル　ｔ3.0　ＦＵ－Ｂ
TD1	竪樋：カラーＶＰ管（100φ）　ＳＵＳ製掴み金物@1,200
TD2	竪樋：ＳＵＳ製丸樋　ＨＬ仕上げ（100φ）　ＳＵＳ製掴み金物@1,200
Z1	スチールＦＢ　亜鉛メッキ　リン酸処理
Z2	手摺：スチールＦＢ　亜鉛メッキ　リン酸処理
Z4	桧板ｔ15上小節（紀州材）下見板張り　ＷＰ塗
Z5	アルミ押出型材　ＵＥ－Ｂ
Z6	アルミ押出型材　ＵＥ－Ｂ
Z9	アルミパネルｔ2.0　曲げ加工　B-UE
Z10	スチール製　発泡性耐火シートの上　専用上塗材

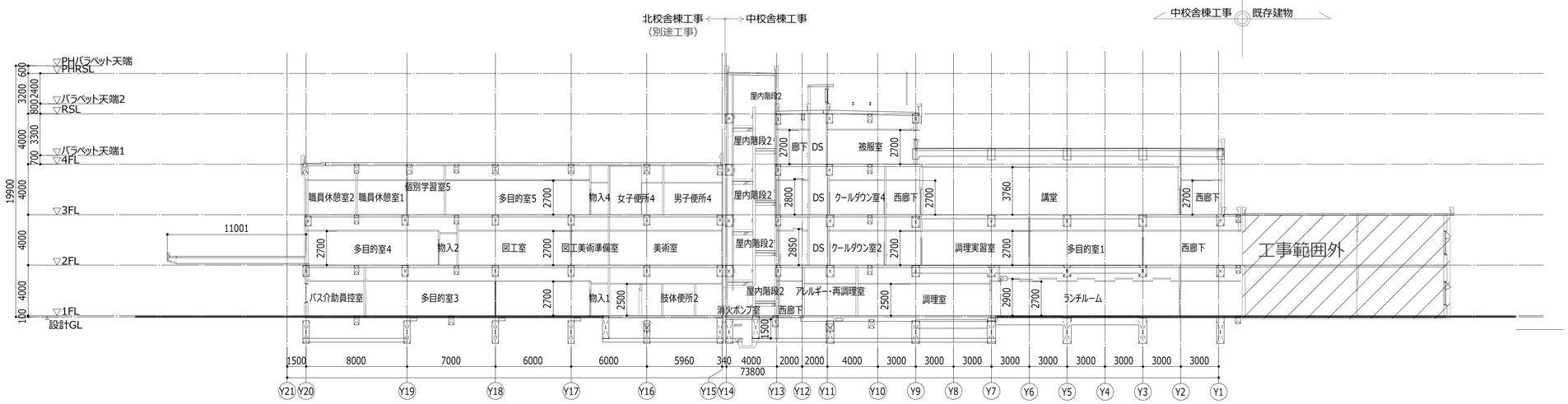


検印	内藤・フジ設計共同体		（一級建築士　登録第160462号）（構造設計一級建築士　第4071号）藤田　貴司	工事名	紀北支援学校中校舎棟建築工事		図番
	京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士　神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所　京都府知事登録　(06A)第02291号	（主任技術者） 一級建築士　山田 俊二　（登録第183136号）	【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士　登録第361974号）（設備設計一級建築士　第59999号）山本　篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	図　名	立面図　（３）	縮尺 A1：1／200 A3：1／400	設計日	A－ 023



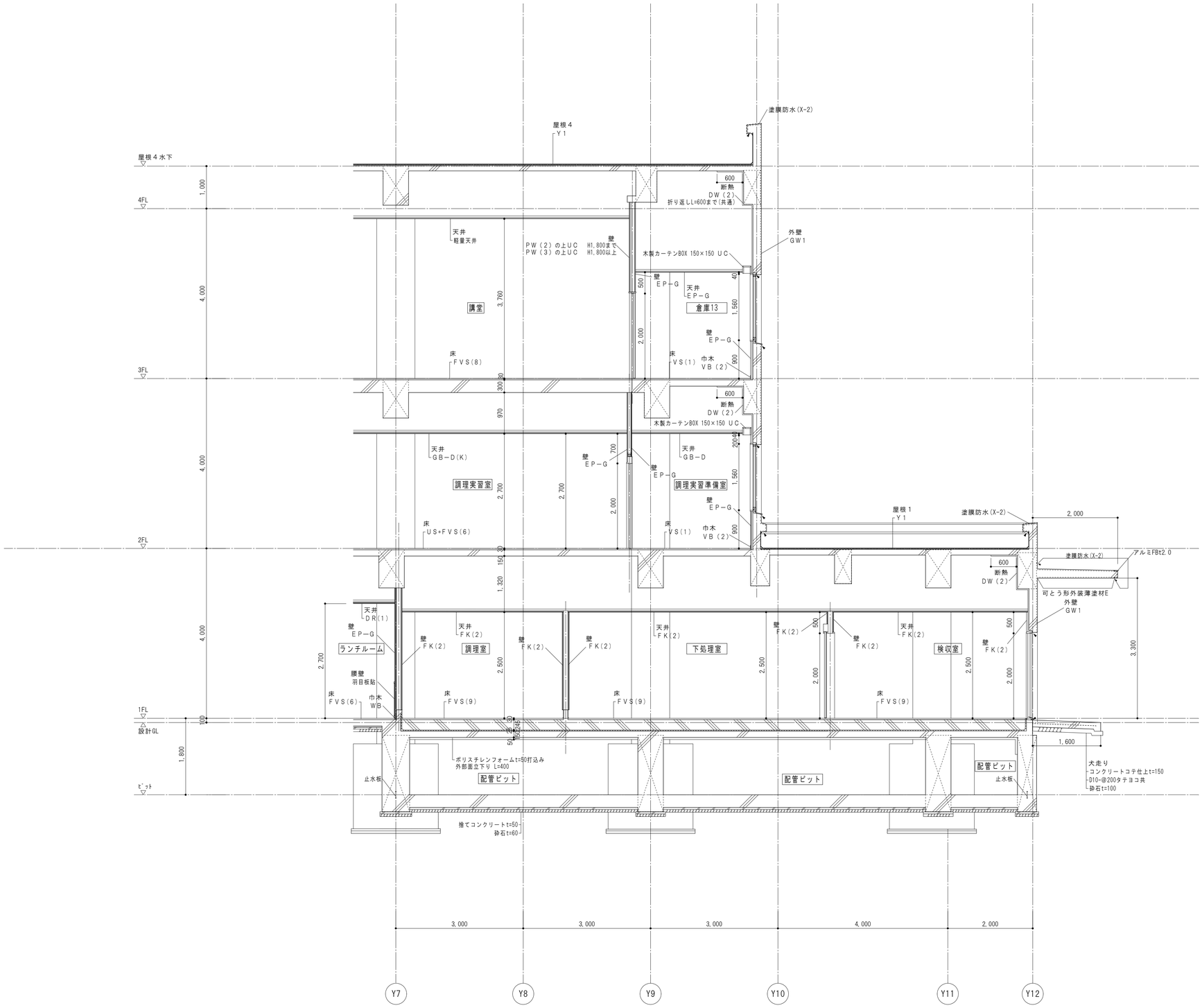
断面図（2）

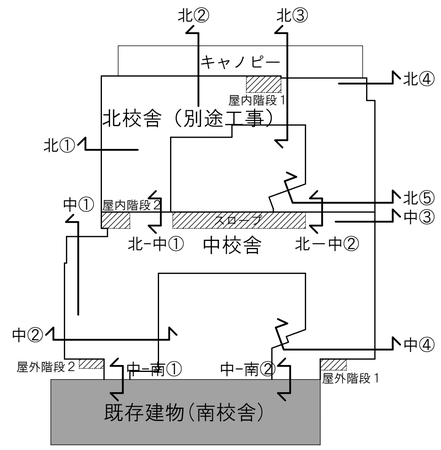




断面図（1）

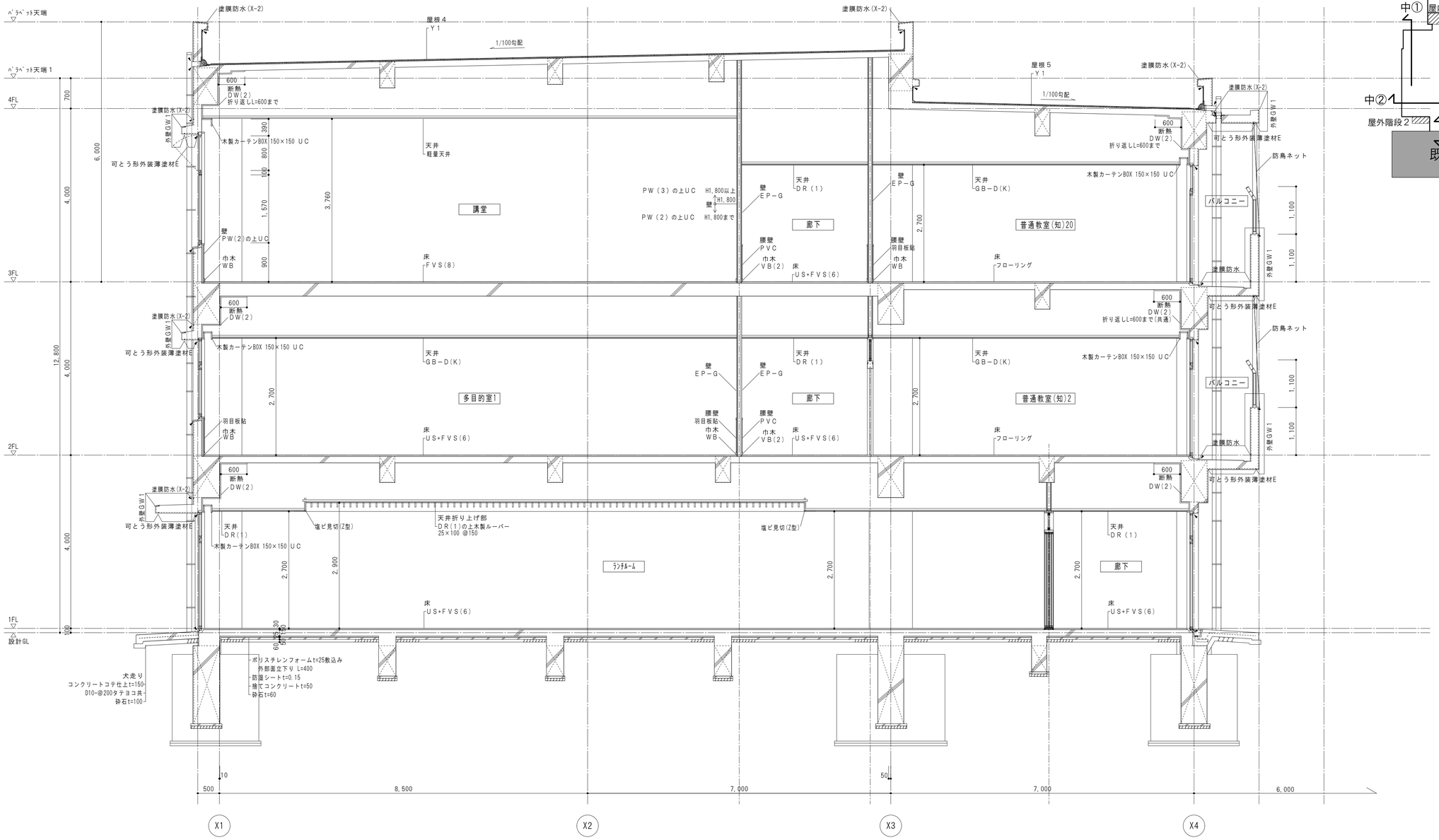
検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二 （登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図 名 断面図	縮 尺 A1：1／200 A3：1／400	設計日	図番 A－ 024

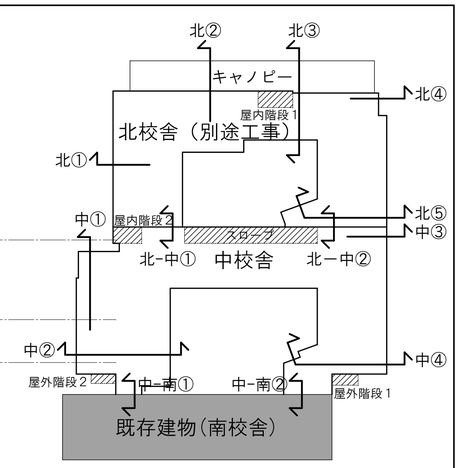




断面詳細図　中①

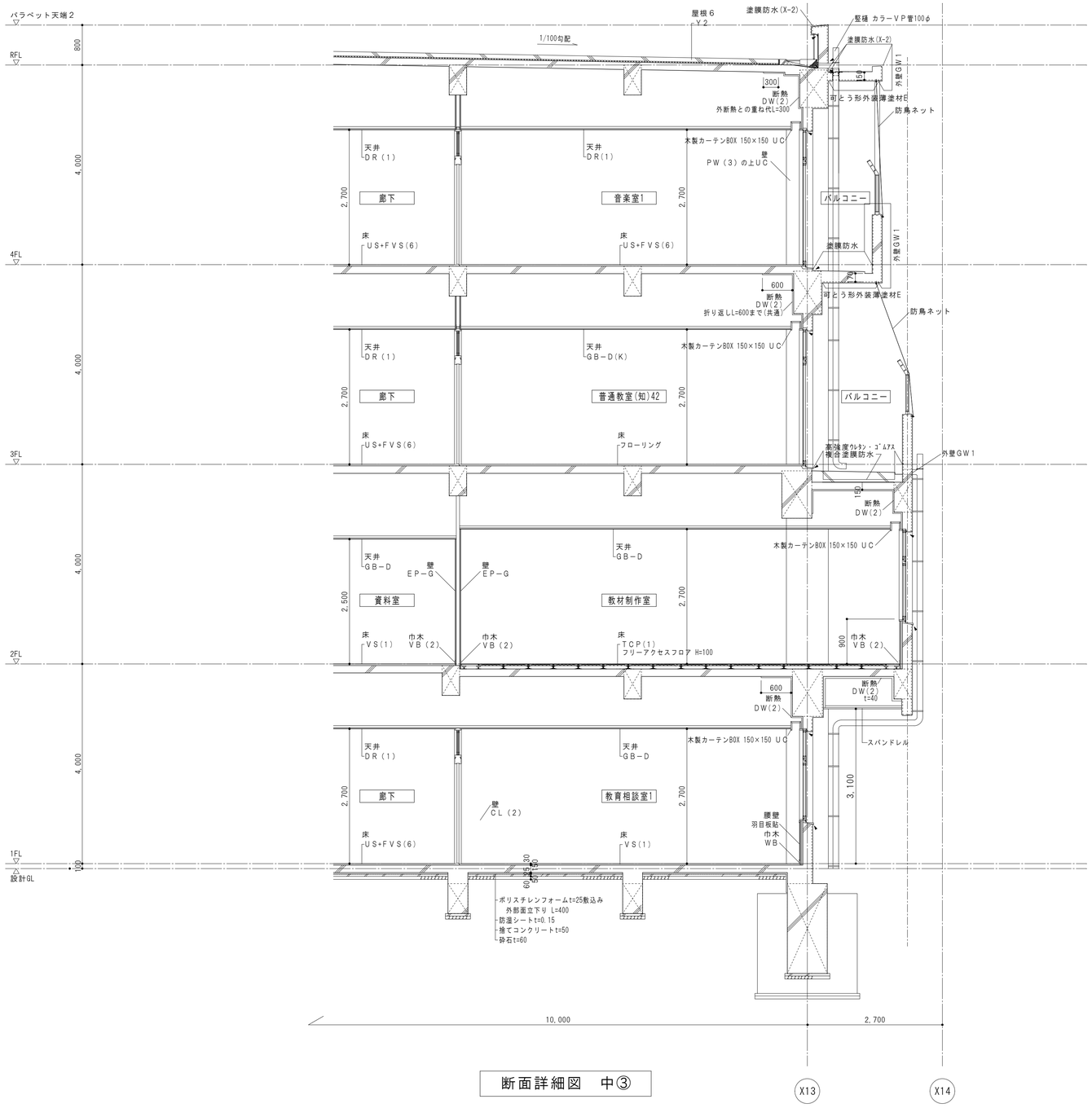
検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号 （主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名	紀北支援学校中校舎棟建築工事		図番
			図名	断面詳細図（１）（中①）	縮尺 A1:1／50 A3:1／100	設計日	A－０２５



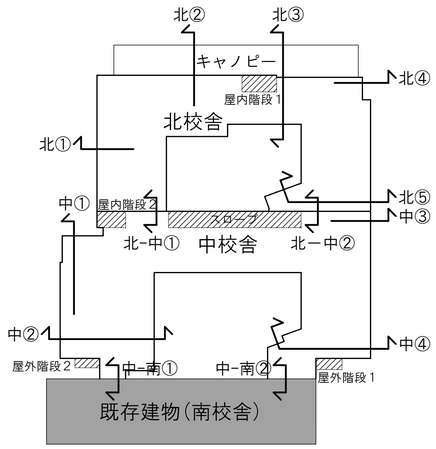


断面詳細図　中②

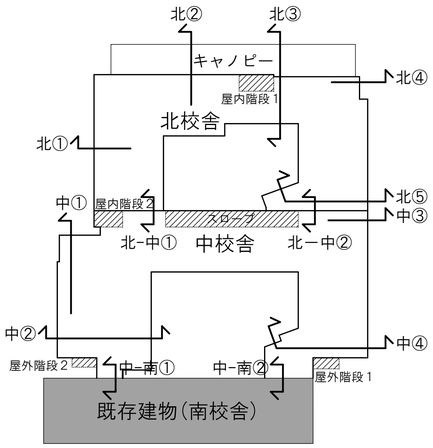
検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A) 第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図 名 断面詳細図（２）（中②）	縮尺 A1:1／50 A3:1／100	設計日	図番 A－０２６

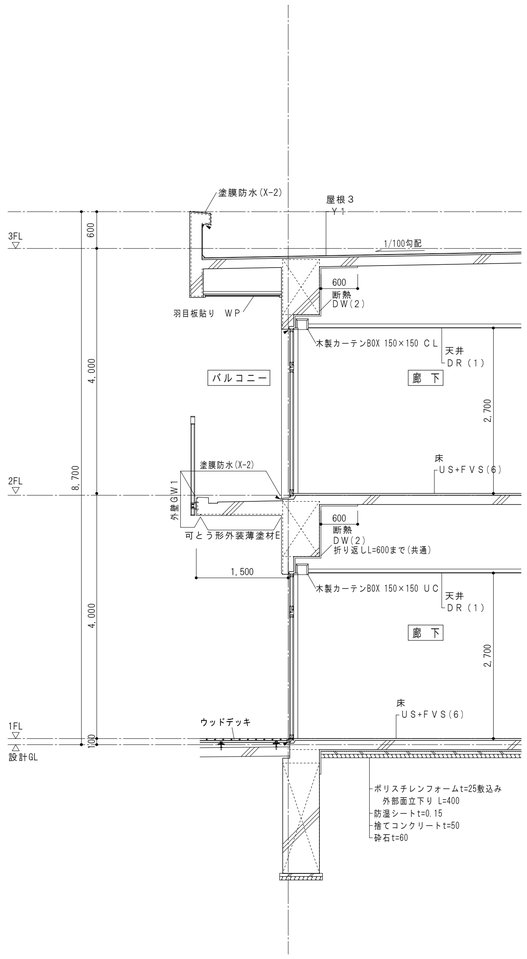


断面詳細図　中③

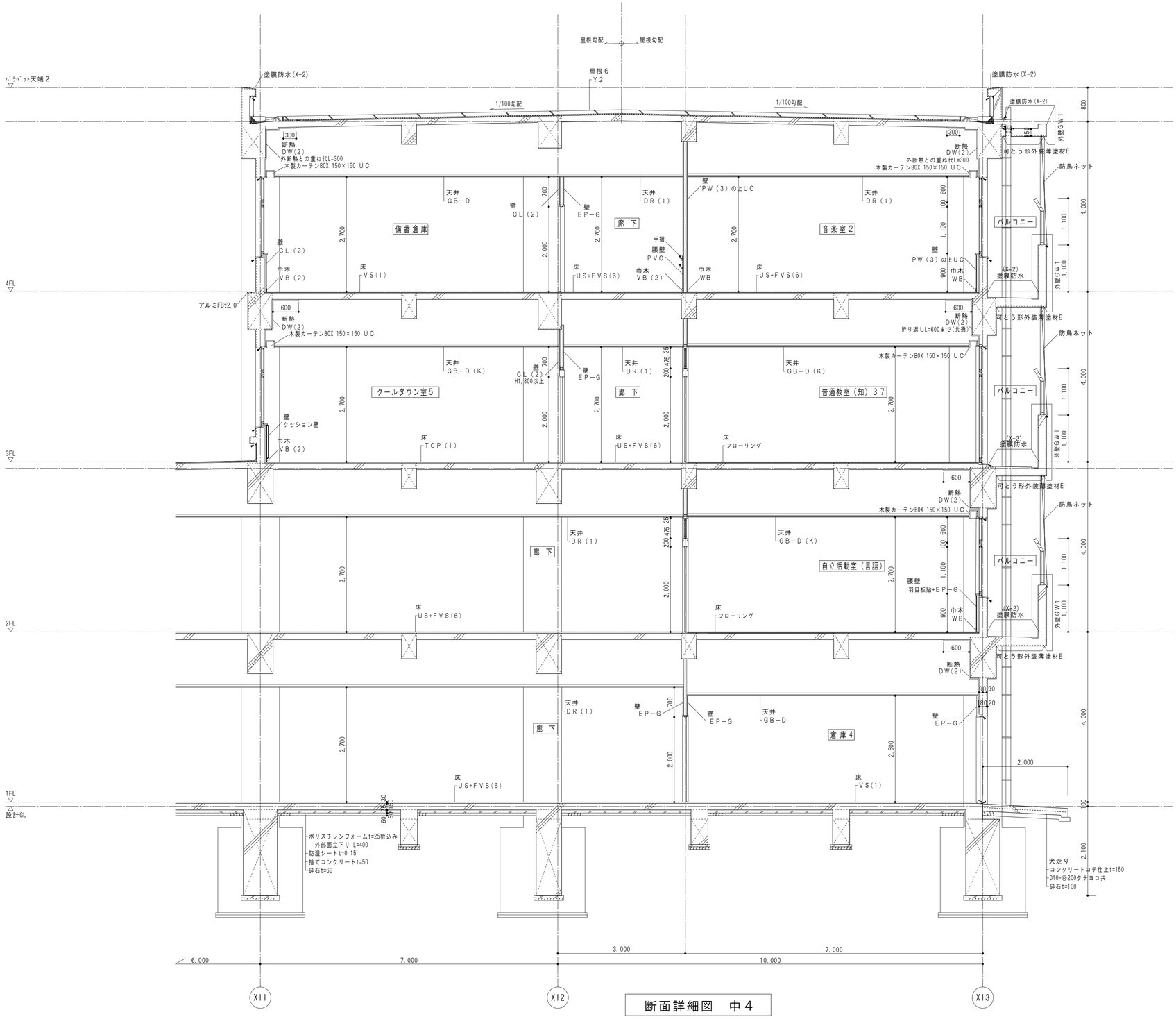


検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06)第02291号 （主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図名 断面詳細図（３）（中③）	縮尺 A1:1／50 A3:1／100	設計日	図番 A－０２７



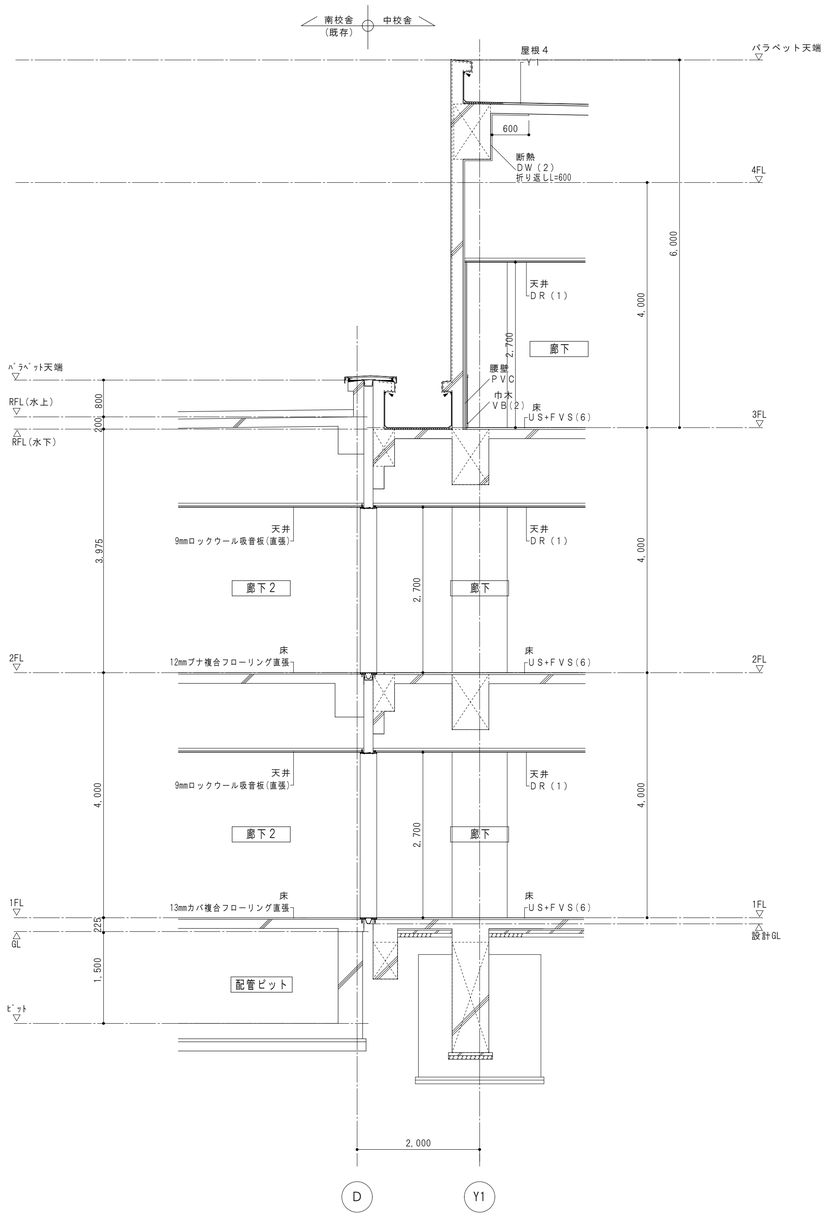


断面詳細図　中4

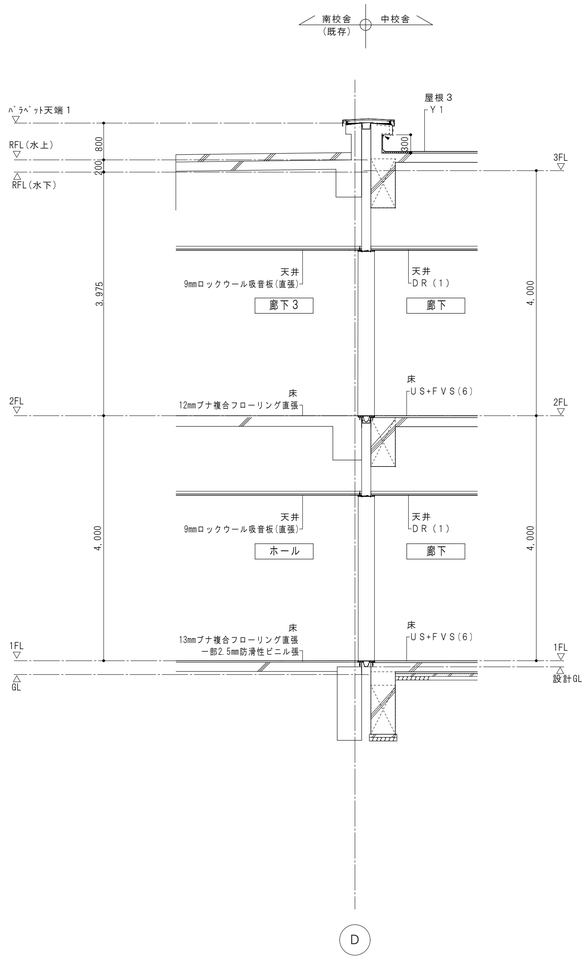


断面詳細図　中4

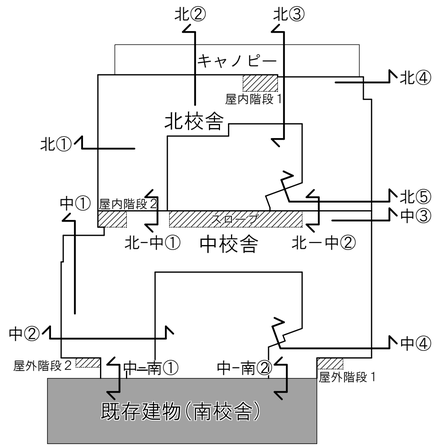
検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06)第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第1071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第35999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図 名 断面詳細図（４）（中④）	縮尺 A1:1／50 A3:1／100 設計日	図番 A－０２８



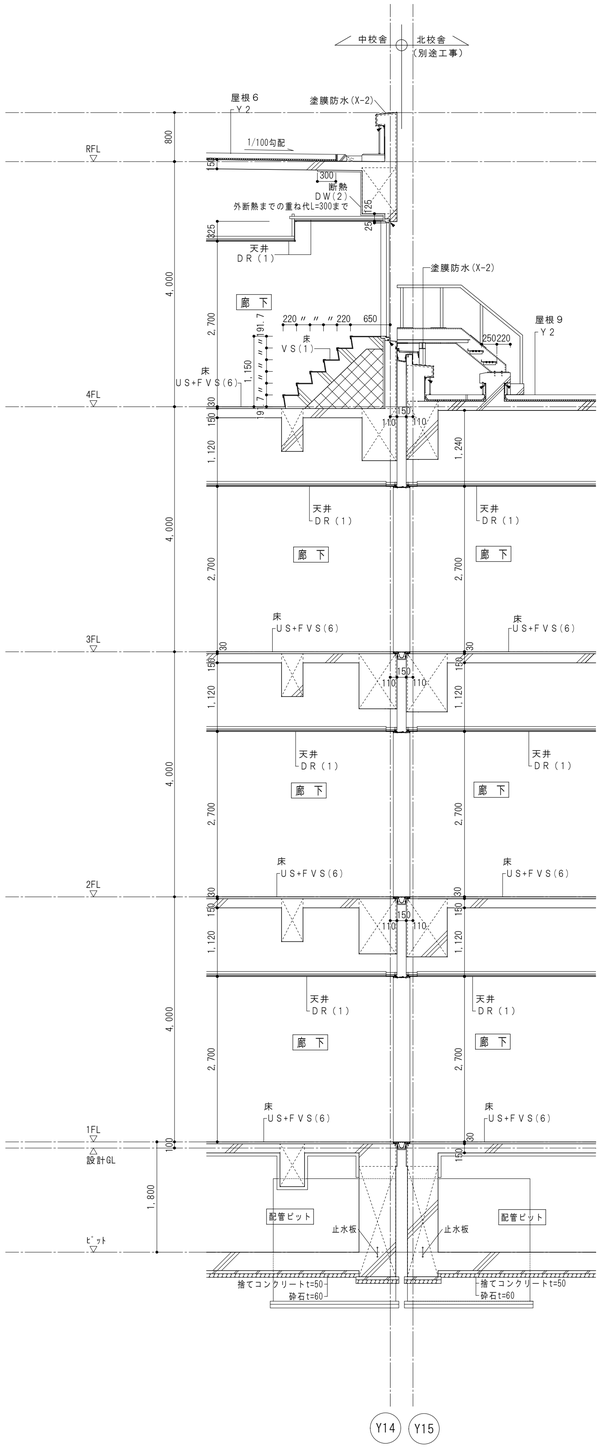
中 － 南①取合部詳細図　S=1/50



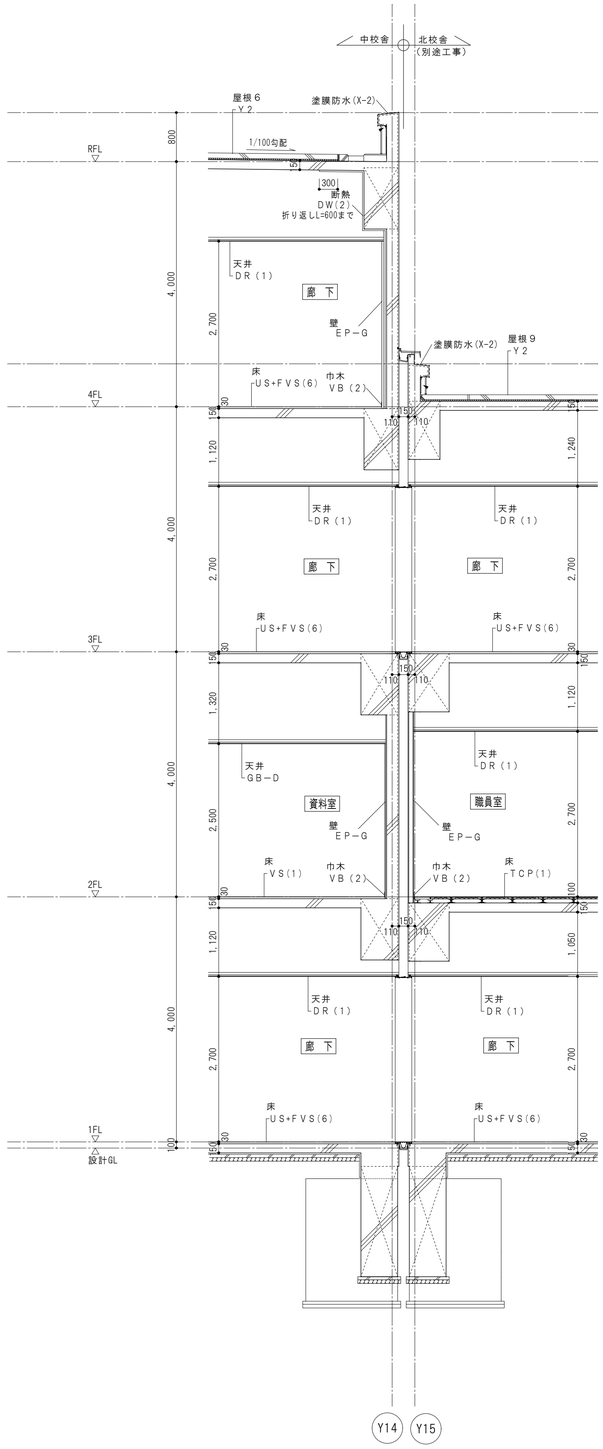
中 － 南②取合部詳細図　S=1/50



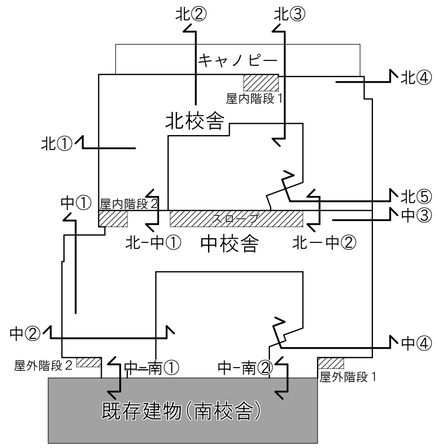
検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06)第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第1071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図 名 断面詳細図（５）（中-南取合部）	縮尺 A1:1／50 A3:1／100	設計日	図番 A－０２９



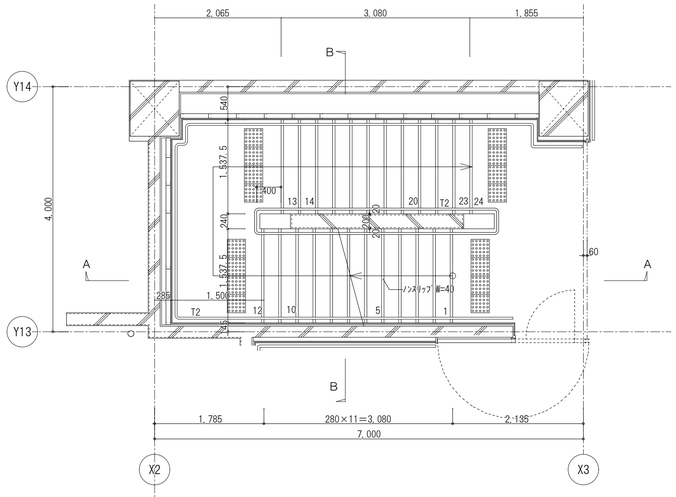
北ー中①取り合い詳細図　S=1/50



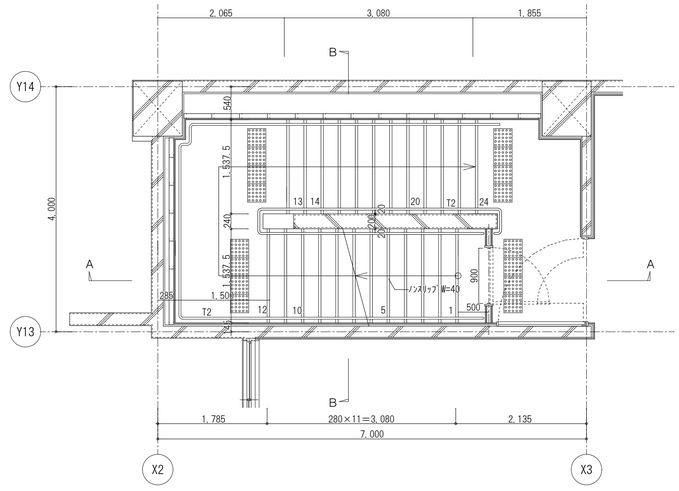
北ー中②取り合い詳細図　S=1/50



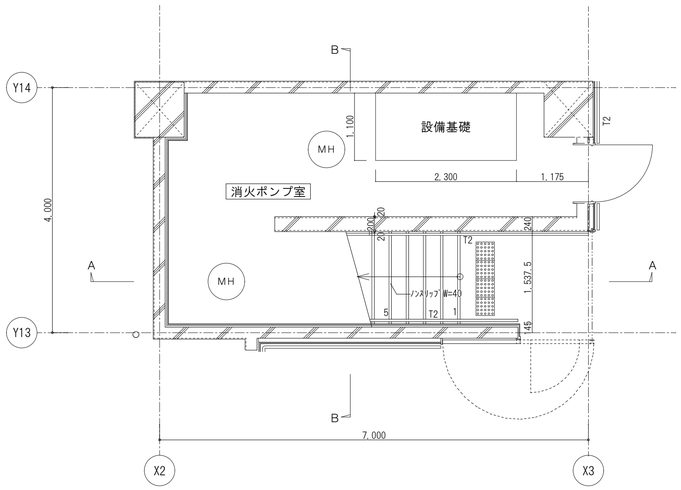
検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06)第02291号 （主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第1071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図名 断面詳細図（６）（北-中取合部）	縮尺 A1:1／50 A3:1／100	設計日	図番 Ａ－０３０



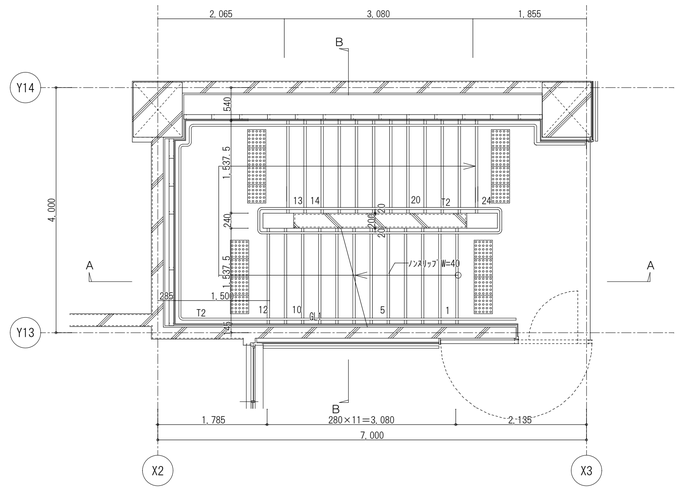
２階平面詳細図



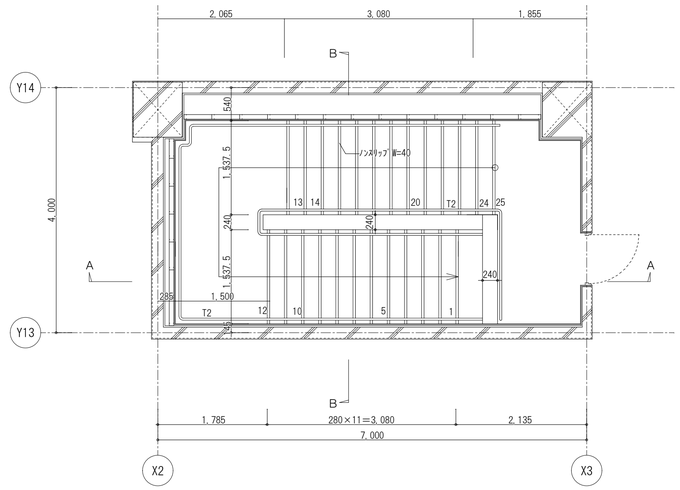
４階平面詳細図



１階平面詳細図

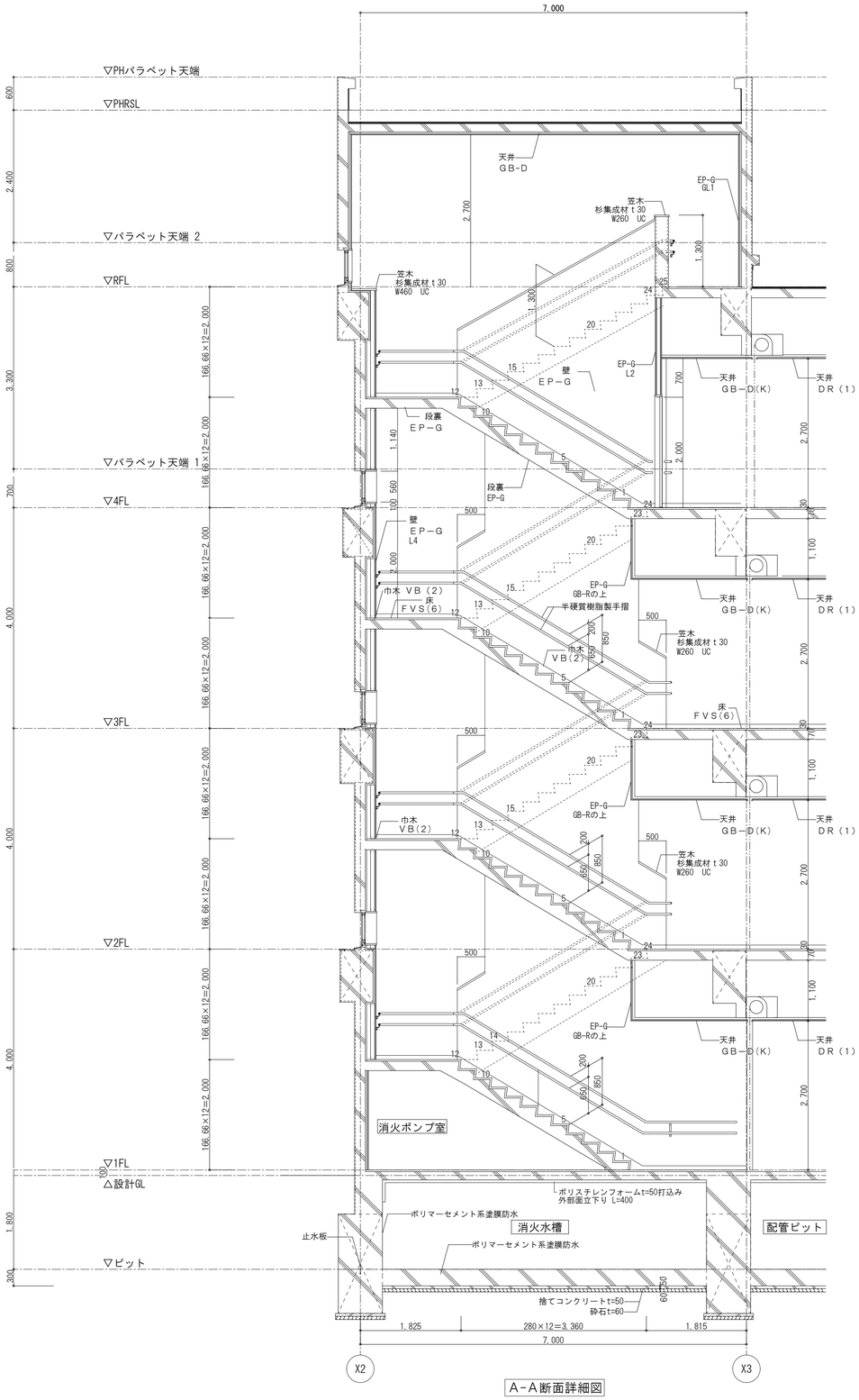


３階平面詳細図

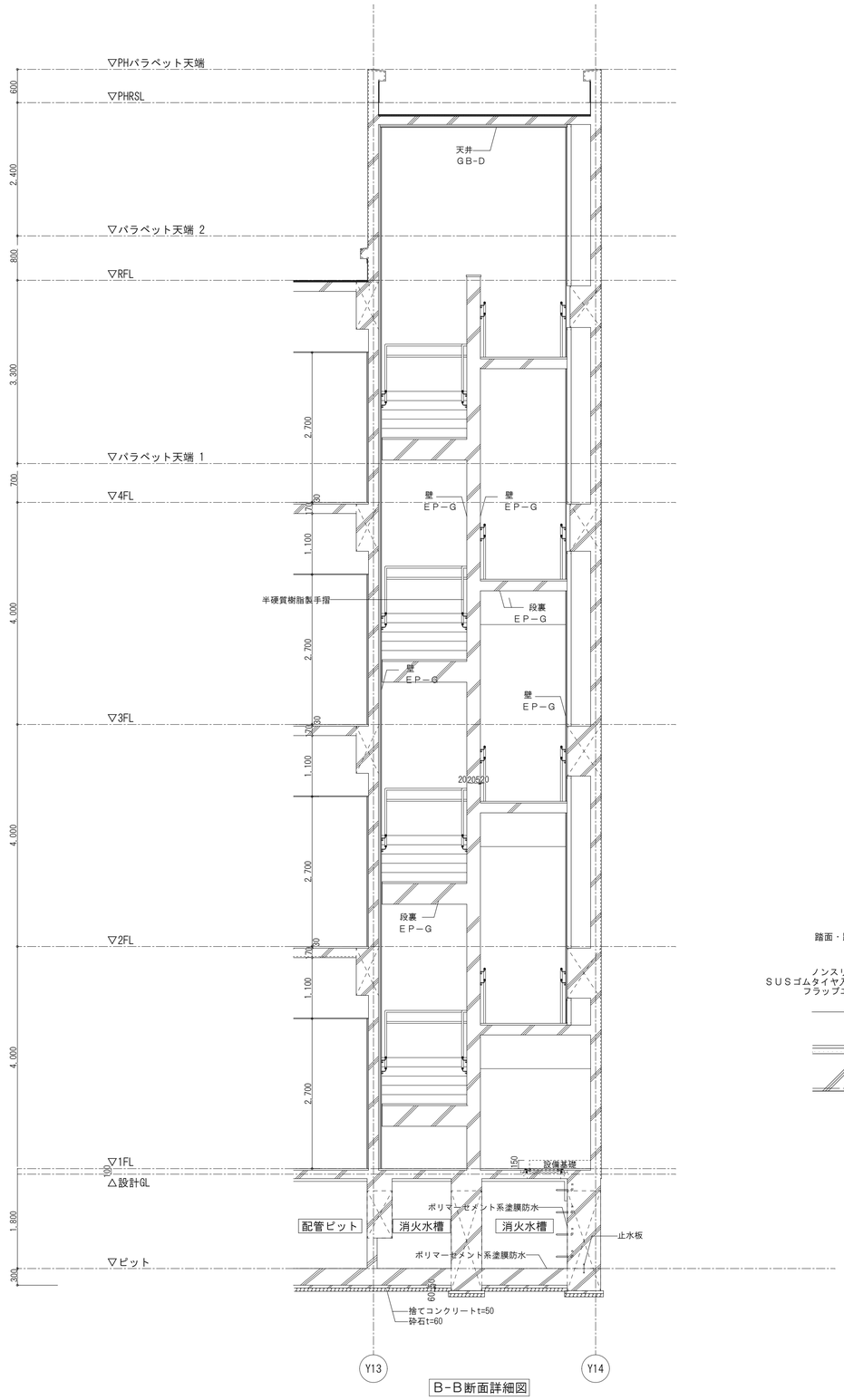


Ｒ階平面詳細図

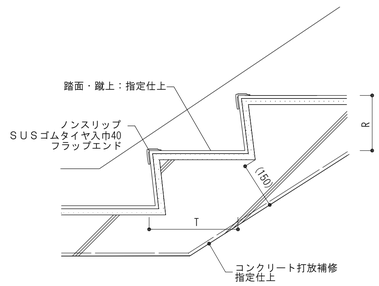
	検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号 （主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図 名 階段詳細図（１）（屋内階段２）	縮尺 A1:1／50 A3:1／100	設計日	図番 A－０３１



A－A断面詳細図

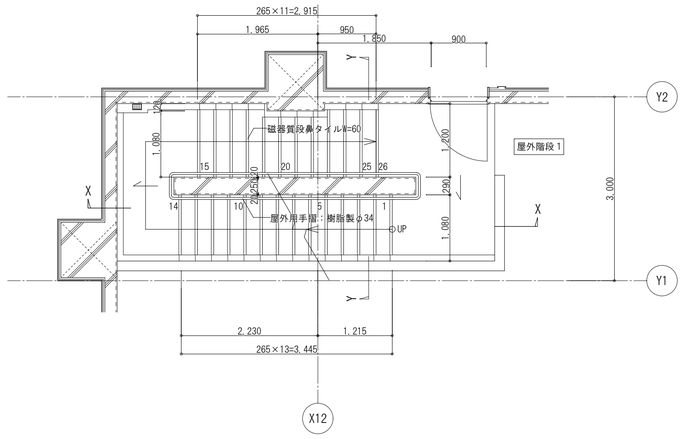


B－B断面詳細図

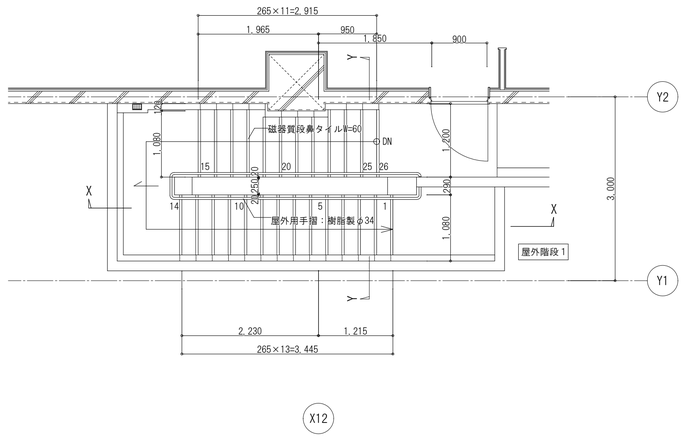


部分詳細図 S=1/10

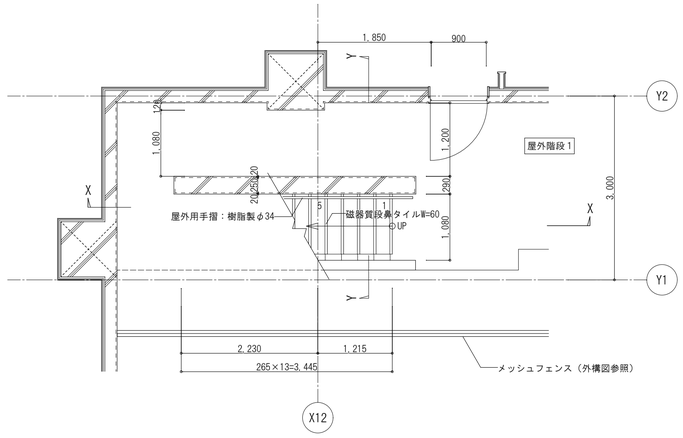
検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第59999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図 名 階段詳細図（２）（屋内階段２）	縮 尺 A1:1／50 A3:1／100	設計日	図番 Ａ－０３２



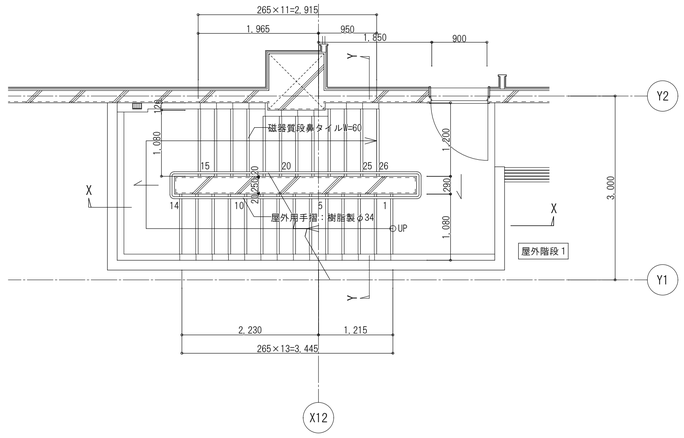
2階平面詳細図



4階平面詳細図

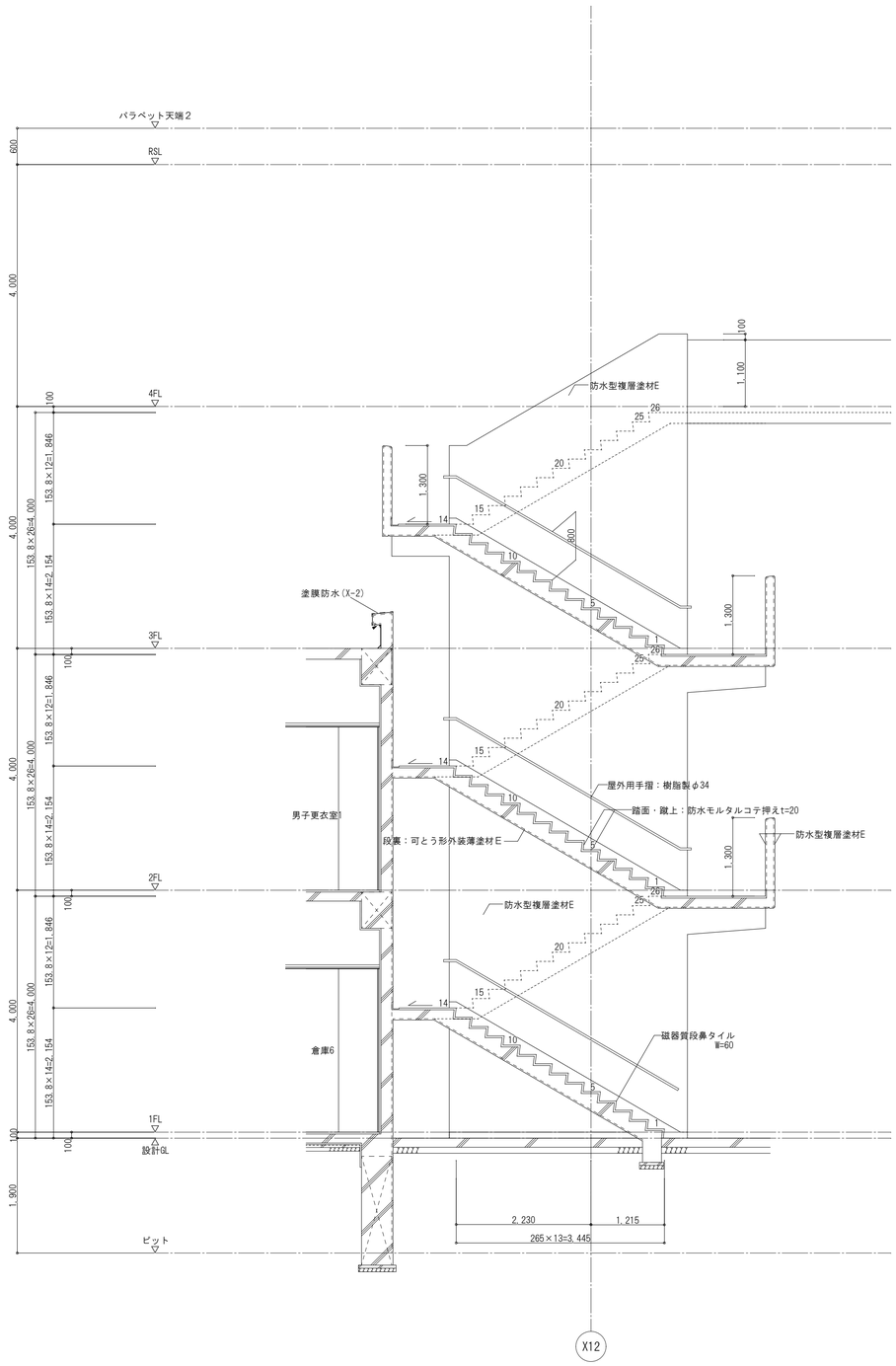


1階平面詳細図

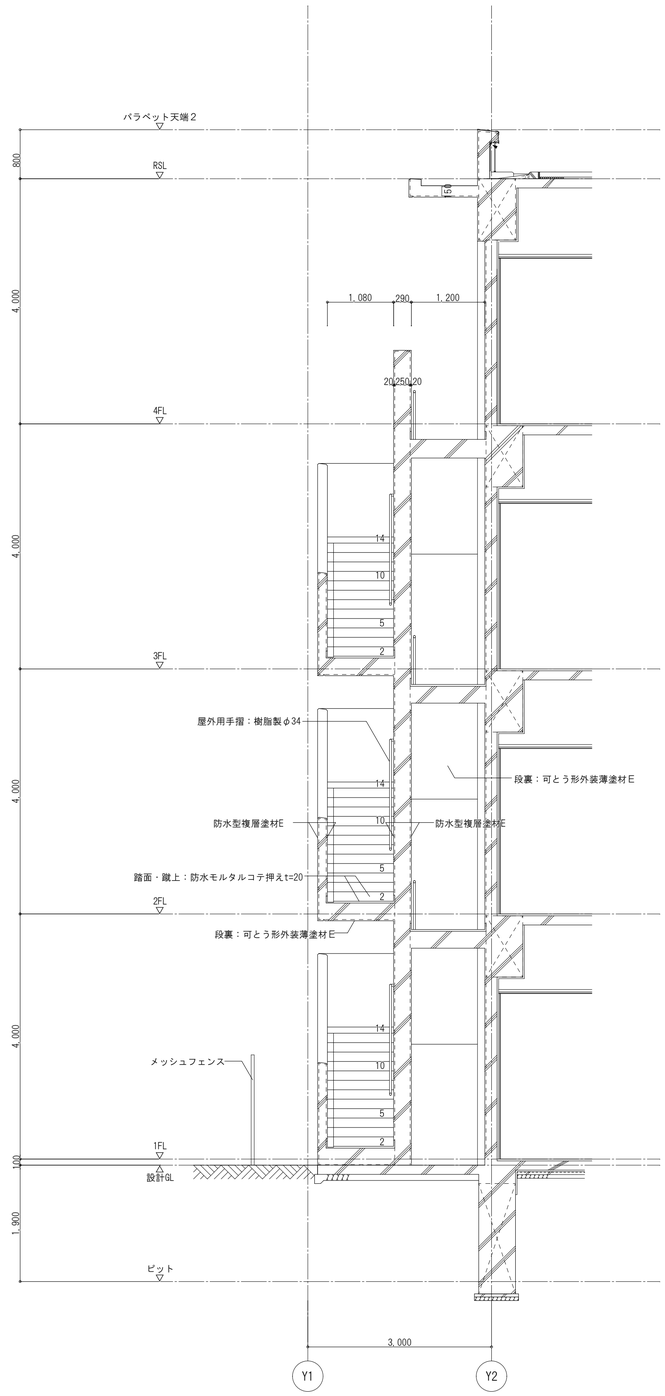


3階平面詳細図

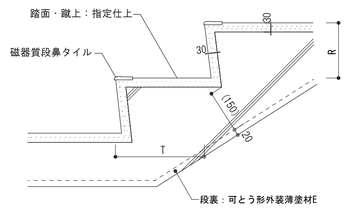
検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号 （主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名	紀北支援学校中校舎棟建築工事		図番
			図 名	階段詳細図（３）（屋外階段１）	縮 尺 A1:1／50 A3:1／100	設計日	Ａ－０３３



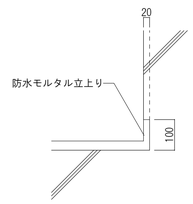
X-X 断面詳細図



Y-Y 断面詳細図

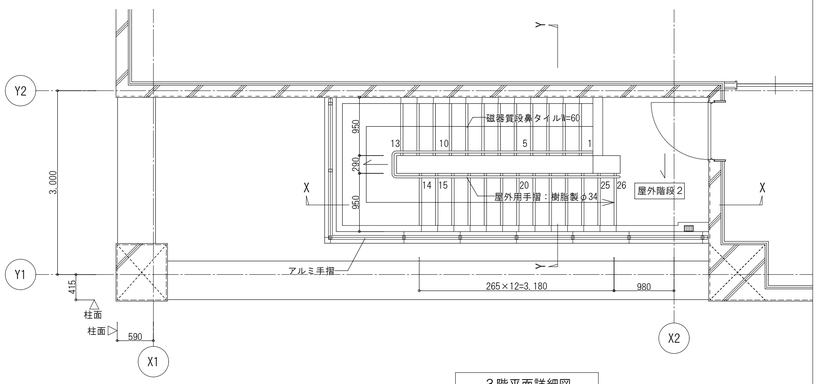


部分詳細図 S=1/10

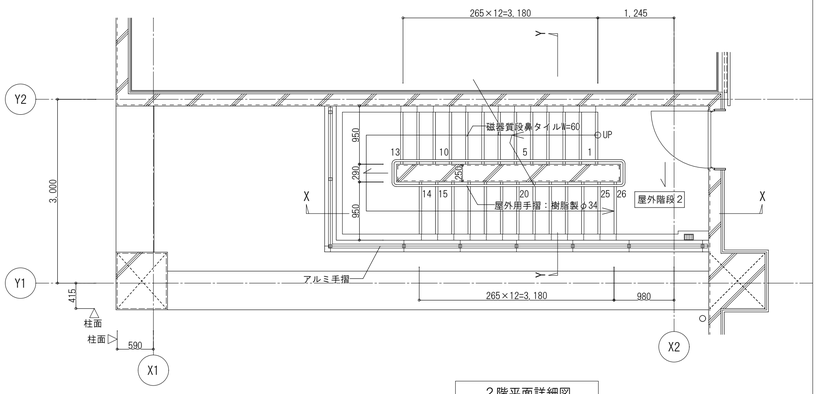


部分詳細図 S=1/10

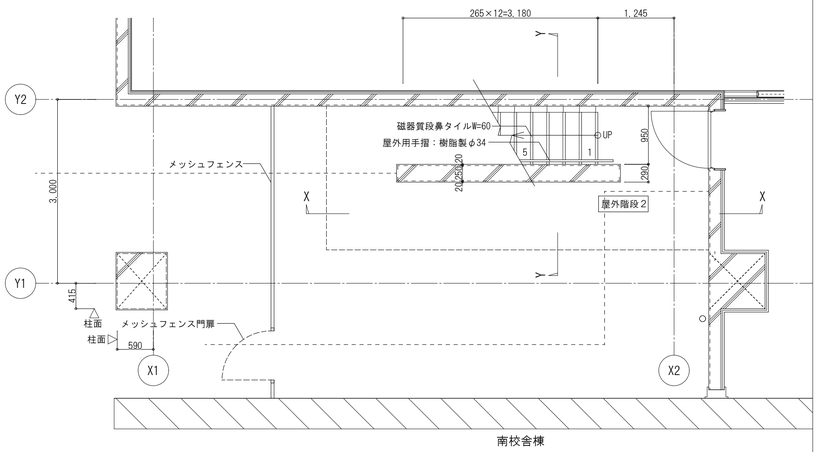
検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06)第02291号 （主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第160162号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第53999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図名 階段詳細図（４）（屋外階段１）	縮尺 A1:1／50 A3:1／100	設計日	図番 A－０３４



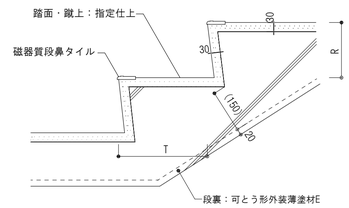
3階平面詳細図



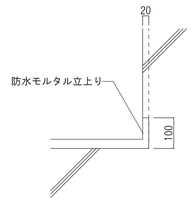
2階平面詳細図



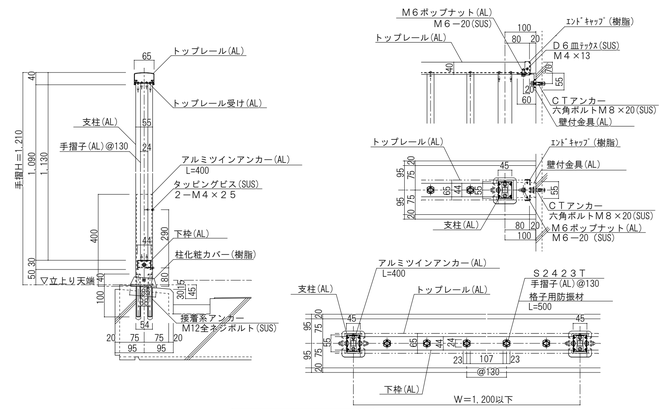
1階平面詳細図



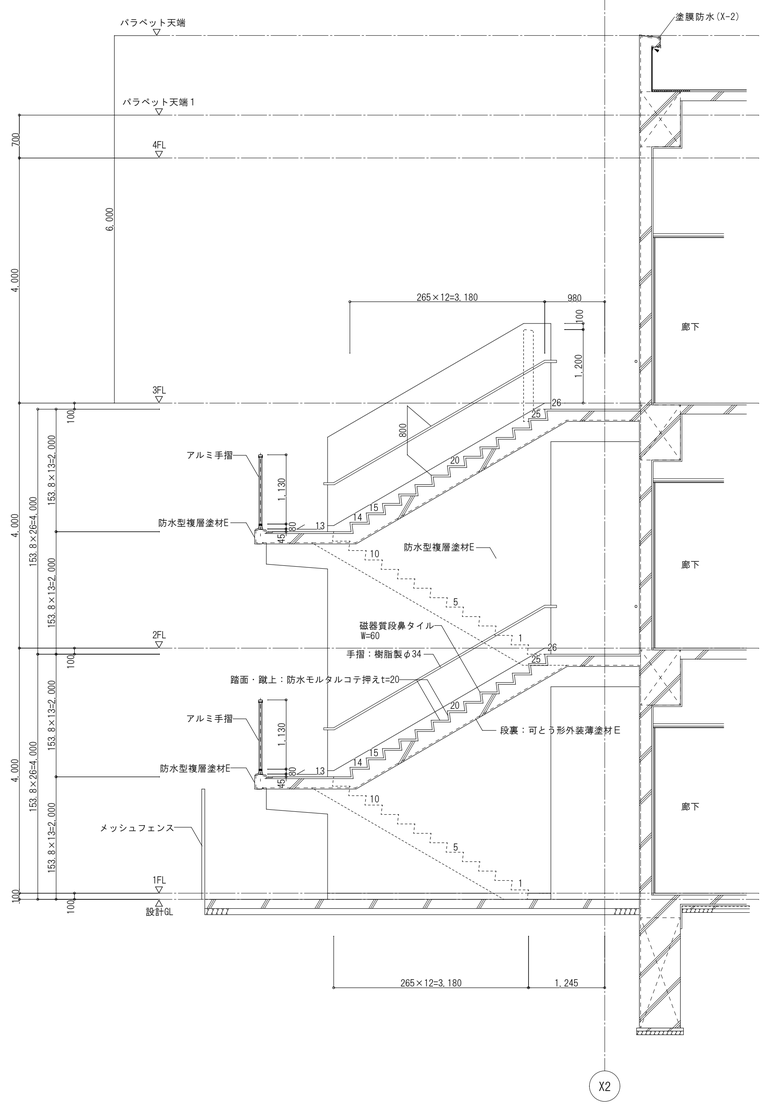
部分詳細図　S=1/10



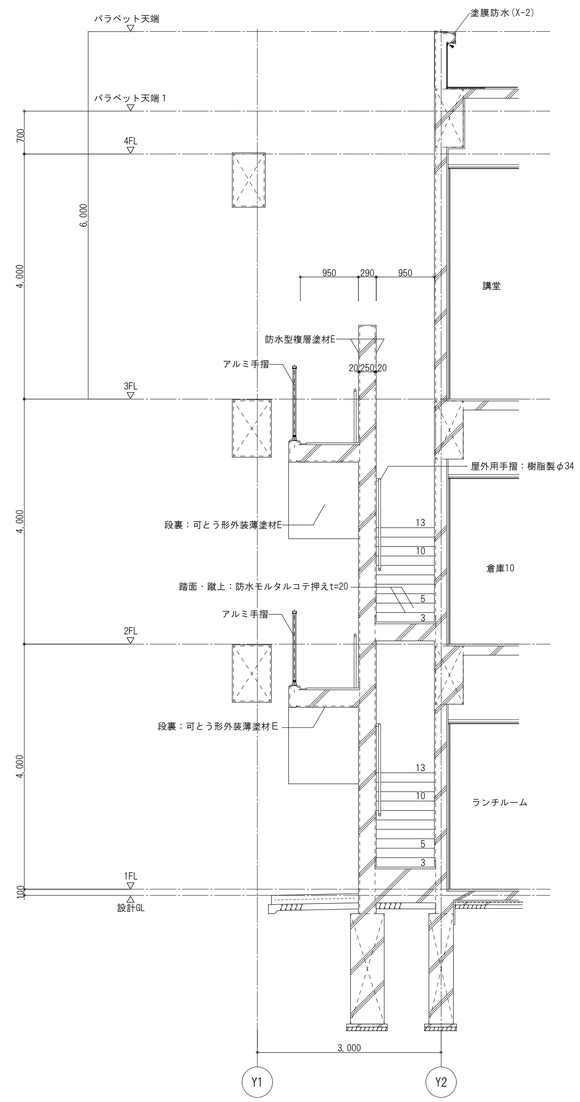
部分詳細図　S=1/10



アルミ手摺詳細図　S=1/10

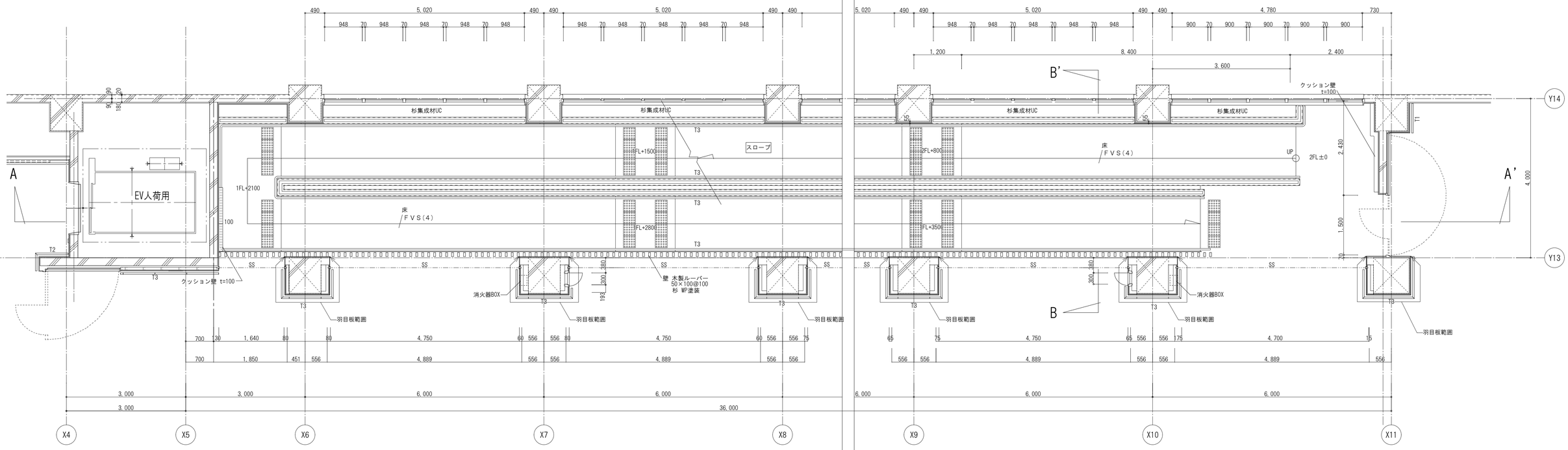


X-X 断面詳細図

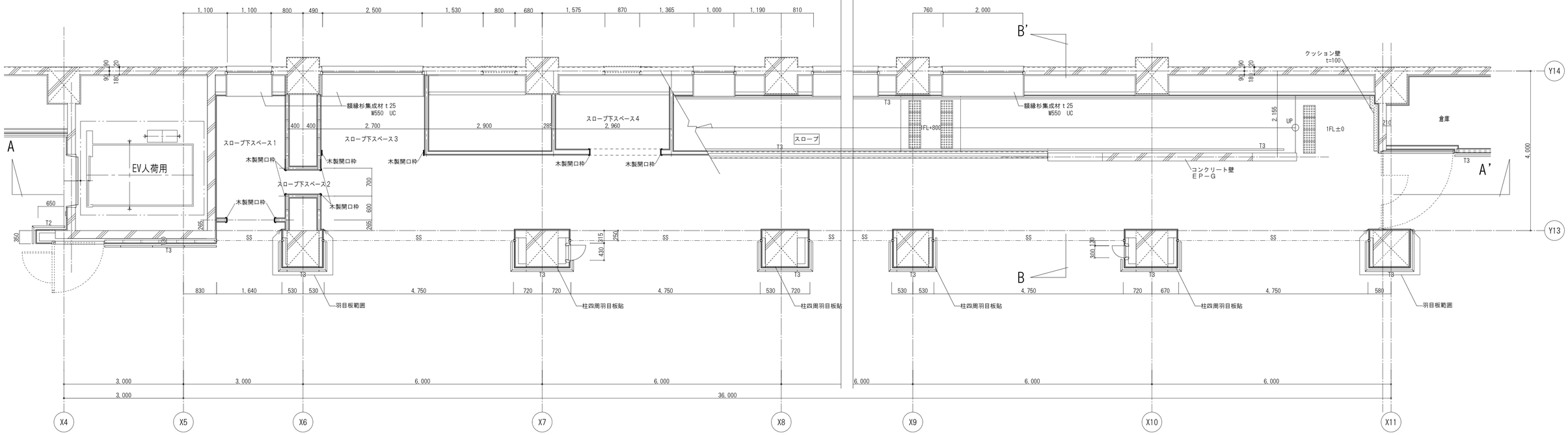


Y-Y 断面詳細図

検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A) 第02291号 （主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図名 階段詳細図（５）（屋外階段２）	縮尺 A1:1／50 A3:1／100	設計日	図番 A－０３５

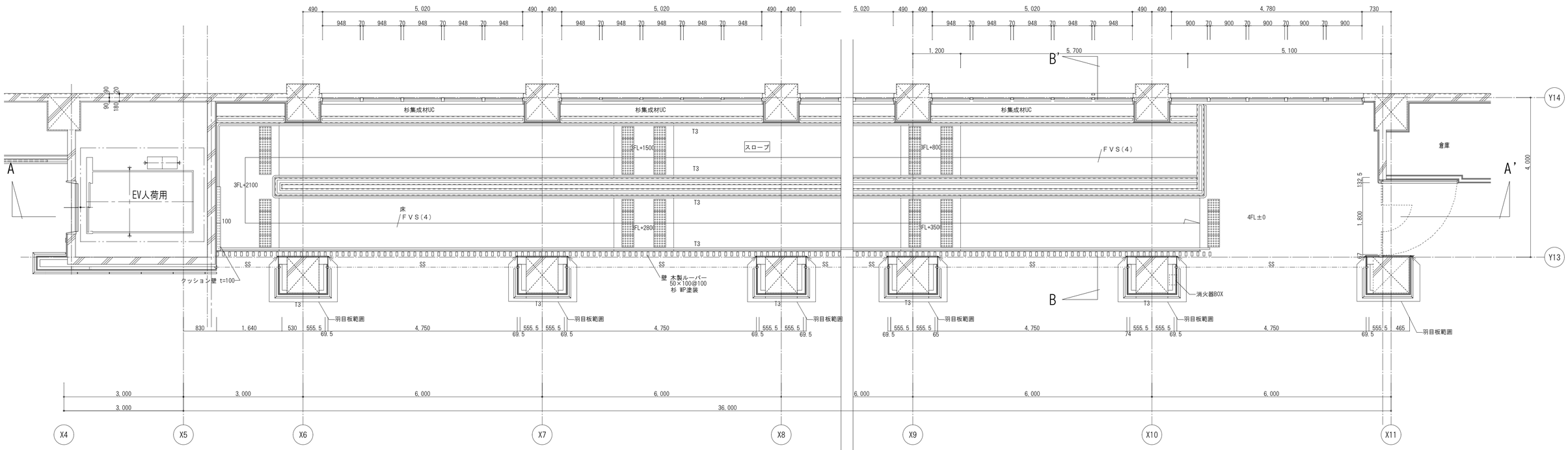


２階　屋内スロープ平面詳細図　S=1/50

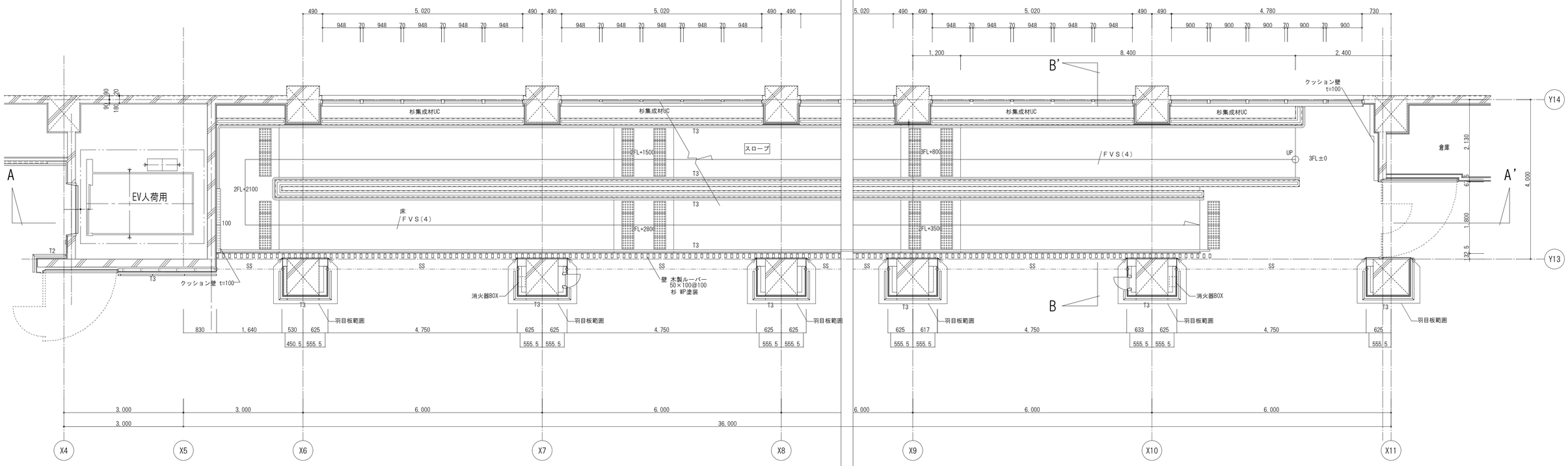


１階　屋内スロープ平面詳細図　S=1/50

検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06)第02291号 （主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名	紀北支援学校中校舎棟建築工事		図番
			図 名	スロープ詳細図（１）	縮 尺 A1:1／50 A3:1／100	設計日	A－０３６

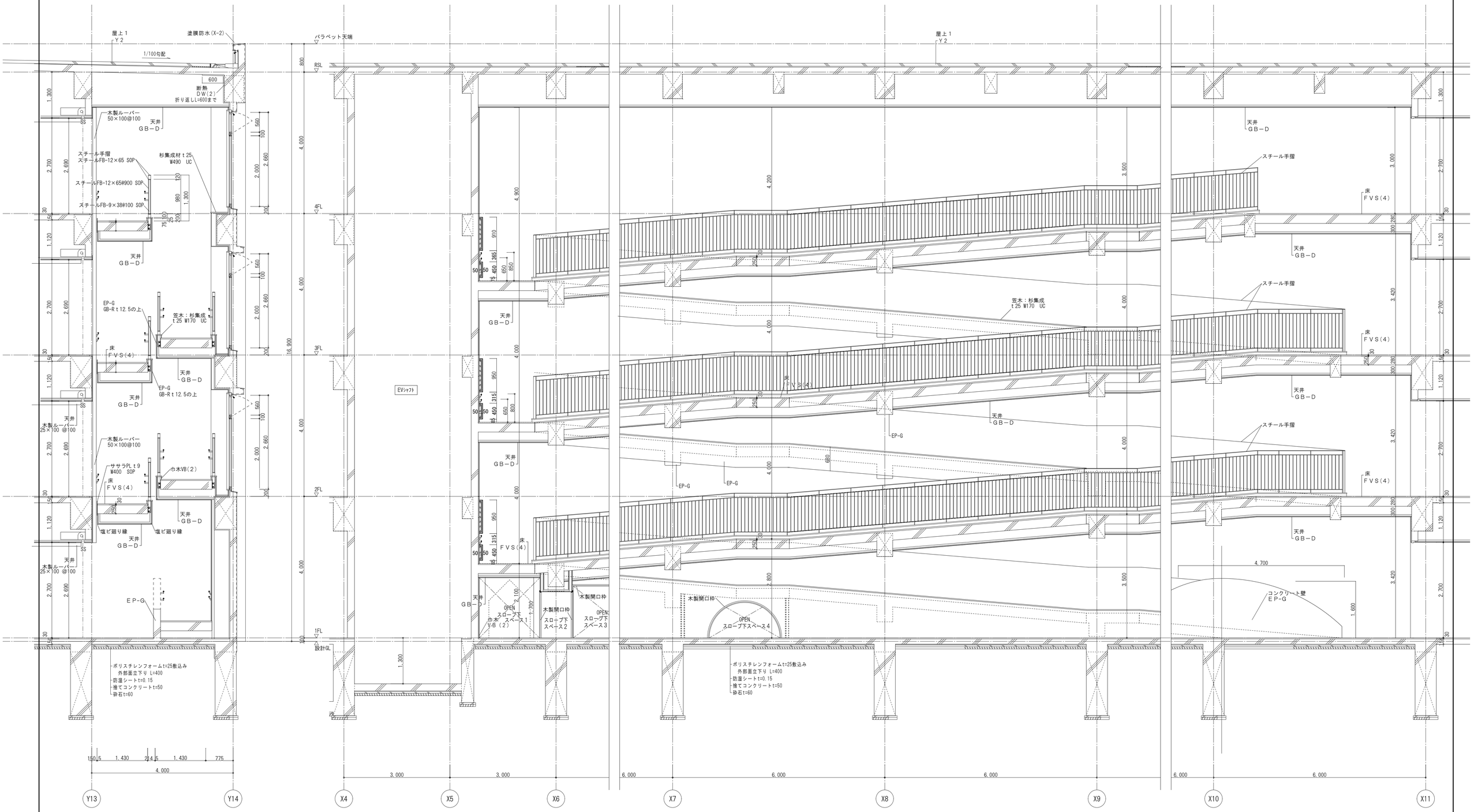


４階　屋内スロープ平面詳細図　S=1/50



３階　屋内スロープ平面詳細図　S=1/50

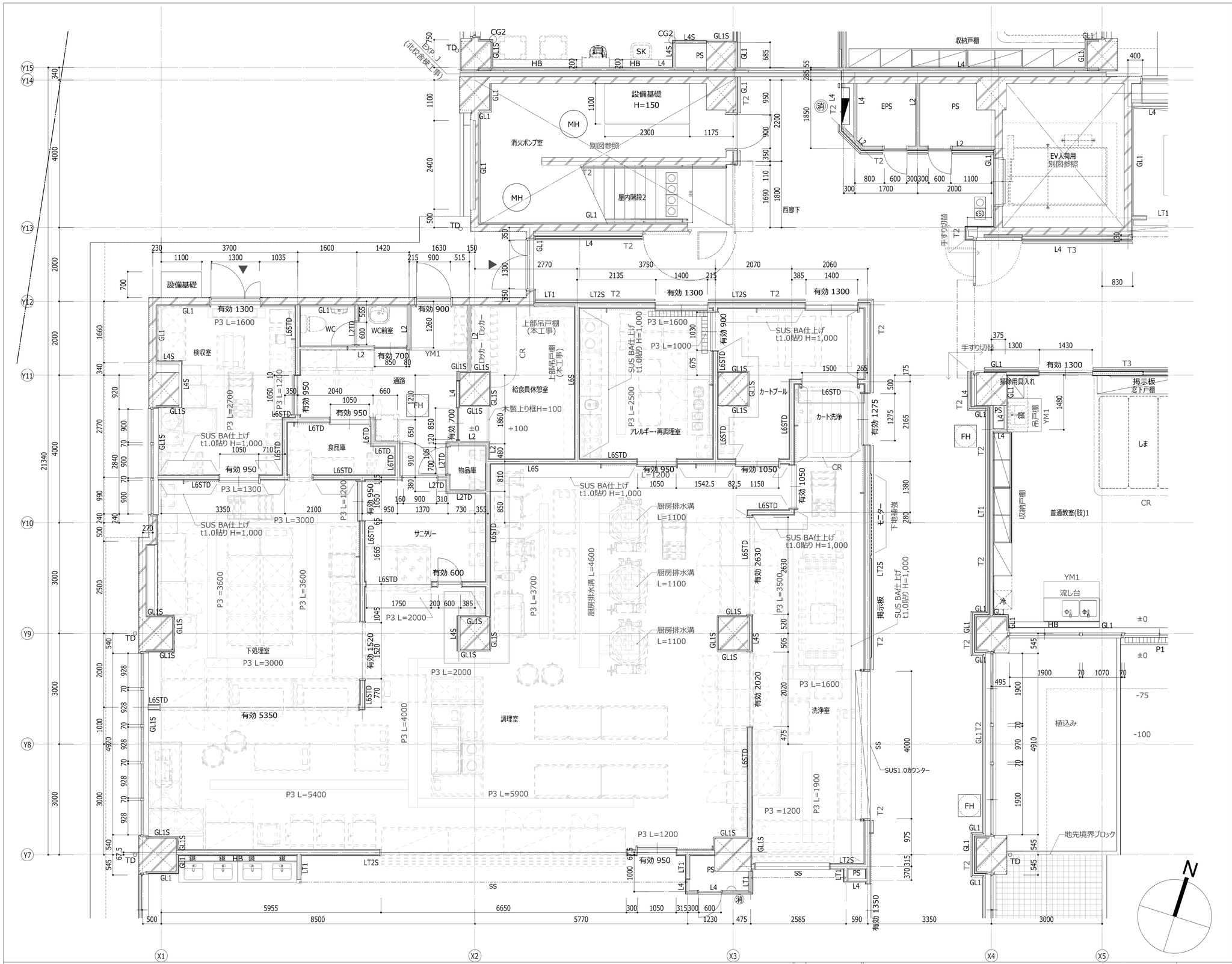
検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06)第02291号 （主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図名 スロープ詳細図（２）	縮尺 A1:1／50 A3:1／100	設計日	図番 A－０３７



B−B'断面詳細図　S=1/50

A−A'断面詳細図　S=1/50

検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06)第02291号 （主任技術者） 一級建築士 山田 俊二（登録第183136号）	（一級建築士 登録第160482号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図 名 スロープ詳細図（３）	縮尺 A1:1／50 A3:1／100	設計日	図番 A−038



凡例・記号

CG1	コーナーガード 塩ビ
CG2	コーナーガード アルミ
T1	手摺（半硬質樹脂二層成形 抗菌剤・光触媒入） 逆三角形(50×33)タイプ 壁付２段
T2	手摺（半硬質樹脂二層成形 抗菌剤・光触媒入） 楕円(40×32)タイプ 壁付２段
T3	手摺（半硬質樹脂二層成形 抗菌剤・光触媒入） 34Φ丸タイプ 壁付２段
HB	配管バック ※Dは特記なき限り150とする
P1	ステンレス製グレーチング 溝幅150 細目ノンスリップ 縦目タイプ
P2	樹脂製グレーチング 溝幅150 細目ノンスリップ 縦目タイプ
P3	排水ピット(厨房)
RD-Y	よこ引き用ルーフドレン
RD-T	たて引き用ルーフドレン
RD-J	中継用ルーフドレン
TD	竪樋（特記なき限りカラーＶＰ１００φ）
消	消火器ボックス
消	消火栓
消	消火栓＋消火器(埋込型)
消	移動式粉末消火設備（別途工事）
FH	屋内用アルミ製ＳＵＳ目地 ６００角 鍵付 モルタル充填型フロアハッチ
MH	マンホール_φ750
YM1	床見切 ＳＵＳ目地棒
YM2	床見切 御影石
CR	直付けカーテンレール
	視覚障害者用誘導ブロック

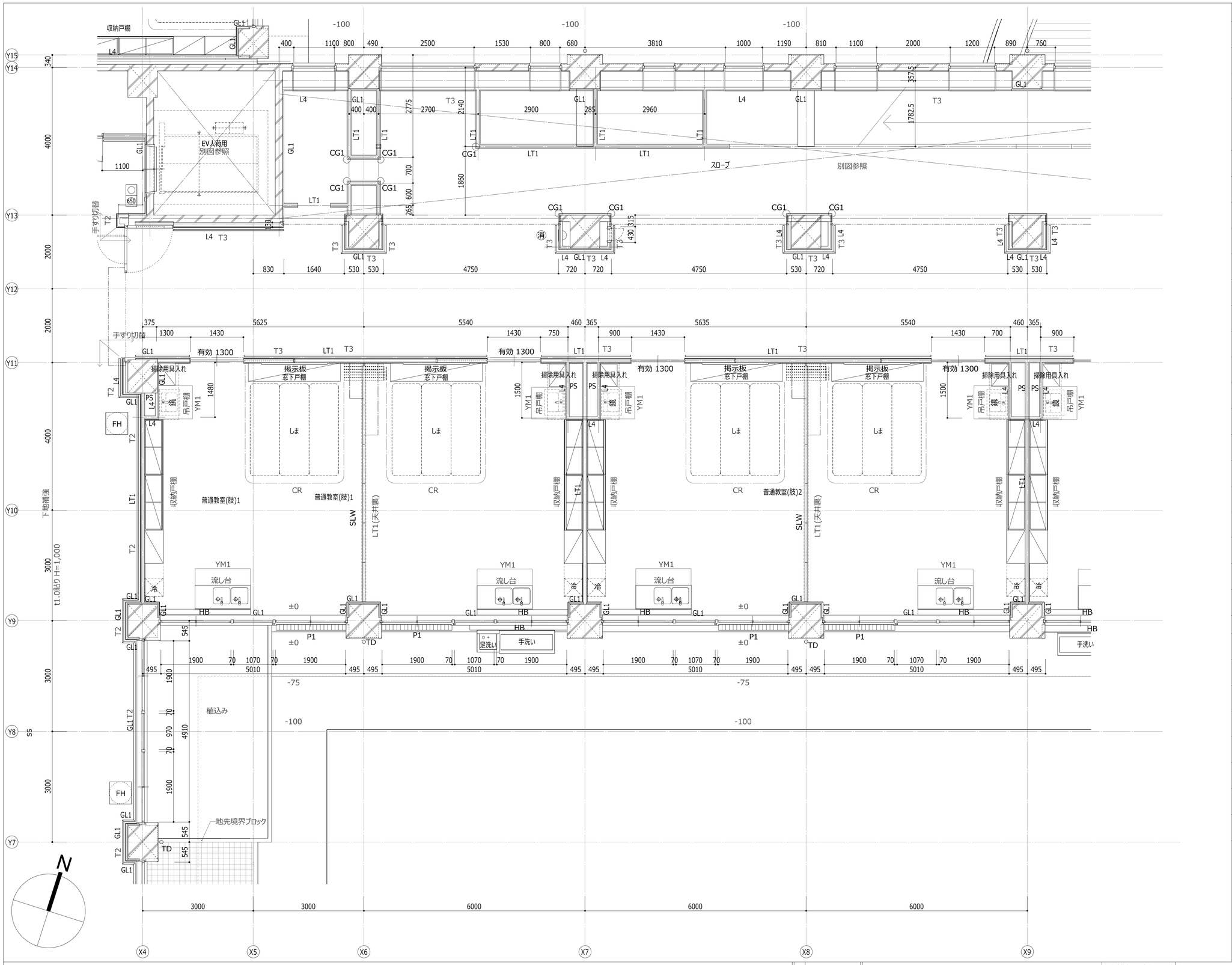
壁凡例

LT1	防火区画：１時間耐火 ＬＧＳ＋ＧＢ-Ｆt12.5＋ＧＢ-Ｆt12.5（両面、天井裏共）
LT2	防火区画：１時間耐火 ＬＧＳ100＋ＧＢ-Ｆt12.5＋ＧＢ-Ｆt12.5（両面、天井裏共）
L2	ＬＧＳ＋ＧＢ-Rt12.5＋ＧＢ-Rt12.5（両面、天井裏共）
L4	ＬＧＳ＋ＧＢ-Rt12.5＋ＧＢ-Rt12.5（片面、天井面まで）
L5	ＬＧＳ50＋ＧＢ-Rt12.5（片面、天井面まで）
L6	ＬＧＳ100＋ＧＢ-Rt12.5＋ＧＢ-Rt12.5（両面、天井裏共）
L7	ＬＧＳ＋PW(2) H1800まで＋PW(3) H1800以上 （片面、天井面まで）
GL1	ＧＢ-Ｆt15.0(GL工法)

特記事項

※ 特記のない外壁内部は、硬質発砲ウレタンフォーム t=25吹付 とする
※ 設備室（機械室等）、ＰＳ、ＥＰＳのＲＣ壁及び柱型はコンクリート打放しとする
※ Gはグラスウール・充填を示す。
※ Sは、GB-St12.5を示す
※ Θは断熱材を示す。
※ TΘは、天井までを示す
※ 特記のない床レベルは、FL±0とする。

検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第25212号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二 （登録第183136号）	（一級建築士 登録第160482号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図 名 １階平面詳細図（１）	縮 尺 A1: 1／ 50 A3: 1／100 設計日	図番 A－ 039



凡例・記号

CG1	コーナーガード 塩ビ
CG2	コーナーガード アルミ
T1	手摺（半硬質樹脂二層成形 抗菌剤・光触媒入） 逆三角形(50×33)タイプ 壁付２段
T2	手摺（半硬質樹脂二層成形 抗菌剤・光触媒入） 楕円(40×32)タイプ 壁付２段
T3	手摺（半硬質樹脂二層成形 抗菌剤・光触媒入） 34Φ丸タイプ 壁付２段
HB	配管バック ※Dは特記なき限り150とする
P1	ステンレス製グレーチング 溝幅150 細目ノンスリップ 縦目タイプ
P2	樹脂製グレーチング 溝幅150 細目ノンスリップ 縦目タイプ
P3	排水ピット(厨房)
RD-Y	よこ引き用ルーフドレン
RD-T	たて引き用ルーフドレン
RD-J	中継用ルーフドレン
TD	竪樋（特記なき限りカラーＶＰ１００φ）
消	消火器ボックス
消	消火栓
消	消火栓＋消火器(埋込型)
消	移動式粉末消火設備（別途工事）
FH	屋内用アルミ製ＳＵＳ目地 ６００角 鍵付 モルタル充填型フロアハッチ
MH	マンホール_φ750
YM1	床見切 ＳＵＳ目地棒
YM2	床見切 御影石
CR	直付けカーテンレール
	視覚障害者用誘導ブロック

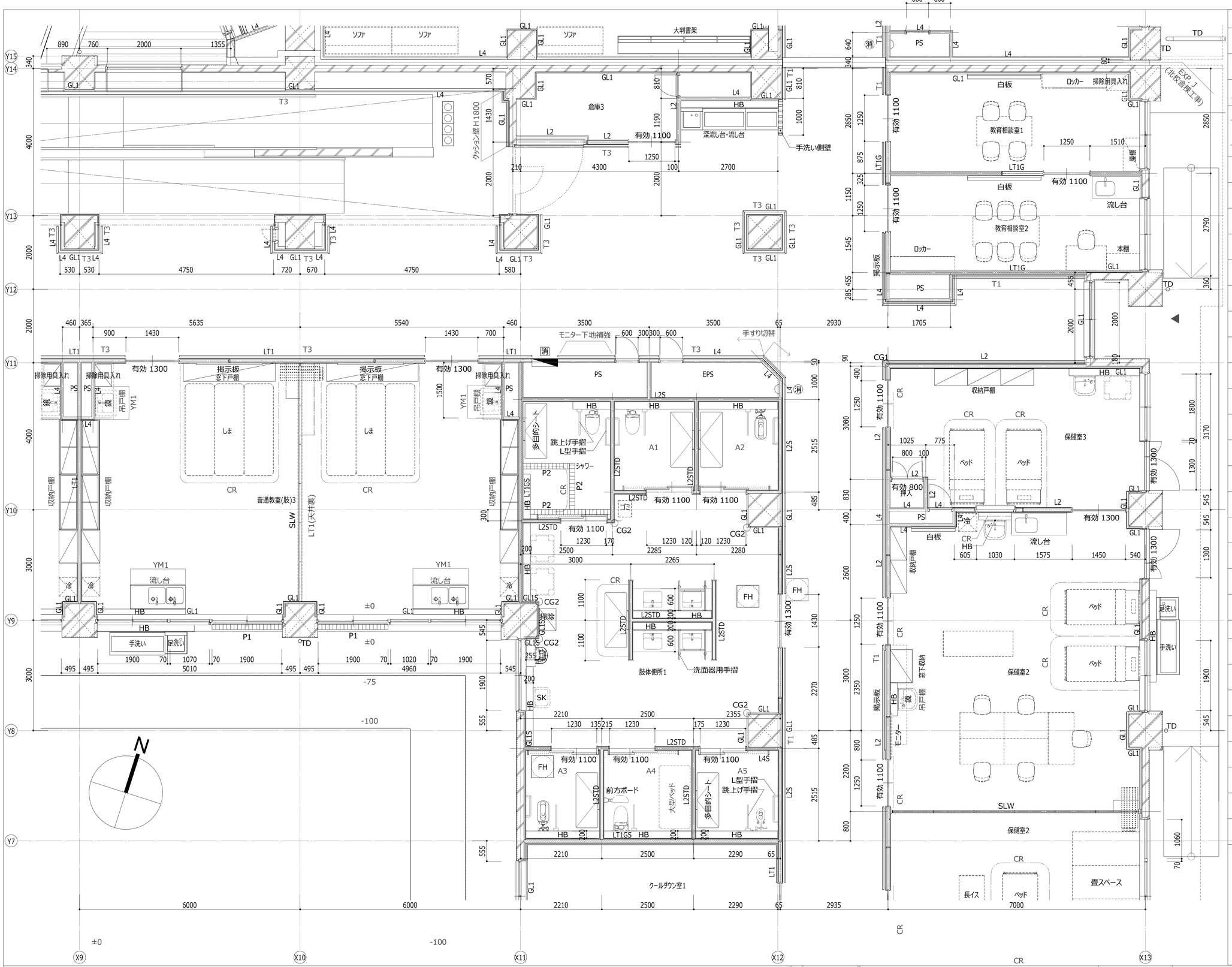
壁凡例

LT1	防火区画：１時間耐火 ＬＧＳ＋ＧＢ-Ｆt12.5＋ＧＢ-Ｆt12.5（両面、天井裏共）
LT2	防火区画：１時間耐火 ＬＧＳ100＋ＧＢ-Ｆt12.5＋ＧＢ-Ｆt12.5（両面、天井裏共）
L2	ＬＧＳ＋ＧＢ-Ｒt12.5＋ＧＢ-Ｒt12.5（両面、天井裏共）
L4	ＬＧＳ＋ＧＢ-Ｒt12.5＋ＧＢ-Ｒt12.5（片面、天井面まで）
L5	ＬＧＳ50＋ＧＢ-Ｒt12.5（片面、天井面まで）
L6	ＬＧＳ100＋ＧＢ-Ｒt12.5＋ＧＢ-Ｒt12.5（両面、天井裏共）
L7	ＬＧＳ＋PW(2) H1800まで＋PW(3) H1800以上 （片面、天井面まで）
GL1	ＧＢ-Ｆt15.0(GL工法)

特記事項

※ 特記のない外壁内部は、硬質発砲ウレタンフォーム t=25吹付 とする
※ 設備室（機械室等）、ＰＳ、ＥＰＳのＲＣ壁及び柱型はコンクリート打放しとする
※ Gはグラスウール・充填を示す。
※ Sは、GB-St12.5を示す
※ Ɵは断熱材を示す。
※ TƟは、天井までを示す
※ 特記のない床レベルは、FL±0とする。

検印	内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二 （登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第40711号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図 名 １階平面詳細図（２）	縮 尺 A1：1／50 A3：1／100 設計日	図番 A－ 040



凡例・記号

CG1	コーナーガード 塩ビ
CG2	コーナーガード アルミ
T1	手摺（半硬質樹脂二層成形 抗菌剤・光触媒入） 逆三角形(50×33)タイプ 壁付２段
T2	手摺（半硬質樹脂二層成形 抗菌剤・光触媒入） 楕円(40×32)タイプ 壁付２段
T3	手摺（半硬質樹脂二層成形 抗菌剤・光触媒入） 34Φ丸タイプ 壁付２段
HB	配管バック ※Dは特記なき限り150とする
P1	ステンレス製グレーチング 溝幅150 細目ノンスリップ 縦目タイプ
P2	樹脂製グレーチング 溝幅150 細目ノンスリップ 縦目タイプ
P3	排水ピット(厨房)
RD-Y	よこ引き用ルーフドレン
RD-T	たて引き用ルーフドレン
RD-J	中継用ルーフドレン
TD	竪樋（特記なき限りカラーＶＰ１００φ）
消	消火器ボックス
消	消火栓
消	消火栓＋消火器(埋込型)
消	移動式粉末消火設備（別途工事）
FH	屋内用アルミ製ＳＵＳ目地 ６００角 鍵付 モルタル充填型フロアハッチ
MH	マンホール_φ750
YM1	床見切 ＳＵＳ目地棒
YM2	床見切 御影石
CR	直付けカーテンレール
	視覚障害者用誘導ブロック

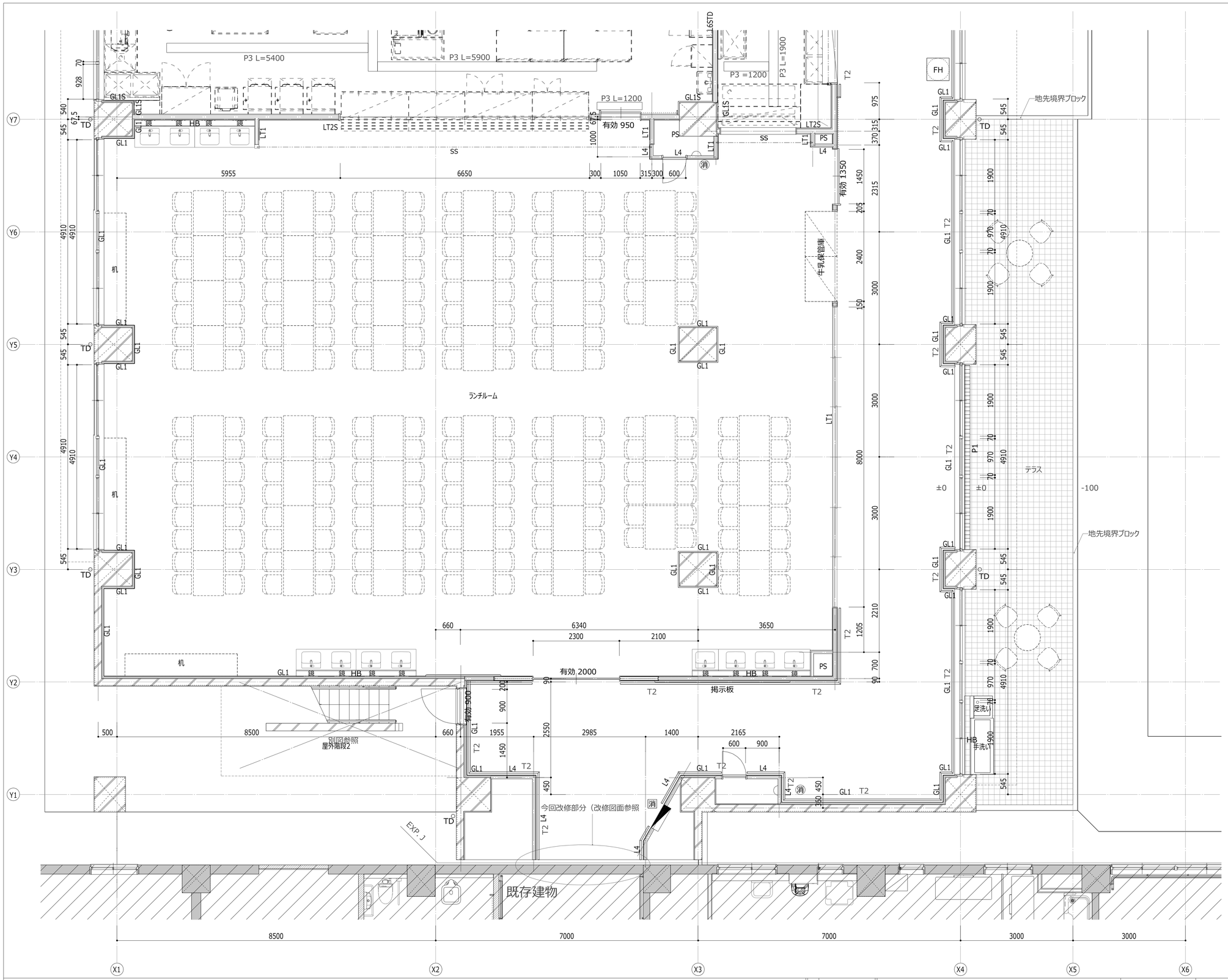
壁凡例

LT1	防火区画：１時間耐火 ＬＧＳ＋ＧＢ-Ｆt12.5＋ＧＢ-Ｆt12.5（両面、天井裏共）
LT2	防火区画：１時間耐火 ＬＧＳ100＋ＧＢ-Ｆt12.5＋ＧＢ-Ｆt12.5（両面、天井裏共）
L2	ＬＧＳ＋ＧＢ-Ｒt12.5＋ＧＢ-Ｒt12.5（両面、天井裏共）
L4	ＬＧＳ＋ＧＢ-Ｒt12.5＋ＧＢ-Ｒt12.5（片面、天井面まで）
L5	ＬＧＳ50＋ＧＢ-Ｒt12.5（片面、天井面まで）
L6	ＬＧＳ100＋ＧＢ-Ｒt12.5＋ＧＢ-Ｒt12.5（両面、天井裏共）
L7	ＬＧＳ＋PW(2) H1800まで＋PW(3) H1800以上 （片面、天井面まで）
GL1	ＧＢ-Ｆt15.0(GL工法)

特記事項

※ 特記のない外壁内部は、硬質発砲ウレタンフォーム t=25吹付 とする
※ 設備室（機械室等）、ＰＳ、ＥＰＳのＲＣ壁及び柱型はコンクリート打放しとする
※ Gはグラスウール・充填を示す。
※ Sは、GB-St12.5を示す
※ Ϸは断熱材を示す。
※ TϷは、天井までを示す
※ 特記のない床レベルは、FL±0とする。

検印	CR 内藤・フジ設計共同体 京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第25229号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号 （主任技術者） 一級建築士 山田 俊二 （登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第4071号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事 図 名 １階平面詳細図（３）	縮 尺 A1：1／50 A3：1／100 設計日	図番 A－ 041



凡例・記号	
CG1	コーナーガード 塩ビ
CG2	コーナーガード アルミ
T1	手摺（半硬質樹脂二層成形 抗菌剤・光触媒入） 逆三角形(50×33)タイプ 壁付２段
T2	手摺（半硬質樹脂二層成形 抗菌剤・光触媒入） 楕円(40×32)タイプ 壁付２段
T3	手摺（半硬質樹脂二層成形 抗菌剤・光触媒入） 34Φ丸タイプ 壁付２段
HB	配管バック ※Dは特記なき限り150とする
P1	ステンレス製グレーチング 溝幅150 細目ノンスリップ 縦目タイプ
P2	樹脂製グレーチング 溝幅150 細目ノンスリップ 縦目タイプ
P3	排水ピット(厨房)
RD-Y	よこ引き用ルーフドレン
RD-T	たて引き用ルーフドレン
RD-J	中継用ルーフドレン
TD	竪樋（特記なき限りカラーＶＰ１００φ）
消	消火器ボックス
消	消火栓
消	消火栓＋消火器(埋込型)
消	移動式粉末消火設備（別途工事）
FH	屋内用アルミ製ＳＵＳ目地 ６００角 鍵付 モルタル充填型フロアハッチ
MH	マンホール_φ750
YM1	床見切 ＳＵＳ目地棒
YM2	床見切 御影石
CR	直付けカーテンレール
	視覚障害者用誘導ブロック
壁凡例	
LT1	防火区画：１時間耐火 ＬＧＳ＋ＧＢ-Ｆt12.5＋ＧＢ-Ｆt12.5（両面、天井裏共）
LT2	防火区画：１時間耐火 ＬＧＳ100＋ＧＢ-Ｆt12.5＋ＧＢ-Ｆt12.5（両面、天井裏共）
L2	ＬＧＳ＋ＧＢ-Ｒt12.5＋ＧＢ-Ｒt12.5（両面、天井裏共）
L4	ＬＧＳ＋ＧＢ-Ｒt12.5＋ＧＢ-Ｒt12.5（片面、天井面まで）
L5	ＬＧＳ50＋ＧＢ-Ｒt12.5（片面、天井面まで）
L6	ＬＧＳ100＋ＧＢ-Ｒt12.5＋ＧＢ-Ｒt12.5（両面、天井裏共）
L7	ＬＧＳ＋PW(2) H1800まで＋PW(3) H1800以上 （片面、天井面まで）
GL1	ＧＢ-Ｆt15.0(GL工法)

特記事項

※ 特記のない外壁内部は、硬質発砲ウレタンフォーム t=25吹付 とする
※ 設備室（機械室等）、ＰＳ、ＥＰＳのＲＣ壁及び柱型はコンクリート打放しとする
※ Gはグラスウール・充填を示す。
※ Sは、GB-St12.5を示す
※ Dは断熱材を示す。
※ TDは、天井までを示す
※ 特記のない床レベルは、FL±0とする。

検印	内藤・フジ設計共同体			工事名	紀北支援学校中校舎棟建築工事		図番
	京都市左京区田中大堰町１８２ 一級建築士 神先 誠司（登録第252129号） 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号	（主任技術者） 一級建築士 山田 俊二 （登録第183136号）	（一級建築士 登録第160462号） （構造設計一級建築士 第40711号） 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が適合する】 （一級建築士 登録第361974号） （設備設計一級建築士 第5999号） 山本 篤史 【設備関係規定に関わる部分が適合する】	図 名	１階平面詳細図（４）	縮 尺 A1：1／50 A3：1／100 設計日	A－ 042